

EOS M100

カメラガイド

無線機能とアクセサリの使い方

無線機能

アクセサリ

注意やヒント

本体に関する注意やヒント

撮影に関する注意やヒント

再生に関する注意やヒント

設定に関する注意やヒント

故障かな?と思ったら

メッセージ一覧

お役立ち情報

索引

日本語

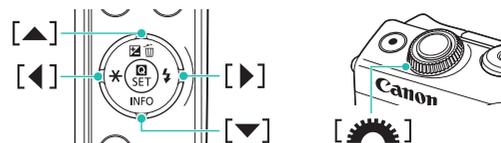


お使いになる前にお読みください

- 必ず事前に試し撮りをし、撮影後は画像を再生して画像が正常に記録されていることを確認してください。万が一、カメラやメモリーカードなどの不具合により、画像の記録やパソコンへの取り込みができなかったときの記録内容の補償については、ご容赦ください。
- このカメラで記録した画像は、個人として楽しむなどの他は、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示会などには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限していることがありますのでご注意ください。
- このカメラの保証書は国内に限り有効です。万が一、海外旅行先で故障や不具合が生じたときは、帰国したあと、修理受付窓口へご相談ください。
- モニターは、非常に精密度の高い技術で作られており99.99%以上の有効画素がありますが、画素欠けや、黒や赤の点が現れたまゝになることがあります。これは故障ではないため、記録される画像には影響ありません。
- このカメラは、長い時間お使いになっていると、カメラの温度が高くなることがあります。これは故障ではありません。

このガイドの記載について

- カメラのボタンやダイヤルは、ボタンやダイヤルに表記されている絵文字を使って示しています。
- 次の操作部は、絵文字で示しています。



- 撮影モード、画面に表示される絵文字や文言は、[] つきで示しています。
- ⓘ : 知っておいていただきたい重要事項を示しています。
- ⓘ : 上手に使うためのヒントや補足事項を示しています。
- ⓘ xx : 参照ページを示しています。xx はページ数を示しています。
- すべての機能が初期状態になっていることを前提に説明しています。
- レンズやマウントアダプターは、レンズキットに入っているか別売かにかかわらず、「レンズ」「マウントアダプター」と記載しています。
- 本文中のイラストは、EF-M15-45mm F3.5-6.3 IS STM レンズを付けた状態で説明しています。
- このカメラで使えるメモリーカードのことを「カード」と表記しています。

無線機能

アクセサリー

注意やヒント

本体に関する注意やヒント

撮影に関する注意やヒント

再生に関する注意やヒント

設定に関する注意やヒント

故障かな?と思ったら

メッセージ一覧

お役立ち情報

索引



目次

お使いになる前にお読みください.....	2
このガイドの記載について.....	2

第 1 部 無線機能とアクセサリーの使い方

無線機能.....	7
無線機能でできること.....	7
Wi-Fi 機能を使う.....	7
Bluetooth® 機能を使う.....	7
スマートフォンに画像を送る.....	8
Bluetooth 対応のスマートフォンに画像を送る.....	8
NFC 対応のスマートフォンに画像を送る.....	10
Wi-Fi メニューを使ってスマートフォンと接続する.....	12
ほかのアクセスポイントを使う.....	13
Web サービスを登録して画像を送る.....	16
利用する Web サービスの情報を登録する.....	16
Web サービスに画像を送る.....	19
メディアプレーヤーで画像を閲覧する.....	20
プリンターにつないで画像を印刷する.....	21
別のカメラに画像を送る.....	22
画像送信について.....	23
複数の画像を送信する.....	23
画像送信時の注意事項.....	25
記録画素数 (画像の大きさ) を選ぶ.....	25
コメントを入力して送信する.....	25
画像を自動で送る (クラウドシンクロ).....	26
準備する.....	26
画像を送る.....	27
スマートフォンでカメラ内の画像やカメラを操作する.....	28
撮影する画像に GPS 情報を記録する.....	28

スマートフォンをリモコン代わりにしてカメラを操作する.....	29
無線通信の設定を編集 / 消去する.....	30
接続情報を編集する.....	30
無線通信の設定を初期化する.....	33
Bluetooth でペアリングしている機器の登録を解除する.....	33

アクセサリー.....	34
システムマップ.....	35
別売アクセサリー.....	36
レンズ.....	36
電源.....	36
その他のアクセサリー.....	37
プリンター.....	37
フォトストレージ.....	37
別売アクセサリーの使いかた.....	38
テレビで見る.....	38
家庭用電源でカメラを使う.....	38
ソフトウェアを使う.....	39
ソフトウェアについて.....	39
パソコンの環境を確認する.....	40
インストールする.....	40
画像をパソコンに取り込む.....	40
印刷する.....	41
かんたん印刷.....	41
印刷設定をする.....	42
動画を印刷する.....	44
印刷指定 (DPOF).....	45
フォトブック指定.....	46

無線機能
アクセサリー
注意やヒント
本体に関する注意やヒント
撮影に関する注意やヒント
再生に関する注意やヒント
設定に関する注意やヒント
故障かな?と思ったら
メッセージ一覧
お役立ち情報
索引



第2部 注意やヒント

本体に関する注意やヒント..... 48

日ごろの取り扱いについて.....	48
準備する.....	49
カメラを構える.....	49
バッテリーを充電する.....	49
バッテリーを入れる／取り出す.....	49
カードを入れる／取り出す.....	49
日付／時刻を設定する.....	49
表示言語を選ぶ.....	50
レンズを使う.....	50
EFレンズ、EF-Sレンズを取り付ける.....	50
電源の入れかた／切りかた.....	51
節電機能（オートパワーオフ）.....	51
シャッターボタンの押しかた.....	51
モニターの向きや角度の変えかた.....	51
撮影画面に表示される枠.....	51
撮影時の画面表示の切り換えかた.....	52
再生時の画面表示の切り換えかた.....	52
クイック設定画面の表示と操作方法.....	52
MENU（メニュー）の表示と操作方法.....	52
文字の入力方法.....	52
ランプの表示.....	52

撮影に関する注意やヒント..... 53

カメラまかせて撮る.....	53
オートモードで撮る（シーンインテリジェントオート） - 静止画.....	53
オートモードで撮る（シーンインテリジェントオート） - 動画.....	53
プラスムービーオートモードで撮る.....	54

シーンのアイコン.....	55
好みの設定で撮る（クリエイティブアシスト）.....	56
いろいろなシーンで撮る.....	58
美肌の効果をつけて撮る（美肌）.....	58
花や小物を大きく撮る（クローズアップ）.....	58
動きのある被写体を撮る（スポーツ）.....	58
三脚を使わずに夜景を撮る（手持ち夜景）.....	58
自分撮りに最適な設定で撮る（自分撮り）.....	58
料理を明るく鮮やかに撮る（料理）.....	59
逆光シーンなどで撮る（HDR 逆光補正）.....	59
効果をつけて撮る.....	59
明暗差の大きいシーンで撮る （ハイダイナミックレンジ）.....	59
ミニチュア模型のように撮る（ジオラマ風）.....	59
魚眼レンズのような効果をつけて撮る（魚眼風）.....	60
トイカメラのような効果をつけて撮る（トイカメラ風）.....	60
優しい雰囲気でも撮る（ソフトフォーカス）.....	60
カメラを設定して撮る.....	60
撮影機能を一覧にして設定する.....	60
明るさ（露出）に関する機能を使う.....	61
色に関する機能を使う.....	62
ピント合わせに関する機能を使う.....	64
ストロボに関する機能を使う.....	66
撮影スタイルにあわせて機能を変える.....	67
シャッター速度や絞りを決めて撮る.....	69
撮影スタイルにあわせてカメラをカスタマイズする.....	71
動画を撮る.....	72
動画用のモードで動画を撮る.....	72
明るさを固定したり変えて撮る.....	72
オートスローシャッターを使わない.....	72
タイムラプス動画を撮る（タイムラプス動画）.....	73
録音レベル（録音音量）を設定する.....	73

無線機能

アクセサリ

注意やヒント

本体に関する注意やヒント

撮影に関する注意やヒント

再生に関する注意やヒント

設定に関する注意やヒント

故障かな?と思ったら

メッセージ一覧

お役立ち情報

索引



無線機能

アクセサリ

注意やヒント

本体に関する注意やヒント

撮影に関する注意やヒント

再生に関する注意やヒント

設定に関する注意やヒント

故障かな?と思ったら

メッセージ一覧

お役立ち情報

索引



便利な機能.....	73
セルフタイマーを使う.....	73
画面をタッチして撮る (タッチシャッター).....	74
連続して撮る.....	74
記録画質を変える.....	74
RAW 画像を記録する.....	75
縦横比 (アスペクト比) を変える.....	75
動画の画質を変える.....	76
再生に関する注意やヒント.....	77
見る.....	77
静止画/動画をみる.....	77
タッチ操作で見る.....	78
拡大して見る.....	78
スライドショーで見る.....	78
短編動画 (ダイジェスト動画) を見る.....	79
画像を探す.....	79
一覧表示 (インデックス表示) で画像を探す.....	79
指定した条件で画像を探す.....	79
電子ダイヤルで画像を探す.....	80
保護する.....	80
1 枚ずつ指定してまとめて保護する.....	80
範囲で指定して保護する.....	80
すべての画像の保護を解除する.....	80
お気に入り設定をする (レーティング).....	81
消す.....	81
1 枚ずつ指定してまとめて消す.....	81
範囲を指定して消す.....	81
静止画を編集する.....	81
画像を回転する.....	81
画像を小さくする (リサイズ).....	82
画像を切り抜く (トリミング).....	82
画像にフィルター効果をつける.....	82

赤目を補正する.....	82
RAW 画像をカメラで現像する.....	83
1 枚ずつ指定して現像する.....	83
動画を編集する.....	83
動画の前後を削除する.....	83
ファイルサイズを小さくする.....	84
ダイジェスト動画を編集する.....	84
設定に関する注意やヒント.....	85
カメラの基本機能を変える.....	85
撮影直後の画像表示時間を変える.....	85
画像番号のつけかたを変える.....	85
カードを初期化する.....	86
エコモードを使う.....	86
節電機能 (オートパワーオフ) の設定を変える.....	86
画面の明るさを変える.....	86
撮影時の情報の表示内容を設定する.....	86
再生時の情報の表示内容を設定する.....	86
世界時計を使う.....	87
表示言語を変える.....	87
タッチパネルの設定を変える.....	87
タッチパネルを一時的にロックする.....	87
撮像素子をクリーニングする.....	87
画像に記録する著作権の情報を登録する.....	88
その他の基本機能を変える.....	88
カメラの設定を初期状態に戻す.....	88
故障かな?と思ったら.....	89
メッセージ一覧.....	93

無線機能

アクセサリー

注意やヒント

本体に関する注意やヒント

撮影に関する注意やヒント

再生に関する注意やヒント

設定に関する注意やヒント

故障かな?と思ったら

メッセージ一覧

お役立ち情報

索引

第3部 お役立ち情報

画面の表示内容一覧.....	96
撮影時.....	96
再生時.....	97
機能／メニュー 一覧.....	100
撮影機能一覧.....	100
クイック設定画面設定項目一覧.....	102
撮影タブメニュー 一覧.....	104
C.Fn タブメニュー 一覧.....	111
撮影機能画面.....	112
設定タブメニュー 一覧.....	113
再生タブメニュー 一覧.....	114
再生モードのクイック設定画面設定項目一覧.....	114
主な仕様.....	115
索引.....	121
セキュリティについて.....	124
第三者のソフトウェア.....	124
カメラを貸出・修理依頼・譲渡・廃棄するときの ご注意.....	125



第 1 部

無線機能とアクセサリーの使い方

無線機能

カメラで撮影した画像を無線でいろいろな無線対応機器へ送ったり、Web サービスを利用できます。

無線機能でできること

Wi-Fi 機能を使う

このカメラは、次の機器やサービスと Wi-Fi で接続して、画像の送受信やカメラの操作ができます。

- スマートフォン、タブレット端末
Wi-Fi 機能を持つスマートフォンやタブレット端末に画像を送信できます。また、スマートフォンやタブレット端末を使ってリモートライブビュー撮影することができます。なお、以降、スマートフォンとタブレット端末をあわせて「スマートフォン」と記載しています。
- Web サービス
キャノンのオンラインフォトサービス CANON iMAGE GATEWAY や、いろいろな Web サービスをカメラに登録して、カメラ内の画像を送信できます。また、カメラ内の未転送画像を CANON iMAGE GATEWAY 経由でパソコンや Web サービスに送ることもできます。
- メディアプレーヤー
DLNA* 対応のテレビなどで画像を見ることができます。
* Digital Living Network Alliance (デジタルリビング ネットワーク アライアンス)
- プリンター
Wi-Fi で使える PictBridge (DPS over IP) に対応したプリンターに画像を送って印刷できます。
- 別のカメラ
キャノン製の Wi-Fi 対応カメラ同士で画像を送受信できます。

Bluetooth® 機能を使う

Bluetooth low energy technology* に対応しているスマートフォンと簡単に接続することができます。また、スマートフォンをリモコン代わりにして、撮影や再生の操作をすることができます。

*以降は「Bluetooth」と記載しています。



スマートフォンに画像を送る

カメラの画像をスマートフォンに送るには次の方法があります。

- Bluetooth 機能を使って接続する (📖8)
Bluetooth に対応しているスマートフォンとペアリングをするだけでかんたんに接続できます。スマートフォンから画像取り込みの操作をするときにおすすめです。
- NFC 機能を使って接続する (📖10)
Android で NFC に対応しているスマートフォンをタッチするだけでかんたんに接続できます。
- Wi-Fi メニューを使って接続する (📖12)
パソコンなどほかの接続先と同様の操作で接続できます。また、複数のスマートフォンを登録できます。

カメラと接続する前に、お使いのスマートフォンに専用のアプリケーション「Camera Connect」(無料)をインストールする必要があります。アプリケーションの詳細(対応するスマートフォンや機能など)については、弊社 Web サイトで確認してください。



- キヤノン製の Wi-Fi 対応カメラをお持ちで、「EOS Remote」を使ってカメラとスマートフォンを Wi-Fi 接続されているかたは、スマートフォン用のアプリケーションを「Camera Connect」に変えることをおすすめします。

Bluetooth 対応のスマートフォンに画像を送る

Bluetooth 機能を使ってスマートフォンと接続すると、次回からはスマートフォンを操作するだけでカメラ内の画像を見たり取り込んだりできるようになります。



1 Camera Connect をインストールする

- Android のスマートフォンでは、Google Play から Camera Connect を検索してダウンロードし、インストールします。
- iPhone や iPad では、App Store から Camera Connect を検索してダウンロードし、インストールします。

2 ニックネームを登録する

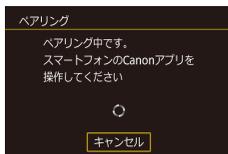
- 電源ボタンを押します。
- MENU ボタンを押して、[📷4] タブの [無線通信の設定] を選んだあと、[ニックネーム] を選びます。
- Ⓜ ボタンを押して表示されたキーボードでニックネームを入力します。
- MENU ボタンを押したあと、もう一度 MENU ボタンを押すと [無線通信の設定] に戻ります。



3 ペアリングができる状態にする

- [Bluetooth 設定] を選んだあと、▲か▼ボタンを押して [ペアリング] を選び、Ⓜ ボタンを押します。





- 画面が接続待機の状態になります。

4 Camera Connect を起動する

- スマートフォンの Bluetooth 機能を有効にしたあと、スマートフォンを操作して Camera Connect を起動します。
- カメラを認識すると、カメラを選択する画面が表示されます。



5 接続するカメラを選ぶ

- カメラのニックネームを選びます。
- スマートフォンを操作してペアリングを完了させます。

6 ペアリングを完了する

- カメラに確認画面が表示されます。◀か▶ボタンを押して [OK] を選び、Ⓜボタンを押します。



- この画面が表示されたら、Ⓜボタンを押します。



7 画像を取り込む

- Camera Connect の [カメラ内の画像一覧] を選択すると、自動で Wi-Fi 接続に切り換わります。
- iPhone や iPad では、OS の Wi-Fi に関する設定メニューから、カメラに表示された SSID (ネットワーク名) を選択して接続します。
- スマートフォンを操作してカメラ内の画像をスマートフォンに取り込みます。
- スマートフォンを操作して Wi-Fi 接続を切断すると、Bluetooth 接続に切り換わります。



- ペアリングしたあとは、節電機能が働いている状態でもバッテリーを消費するため、カメラを使うときにバッテリーの残量が少なくなることがあります。
- カメラの電源を切っても Bluetooth で通信ができる状態になっているため、電子機器の使用が制限されている場所では、[Bluetooth] を [切] にしてください。



- 画面にある次のアイコンで Bluetooth の通信状態を確認できます。
 - [📶] 接続中、[📵] 未接続
- 手順 7 にある Wi-Fi 接続の切断は、カメラでも操作できます。
- MENU の [🔧 4] タブにある [無線通信の設定] の [Bluetooth 設定] を選び、[Bluetooth] を [切] にすると Bluetooth の通信を無効にすることができます。
- Bluetooth で接続しているスマートフォンの情報は、MENU の [🔧 4] タブにある [無線通信の設定] の [Bluetooth 設定] を選んだあと、[接続先情報の確認 / 登録解除] で確認することができます。また、[アドレスの確認] を選ぶと、カメラの Bluetooth アドレスを確認できます。



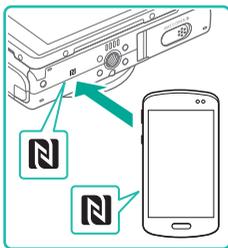
NFC 対応のスマートフォンに画像を送る

Android で NFC に対応しているスマートフォンでは、NFC 機能を使って、Camera Connect のインストールやカメラへの接続をかんたんにすることができます。

NFC 機能でスマートフォンと接続するときは、タッチする前のカメラの状態によって動作が異なります。

- 撮影モードで起動しているときにスマートフォンをタッチすると、画像を選択する画面で画像を選んで送信できます。また、接続後にスマートフォンを使ってリモートライブビュー撮影したり、カメラで撮影した画像に位置情報を記録することもできます (P.28)。最近接続した接続先名として履歴が残るので、次回以降、Wi-Fi メニューからでもかんたんに接続できます。
- 再生モードでスマートフォンをタッチすると、一覧表示で送信する画像を選ぶ画面が表示されるので、カメラで画像を選んで送信できます。

撮影モード / 電源を切っているときの NFC 接続



1 Camera Connect をインストールする

- スマートフォンの使用説明書で **N** (N マーク) の位置を確認します。
- スマートフォンの NFC 機能を有効にしたあと、スマートフォンとカメラの **N** (N マーク) 同士をタッチすると、スマートフォンで Google Play が自動的に起動します。Camera Connect のダウンロード画面が表示されたら、ダウンロードしてインストールします。



2 接続する

- Camera Connect がインストールされたスマートフォンとカメラの **N** (N マーク) 同士をタッチします。
- カメラが自動で起動します。
- [ニックネームの登録] 画面が表示されたら、▲か▼ボタンを押して [OK] を選び、Ⓜボタンを押します。

- スマートフォンで Camera Connect が起動し、カメラと自動で接続します。

3 公開設定する

- この画面が表示されたときは、▲か▼ボタンを押して [すべての画像] を選び、Ⓜボタンを押します。
- スマートフォンの操作で、カメラ内の画像の閲覧や取り込み、リモートライブビュー撮影ができるようになります。

4 画像を送る

- 送信したい画像を選び、◀か▶ボタンを押して、[この画像を送信] を選び、Ⓜボタンを押します。
- 送信が完了すると、[送信が完了しました] と表示されたあと、画像を送信する画面に戻ります。



- 接続を切断するには、**MENU**ボタンを押して表示される確認画面で◀か▶ボタンを押して [OK] を選び、Ⓢボタンを押します。スマートフォンを操作して接続を切断することもできます。



- NFC 機能をお使いになるときは、次のことに注意してください。
 - スマートフォンをカメラに強く当てないでください。スマートフォンやカメラに傷がつくことがあります。
 - スマートフォンによっては、認識されにくいことがあります。位置をずらすなどしてゆっくりタッチしてください。接続できないときはカメラの画面が変わるまでタッチしたままにしてください。
 - カメラとスマートフォンの間にものを置かないでください。また、カメラやスマートフォンにケースなどをつけていると、通信できないことがあります。
- リモートライブビュー撮影をするときは、手順 3 では [すべての画像] を選んでください。
- 手順 3 で [すべての画像] を選ぶと、接続したスマートフォンから、カメラ内のすべての画像を見ることができるようになります。スマートフォンに表示させるカメラ内の画像を限定したいときは、手順 3 でほかの項目を選んでください (P.31)。登録済みのスマートフォンに対する画像の公開設定を変更することもできます (P.31)。



- 接続するには、カードがカメラに入っている必要があります。
- 手順 2 の画面でカメラのニックネームを変えることもできます (P.32)。
- MENU の [4] タブにある [無線通信の設定] の [Wi-Fi 設定] を選び、[NFC 接続] を [切] にすると NFC 接続しなくなります。

再生モードでの NFC 接続



- ▶ ボタンを押します。
- Camera Connect がインストールされたスマートフォン (P.10) とカメラの N (N マーク) 同士をタッチします。
- ▲ / ▼ / ◀ / ▶ ボタンを押して送信したい画像を選び、Ⓢボタンを押します。[✓] が表示されます。
- 選択を解除するには、もう一度Ⓢボタンを押します。[✓] が消えます。
- 別の画像も選ぶときは、上記の操作を繰り返します。
- 画像の選択が終わったら、**MENU**ボタンを押します。
- ◀か▶ボタンを押して [OK] を選び、Ⓢボタンを押します。
- ◀か▶ボタンを押して [送信] を選び、Ⓢボタンを押します。
- 画像が送信されます。
- MENU**ボタンを押したあと、◀か▶ボタンを押して [OK] を選ぶと接続が切断されます。



- 接続中、カメラやスマートフォンの画面にニックネームの入力を促す画面が表示されたら「撮影モード/電源を切っているときの NFC 接続」(P.10) の手順 2 の操作で入力してください。
- 再生モードのときに NFC 機能で接続したスマートフォンの履歴はカメラには残りません。



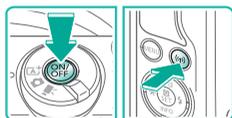
Wi-Fi メニューを使ってスマートフォンと接続する

ここではカメラをアクセスポイントにして接続する手順を説明しますが、すでにお使いのアクセスポイントを使うこともできます (13)。



1 Camera Connect をインストールする

- Android のスマートフォンでは、Google Play から Camera Connect を検索してダウンロードし、インストールします。
- iPhone や iPad では、App Store から Camera Connect を検索してダウンロードし、インストールします。



2 Wi-Fi メニューを表示する

- 電源ボタンを押します。
- (Wi-Fi) ボタンを押します。
- [ニックネームの登録] 画面が表示されたら、▲か▼ボタンを押して [OK] を選び、(OK) ボタンを押します。

3 [] を選ぶ

- ▲ / ▼ / ◀ / ▶ ボタンを押して [] を選び、(OK) ボタンを押します。



4 [接続先の機器の登録] を選ぶ

- ▲か▼ボタンを押して [接続先の機器の登録] を選び、(OK) ボタンを押します。
- 画面にカメラの SSID とパスワードが表示されます。

5 スマートフォンをネットワークに接続する

- スマートフォンの Wi-Fi に関する設定メニューから、カメラに表示された SSID (ネットワーク名) を選択して接続します。
- パスワード欄にはカメラに表示されたパスワードを入力します。

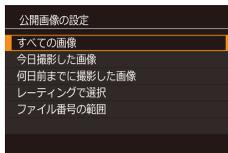
6 Camera Connect を起動する

- スマートフォンを操作して Camera Connect を起動します。

7 接続するカメラを選ぶ

- スマートフォンで接続先のカメラを選ぶ画面が表示されたら、カメラを選んでペアリングを行います。





8 公開設定する

- この画面が表示されたときは、▲か▼ボタンを押して[すべての画像]を選び、Ⓜボタンを押します。
- スマートフォンの操作で、カメラ内の画像の閲覧や取り込み、リモートライブビュー撮影ができるようになります。



9 画像を送る

- 送信したい画像を選び、◀か▶ボタンを押して、[この画像を送信]を選び、Ⓜボタンを押します。
- 送信が完了すると、[送信が完了しました]と表示されたあと、画像を送信する画面に戻ります。
- 接続を切断するには、MENUボタンを押して表示される確認画面で◀か▶ボタンを押して[OK]を選び、Ⓜボタンを押します。スマートフォンを操作して接続を切断することもできます。



- リモートライブビュー撮影をするときは、手順8では[すべての画像]を選んでください。
- 手順8で[すべての画像]を選ぶと、接続したスマートフォンから、カメラ内のすべての画像を見ることができるようになります。スマートフォンに表示させるカメラ内の画像を限定したいときは、手順8でほかの項目を選んでください(㉑31)。登録済みのスマートフォンに対する画像の公開設定を変更することもできます(㉑31)。



- 接続するには、カードがカメラに入っている必要があります。
- 手順2の画面でカメラのニックネームを変えることもできます(㉑32)。
- MENUの【4】タブにある[Wi-Fi 接続]を選んで、手順3の画面を表示することができます。
- MENUの【4】タブにある[無線通信の設定]の[Wi-Fi 設定]を選んだあと、[パスワード]を[切]にすると、手順5でパスワードを入力しなくても接続できるようになります。SSIDの表示画面(手順4)に[パスワード]は表示されなくなります。
- 接続した機器があるときは、Wi-Fi メニューを表示しようとすると、最近接続した接続先名が最初に表示されます。▲か▼ボタンを押して項目を選び、Ⓜボタンを押すだけでかんたんに接続することができます。新しく接続先を登録するときは◀か▶ボタンで機器の選択画面を表示して設定します。
- MENUの【4】タブにある[無線通信の設定]の[Wi-Fi 設定]を選んだあと、[接続履歴の表示]で[切]を選ぶと、最近接続した機器は表示されなくなります。

ほかのアクセスポイントを使う

Wi-Fi メニューを使ってスマートフォンとカメラを接続するときは、すでにお使いのアクセスポイントを使うこともできます。お使いのアクセスポイントの使用説明書もあわせて参照してください。

アクセスポイントを確認する

アクセスポイントとなる Wi-Fi 親機 (Wi-Fi ルーターなど) は、「インターフェース」(㉑119)に記載している Wi-Fi 規格に対応しているものをお使いください。アクセスポイントが WPS (Wi-Fi Protected Setup) に対応しているとき(㉑14)と対応していないとき(㉑15)で、接続方法は異なります。また、WPS に対応していないアクセスポイントでは、次の項目を確認してください。

- ネットワーク名 (SSID/ESSID)
お使いのアクセスポイントの SSID または ESSID です。「アクセスポイント名」や「ネットワーク名」とも呼ばれることもあります。



- ネットワークの認証 / データの暗号化 (暗号化方式 / 暗号化モード) 無線通信時のデータを暗号化する方式です。「WPA2-PSK (AES)」 「WPA2-PSK (TKIP)」 「WPA-PSK (AES)」 「WPA-PSK (TKIP)」 「WEP (オープンシステム認証)」 「なし」 のいずれであるかを確認してください。
- パスワード (暗号化キー / ネットワークキー) 無線通信時のデータを暗号化するために使われるキー (鍵) です。「暗号化キー」 や「ネットワークキー」と呼ばれることもあります。
- キーのインデックス (送信キー) 「ネットワークの認証 / データの暗号化」 が「WEP」 のときに設定するキーです。「1」 にしてください。



- システム管理者がいるネットワーク内で設定するときは、ネットワーク管理者にネットワーク設定の詳細をお問い合わせください。
- これらの情報はセキュリティ上大変重要なものです。お取り扱いには十分ご注意ください。



- アクセスポイントが WPS に対応しているかどうかや、設定の確認方法は、お使いのアクセスポイントの使用説明書を参照してください。
- ルーターとは、複数のパソコンなどを接続して、ネットワーク (LAN) を構築するときに使われる機器です。さらに、Wi-Fi 機能を内蔵しているルーターを「Wi-Fi ルーター」と呼びます。
- 本ガイドでは、Wi-Fi ルーターなどの Wi-Fi 親機すべてを「アクセスポイント」と呼びます。
- お使いの Wi-Fi で MAC アドレスをフィルタリングしているときは、アクセスポイントにカメラの MAC アドレスを登録してください。カメラの MAC アドレスは、MENU の [4] タブにある [無線通信の設定] の [Wi-Fi 設定] を選んだあと、[MAC アドレスの確認] を選ぶと確認できます。

WPS に対応したアクセスポイントを使う

WPS とは、Wi-Fi 機器同士を接続する際の各種設定をかんたんに行う仕組みです。WPS に対応した機器では、設定方式としてプッシュボタン (PBC) 方式と PIN コード (PIN) 方式を使用できます。



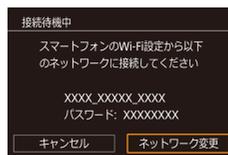
1 スマートフォンをアクセスポイントに接続する

2 接続待機の状態にする

- 「Wi-Fi メニューを使ってスマートフォンと接続する」 (12) の手順 1 ~ 4 の操作で接続待機中の画面を表示します。

3 [ネットワーク変更] を選ぶ

- ◀▶ ボタンを押して [ネットワーク変更] を選び、Ⓜ ボタンを押します。
- 検索されたアクセスポイントの一覧が表示されます。



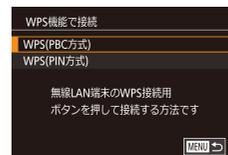
4 [WPS 機能で接続] を選ぶ

- ▲か▼ ボタンを押して [WPS 機能で接続] を選び、Ⓜ ボタンを押します。



5 [WPS (PBC 方式)] を選ぶ

- ▲か▼ ボタンを押して [WPS (PBC 方式)] を選び、Ⓜ ボタンを押します。





6 接続をはじめると

- アクセスポイントにある WPS 接続用のボタンを数秒間押ししたままにします。
- カメラの ボタンを押して次に進みます。

7 画像を送る

- 「Wi-Fi メニューを使ってスマートフォンと接続する」(12) の手順 6～9 の操作で接続するスマートフォンを選び公開設定をしたあと、画像を送ります。



- 手順 5 で [WPS (PIN 方式)] を選択したときは、画面に表示された PIN コードをアクセスポイントに設定します。次に [接続先の機器の選択] 画面で接続する機器を選びます。詳しくは、お使いのアクセスポイントの使用説明書を参照してください。

一覧に表示されたアクセスポイントを使う

1 アクセスポイントの一覧を表示する

- 「WPS に対応したアクセスポイントを使う」(14) の手順 1～3 の操作で、ネットワーク (アクセスポイント) の一覧を表示します。



2 アクセスポイントを選ぶ

- ボタンを押してネットワーク (アクセスポイント) を選び、 ボタンを押します。



3 アクセスポイントのパスワードを入力する

- ボタンを押してキーボードを表示し、パスワードを入力します。
- ボタンを押して [次へ] を選び、 ボタンを押します。



4 [自動] を選ぶ

- ボタンを押して [自動] を選び、 ボタンを押します。

5 画像を送る

- 「Wi-Fi メニューを使ってスマートフォンと接続する」(12) の手順 6～9 の操作で接続するスマートフォンを選び公開設定をしたあと、画像を送ります。





- アクセスポイントのパスワードについては、アクセスポイントの本体あるいは使用説明書を参照してください。
- 手順 2 で [更新] を選んで一覧を更新してもアクセスポイントが検出されないときは、手順 2 で [手動設定] を選ぶと、アクセスポイントを手動で設定できます。画面の指示にしたがって SSID の入力、セキュリティー設定、パスワードの入力を行ってください。
- 接続したことのあるアクセスポイントを使って接続するときは、手順 3 でパスワードが「*」で表示されます。同じパスワードを使うときは、そのまま、▲か▼ボタンを押して [次へ] を選び、Ⓜボタンを押します。

接続したことのあるアクセスポイントがあるとき

接続したことのあるアクセスポイントがあるときは「Wi-Fi メニューを使ってスマートフォンと接続する」(📖12) の手順 4 の操作で、カメラが自動でそのアクセスポイントに接続します。

- カメラをアクセスポイントにするときは、接続の最中に表示される画面の [ネットワーク変更] を選び、表示された画面で [カメラアクセスポイントモード] を選びます。
- 別のアクセスポイントを使うときは、接続の最中に表示される画面の [ネットワーク変更] を選んだあと、「WPS に対応したアクセスポイントを使う」(📖14) の手順 4 または「一覧に表示されたアクセスポイントを使う」(📖15) の手順 2 から操作してください。

Web サービスを登録して画像を送る

利用する Web サービスの情報を登録する

パソコンまたはスマートフォンを使って、利用する Web サービスの情報をカメラに登録します。

- CANON iMAGE GATEWAY をはじめとする各種 Web サービスの設定には、インターネットに接続できるパソコンまたはスマートフォンおよびブラウザが必要です。
- CANON iMAGE GATEWAY に接続する際にお使いいただくブラウザ（Microsoft Internet Explorer など）のバージョンや設定条件については、CANON iMAGE GATEWAY のサイトで確認してください。
- CANON iMAGE GATEWAY のサービスに対応している国 / 地域の情報は、弊社 Web サイト (<http://www.canon.com/cig/>) で確認してください。
- CANON iMAGE GATEWAY での操作や設定については、CANON iMAGE GATEWAY のヘルプをご確認ください。
- CANON iMAGE GATEWAY 以外の Web サービスも利用するときは、その Web サービスのアカウントが必要です。詳しくは、各 Web サービスの Web サイトを確認してください。
- プロバイダーとの接続料金、およびプロバイダーのアクセスポイントへの通信料金は、別途かかります。

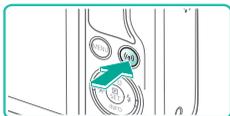


- CANON iMAGE GATEWAY から使用説明書をダウンロードすることができます。



CANON iMAGE GATEWAY を登録する

CANON iMAGE GATEWAY とカメラを連携できるように、CANON iMAGE GATEWAY をカメラに登録します。なお、この設定では、カメラ連携設定をするための通知メールを送りますので、お使いのパソコンやスマートフォンのメールアドレスが必要になります。



1 Wi-Fi メニューを表示する

- ④ボタンを押します。
- [ニックネームの登録] 画面が表示されたら、▲か▼ボタンを押して [OK] を選び、Ⓜボタンを押します。

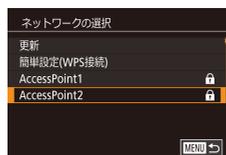
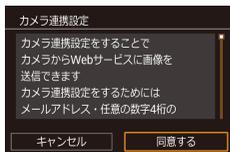


2 [☁] を選ぶ

- ▲/▼/◀/▶ボタンを押して [☁] を選び、Ⓜボタンを押します。

3 メールアドレス入力許諾に同意する

- 表示される記載を読み◀か▶ボタンを押して [同意する] を選び、Ⓜボタンを押します。



4 アクセスポイントへの接続をはじめ

- 「WiPSに対応したアクセスポイントを使う」(📖14) の手順 4～6 または 「一覧に表示されたアクセスポイントを使う」(📖15) の手順 2～4 の操作でアクセスポイントへの接続を行います。

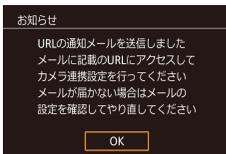
5 メールアドレスを入力する

- カメラがアクセスポイントを経由して CANON iMAGE GATEWAY に接続するとメールアドレスを入力する画面が表示されます。
- メールアドレスを入力し、▲か▼ボタンを押して [次へ] を選び、Ⓜボタンを押します。

6 4桁の数字を入力する

- 任意の数字 4 桁を入力し、▲か▼ボタンを押して [次へ] を選び、Ⓜボタンを押します。
- この 4 桁の数字は、手順 8 の CANON iMAGE GATEWAY でカメラ連携の設定をするときに必要になります。





7 通知メールが送信されたことを確認する

- CANON iIMAGE GATEWAY に情報が送られると、手順 5 で入力したメールアドレスに通知メールが送信されます。
- 通知メールを送信したお知らせの画面が表示されるので、 ボタンを押します。
-  が  になります。

8 受信した通知メールの URL にアクセスしてカメラ連携の設定をする

- パソコンまたはスマートフォンから通知メールに記載してある URL にアクセスします。
- カメラ連携設定ページの案内にしたがって設定します。

9 カメラに CANON iIMAGE GATEWAY を設定する

-  /  /  /  ボタンを押して  を選び、 ボタンを押します。
-  () と CANON iIMAGE GATEWAY が送信先として追加されます。
- 続けて Web サービスを追加することもできます。このときは、「ほかの Web サービスを登録する」() の手順 2 から操作してください。



- お使いのパソコンまたはスマートフォンのメール設定が、特定ドメインのメールを受信拒否するようになっていたり、通知メールを受信できないことがありますので事前に確認してください。



- 手順 1 の画面でカメラのニックネームを変えることもできます () 32)。
- Wi-Fi メニューを使って接続した機器があるときは、Wi-Fi メニューを表示しようとする、最近接続した接続先名が最初に表示されます。◀か▶ボタンで機器の選択画面を表示して設定します。

ほかの Web サービスを登録する

CANON iIMAGE GATEWAY 以外の Web サービスをカメラに登録します。



1 CANON iIMAGE GATEWAY にアクセスして、カメラ連携設定のページを表示する

- パソコンまたはスマートフォンを操作して、インターネットで CANON iIMAGE GATEWAY サイト「<http://www.canon.com/cig/>」へアクセスします。



2 利用する Web サービスの設定をする

- パソコンまたはスマートフォンを操作し、画面の指示にしたがって、利用する Web サービスの設定をします。





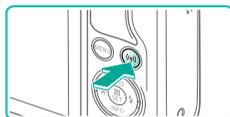
3 [☁] を選ぶ

- (P)ボタンを押します。
- ▲/▼/◀/▶ボタンを押して [☁] を選び、(O)ボタンを押します。
- Web サービスの設定が更新されます。



- 一度設定した内容を変更するときも同じ操作でカメラの設定を更新してください。

Web サービスに画像を送る



1 Wi-Fi メニューを表示する

- (P)ボタンを押します。



2 接続先を選ぶ

- ▲/▼/◀/▶ボタンを押して接続先の Web サービスのアイコンを選び、(O)ボタンを押します。
- 同じ Web サービスに複数の送信先や公開範囲などがあるときは、[送信先の選択] 画面が表示されるので、▲か▼ボタンを押して項目を選び、(O)ボタンを押します。



3 画像を送る

- 送信したい画像を選び、◀か▶ボタンを押して、[この画像を送信] を選び、(O)ボタンを押します。
- YouTube へ送信するときは、続いて表示される利用規約を読み [同意する] を選んで、(O)ボタンを押します。
- 送信が完了したら表示される画面で [OK] が表示されます。(O)ボタンを押すと再生モードの画面に戻ります。

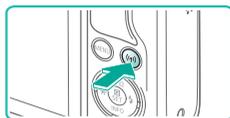


- 接続するには、画像が保存されたカードがカメラに入っている必要があります。
- 複数の画像をまとめて送ったり、画像のサイズの変更やコメントの追加をして送ったりすることができます (P23)。
- スマートフォンで CANON iMAGE GATEWAY に送信した画像を見るときは、専用のアプリケーション「Canon Online Photo Album」を使うことおすすめします。iPhone や iPad では App Store から、Android のスマートフォンでは Google Play から、Canon Online Photo Album を検索してダウンロードし、インストールしてください。



メディアプレーヤーで画像を閲覧する

カメラ内のカードにある画像をテレビなどで閲覧できます。この機能を利用するには、DLNA 対応のテレビのほか、ゲーム機、スマートフォンなどのメディアプレーヤーが必要です。以降の説明では、メディアプレーヤーと総称しています。ここでは、メディアプレーヤーが、アクセスポイントに接続していることを前提に説明しています。これらの設定方法については、お使いの機器の使用説明書を確認してください。



1 Wi-Fi メニューを表示する

- (P) ボタンを押します。



2 [TV] を選ぶ

- ▲ / ▼ / ◀ / ▶ ボタンを押して [TV] を選び、(O) ボタンを押します。



3 アクセスポイントへの接続をはじめる

- 「WPS に対応したアクセスポイントを使う」(P14) の手順 4～6 または「一覧に表示されたアクセスポイントを使う」(P15) の手順 2～4 の操作でアクセスポイントへの接続を行います。



- メディアプレーヤーと接続できる状態になるとこの画面が表示されます。一定時間経つと画面は暗くなります。
- 接続後の操作はメディアプレーヤーで行います。詳しくは、メディアプレーヤーの使用説明書を参照してください。

4 テレビにメディアプレーヤーの設定画面を表示する

- メディアプレーヤーを操作して、テレビに [Canon EOS M100] を表示させます。
- メディアプレーヤーによっては、別のアイコンが表示されることがあります。[Canon EOS M100] と表示されているアイコンを探してください。

5 画像を表示する

- [Canon EOS M100]、カード (SD など)、フォルダ、画像の順に選びます。
- 画像を選んでテレビに表示できます。詳しくは、メディアプレーヤーの使用説明書を参照してください。
- カメラを操作して接続を切断するときは、(O) ボタンを押してください。なお、画面が暗くなっているときは、何かボタンを操作してください。手順 3 の 2 つ目の画面が表示されてから (O) ボタンを押してください。

無線機能

アクセサリー

注意やヒント

本体に関する注意やヒント

撮影に関する注意やヒント

再生に関する注意やヒント

設定に関する注意やヒント

故障かな?と思ったら

メッセージ一覧

お役立ち情報

索引

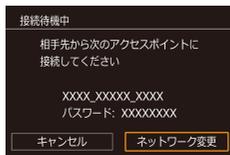
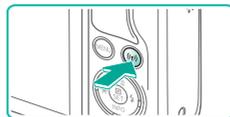




- 接続するには、画像が保存されたカードがカメラに入っている必要があります。
- Wi-Fi メニューを使って接続した機器があるときは、Wi-Fi メニューを表示しようとすると、最近接続した接続先名が最初に表示されます。▲か▼ボタンを押して項目を選び、Ⓢボタンを押すだけでかんたんに接続することができます。新しく接続先を登録するときは、◀か▶ボタンで機器の選択画面を表示して設定します。
- メディアプレーヤーの接続履歴は「MediaServ.」と表示されます。
- RAW 画像と動画は表示されません。
- テレビに表示される画像情報と内容は、メディアプレーヤーによって異なります。また、メディアプレーヤーによっては、画像情報が表示されなかったり縦位置表示が正常にできないことがあります。
- 「1-100」などと表示されているアイコンは、選んだフォルダに入っている画像を、ファイル番号別に分けたものです。
- カードやフォルダに表示される年月日は、閲覧時にカメラに設定されている日付が表示されることがあります。

プリンターにつないで画像を印刷する

Wi-Fi 機能を持つプリンターとカメラを接続して印刷します。なお、ここではカメラをアクセスポイントにして接続する手順を説明しますが、すでにお使いのアクセスポイントを使うこともできます(📖13)。



1 Wi-Fi メニューを表示する

- Ⓢボタンを押します。

2 [凸] を選ぶ

- ▲/▼/◀/▶ボタンを押して [凸] を選び、Ⓢボタンを押します。

3 [接続先の機器の登録] を選ぶ

- ▲か▼ボタンを押して [接続先の機器の登録] を選び、Ⓢボタンを押します。

- 画面にカメラの SSID とパスワードが表示されます。

4 プリンターをネットワークに接続する

- プリンターの Wi-Fi に関する設定メニューから、カメラに表示された SSID (ネットワーク名) を選択して接続します。





別のカメラに画像を送る

2台のカメラ同士で Wi-Fi 接続して画像を送受信できます。

- Wi-Fi 接続できるのは、キヤノン製の Wi-Fi 対応カメラのみです。FlashAir/Eye-Fi カードに対応していても Wi-Fi に対応していないキヤノン製カメラへは接続できません。



1 Wi-Fi メニューを表示する

- 〔P〕ボタンを押します。

2 [カメラ] を選ぶ

- ▲/▼/◀/▶ボタンを押して [カメラ] を選び、〔O〕ボタンを押します。

3 [接続先の機器の登録] を選ぶ

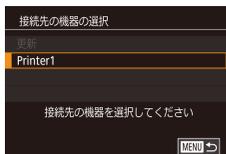
- ▲か▼ボタンを押して [接続先の機器の登録] を選び、〔O〕ボタンを押します。
- 相手のカメラも手順 1～3 を行います。
- 両方のカメラで [接続先のカメラでも通信を開始してください] 画面が表示されると登録が始まります。

5 プリンターを選ぶ

- ▲か▼ボタンを押してプリンターの名前を選び、〔O〕ボタンを押します。

6 画像を選んで印刷する

- ◀か▶ボタンを押して画像を選びます。
- 〔O〕ボタンを押したあと、〔L〕を選び、もう一度〔O〕ボタンを押します。
- ▲か▼ボタンを押して [印刷] を選び、〔O〕ボタンを押します。
- 詳しい印刷方法については「印刷する」(P41) を参照してください。
- 接続を切断するには、〔P〕ボタンを押して表示された確認画面で◀か▶ボタンを押して [OK] を選び〔O〕ボタンを押します。



- 接続するには、画像が保存されたカードがカメラに入っている必要があります。
- Wi-Fi メニューを使って接続した機器があるときは、Wi-Fi メニューを表示しようとすると、最近接続した接続先名が最初に表示されます。▲か▼ボタンを押して項目を選び〔O〕ボタンを押すだけでかんたんに接続することができます。新しく接続先を登録するときは◀か▶ボタンで機器の選択画面を表示して設定します。
- MENUの〔P4〕タブにある [無線通信の設定] の [Wi-Fi 設定] を選んだあと、[接続先履歴の表示] で [切] を選ぶと、最近接続した機器は表示されなくなります。
- ほかのアクセスポイントを使うときは、「ほかのアクセスポイントを使う」(P13) を参照してください。



4 画像を送る

- 送信したい画像を選び、◀か▶ボタンを押して「この画像を送信」を選び、Ⓜボタンを押します。
- 送信が完了すると、「送信が完了しました」と表示されたあと、画像を送信する画面に戻ります。
- 接続を切断するには、MENUボタンを押して表示される確認画面で◀か▶ボタンを押して [OK] を選び、Ⓜボタンを押します。

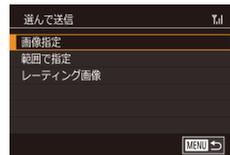


- 接続するには、カードがカメラに入っている必要があります。
- Wi-Fi メニューを使って接続した機器があるときは、Wi-Fi メニューを表示しようとすると、最近接続した接続先名が最初に表示されます。▲か▼ボタンを押して項目を選び、Ⓜボタンを押すだけでかんたんに接続することができます。新しく接続先を登録するときは◀か▶ボタンで機器の選択画面を表示して設定します。
- MENUの【4】タブにある「無線通信の設定」の「Wi-Fi 設定」を選んだあと、「接続先履歴の表示」で「切」を選ぶと、最近接続した機器は表示されなくなります。
- 複数の画像をまとめて送ったり、画像のサイズを変えて送ったりすることができます (㉓23)。

画像送信について

複数の画像を選んで同時に送ったり、記録画素数（画像の大きさ）を変えて送ることができます。また、Web サービスによっては、コメントをつけて画像を送信することができます。

複数の画像を送信する



1 「選んで送信」を選ぶ

- 画像送信の画面で、◀か▶ボタンを押して「選んで送信」を選び、Ⓜボタンを押します。

2 指定方法を選ぶ

- ▲か▼ボタンを押して指定方法を選びます。

1 枚ずつ指定する

1 「画像指定」を選ぶ

- 「複数の画像を送信する」(㉓23) の手順 2 の操作で「画像指定」を選び、Ⓜボタンを押します。





2 画像を選ぶ

- ▲ / ▼ / ◀ / ▶ ボタンを押して送信したい画像を選び、Ⓜ ボタンを押します。[✓] が表示されます。
- 選択を解除するには、もう一度Ⓜ ボタンを押します。[✓] が消えます。
- 別の画像も選ぶときは、上記の操作を繰り返します。
- 画像の選択が終わったら、MENU ボタンを押します。
- ◀ か ▶ ボタンを押して [OK] を選び、Ⓜ ボタンを押します。

3 送信する

- ◀ か ▶ ボタンを押して [送信] を選び、Ⓜ ボタンを押します。

範囲で指定する



1 [範囲で指定] を選ぶ

- 「複数の画像を送信する」(P.23) の手順 2 の操作で [範囲で指定] を選び、Ⓜ ボタンを押します。

2 画像を指定する

- Ⓜ ボタンを押して、始点の画像を指定します。
- ◀ か ▶ ボタンを押して画像を選び、Ⓜ ボタンを押します。
- ▶ ボタンを押して [終点選択] にし、Ⓜ ボタンを押します。

- ◀ か ▶ ボタンを押して画像を選び、Ⓜ ボタンを押します。
- 始点より前の画像は選べません。
- 動画も送信するときは、▲ / ▼ / ◀ / ▶ ボタンを押して [動画含む] を選び、Ⓜ ボタンを押して [✓] をつけます。
- ▲ / ▼ / ◀ / ▶ ボタンを押して [OK] を選び、Ⓜ ボタンを押します。

3 送信する

- ◀ か ▶ ボタンを押して [送信] を選び、Ⓜ ボタンを押します。

レーティング設定した画像を送る

レーティング設定した画像をまとめて送ることができます。

1 [レーティング画像] を選ぶ

- 「複数の画像を送信する」(P.23) の手順 2 の操作で [レーティング画像] を選び、Ⓜ ボタンを押します。
- ▲ か ▼ ボタンを押してレーティングのレベルを選びⓂ ボタンを押します。レーティング設定したレベルの画像だけが画像選択画面に表示されます。
- Ⓜ ボタンを押して [✓] を外し、送信しないようにすることもできます。
- 画像の選択が終わったら、MENU ボタンを押します。
- ◀ か ▶ ボタンを押して [OK] を選び、Ⓜ ボタンを押します。



2 送信する

- ◀か▶ボタンを押して [送信] を選び、 ボタンを押します。

画像送信時の注意事項

- お使いの通信環境によっては、動画の送信に非常に時間がかかります。バッテリー残量にご注意ください。
- Web サービスによっては送信できる画像の数や動画の時間が制限されます。
- スマートフォンに送信するとき、スマートフォンによっては、送信できる動画の画質に制限があります。詳しくは、お使いのスマートフォンの使用説明書などを参照してください。
- 画面には電波の状態を示す次のアイコンが表示されます。
[Y] 強、[Y] 中、[Y] 弱、[Y] 微弱
- Web サービスに送信するとき、一度、送信したことがある画像では、CANON iMAGE GATEWAY のサーバーにある画像が再利用されるので送信時間は短くなります。

記録画素数（画像の大きさ）を選ぶ

画像を送信する画面で、▲か▼ボタンを押して [S2] を選んだあと、 ボタンを押します。表示された画面で▲か▼ボタンを押して、送信する画像の記録画素数（画像の大きさ）を選び、 ボタンを押します。

- [しない] を選ぶと、リサイズされず元の画像の大きさのままで送信されます。
- [S2] を選ぶと、選んだ記録画素数より大きい画像がリサイズされて送信されます。
- 動画はリサイズできません。

コメントを入力して送信する

SNS やメールなどに画像を送信するときに、カメラでコメントを入力することができます。なお、送信先の Web サービスによって入力できる文字数は異なります。



1 コメント入力画面を表示する

- 画像を送信する画面で▲/▼/◀/▶ボタンを押して [☑] を選び、 ボタンを押します。

2 コメントを入力する

3 送信する



- コメントを入力しなかったときは、CANON iMAGE GATEWAY で設定したコメントが自動で送信されます。
- 複数の画像を送信するときにもコメントを入力できます。同時に送るすべての画像で同じコメントになります。



画像を自動で送る（クラウドシンクロ）

カード内の未転送の画像を CANON iMAGE GATEWAY 経由でパソコンや Web サービスに送信することができます。

なお、Web サービスだけに送信することはできません。

準備する

カメラの準備をする

接続先として [E] を登録します。送信先のパソコンに、クラウドシンクロ用のソフトウェア「Image Transfer Utility（イメージ トランスファー ユティリティ）」（無料）をインストールして設定します。



1 [E] を登録する

- 「CANON iMAGE GATEWAY を登録する」（17）の操作で、カメラに送信先として [E] を登録します。
- Web サービスにも画像を送信するときには、CANON iMAGE GATEWAY にログインし（16）、カメラの機種を選んでから、Web サービス設定の画面を表示して、クラウドシンクロの設定で、送信したい Web サービスを選んでください。詳しくは、CANON iMAGE GATEWAY のヘルプをご確認ください。

2 送信する画像の種類を選択する（動画も一緒に送信するときのみ）

- MENU ボタンを押して、[4] タブの [無線通信の設定] を選んだあと、[Wi-Fi 設定] を選びます。
- ▲か▼ボタンを押して [クラウドシンクロ] を選んだあと、[静止画+動画] を選びます。

パソコンの準備をする

送信先のパソコンにソフトウェアをインストールして設定します。



1 Image Transfer Utility をインストールする

- インターネットに接続したパソコンに Image Transfer Utility をインストールします（40）。
- Image Transfer Utility は CANON iMAGE GATEWAY のクラウドシンクロ設定画面（26）からもダウンロードできます。

2 カメラを登録する

- Windows では、タスクバー（画面下部に表示されるバー）で [E] を右クリックして [新しいカメラの追加] をクリックします。
- Mac OS では、メニューバー（画面上部に表示されるバー）で [E] をクリックして [新しいカメラの追加] をクリックします。
- CANON iMAGE GATEWAY と連携しているカメラの一覧が表示されます。送信元になるカメラを選びます。
- カメラが登録されて画像を受信できるようになると、アイコンが [E] に変わります。



画像を送る

カメラを操作して画像を送信すると、パソコンに自動で保存されます。なお、転送先に設定したパソコンが起動していないときは CANON iMAGE GATEWAY のサーバーに一時的に画像を保存しています。一定期間で削除されるのでパソコンを起動して画像を保存してください。

1 画像を送る

- 「Web サービスに画像を送る」(P19) の手順 1～2 の操作で [] を選びます。
- 送信された画像には [] が表示されます。

2 パソコンに保存する

- パソコンを起動すると、自動で画像が保存されます。
- Web サービスには、パソコンを起動しなくても、CANON iMAGE GATEWAY のサーバーから画像が自動で転送されます。



- 画像を送信するときは、フル充電されたバッテリーまたはコンパクトパワーアダプター（別売）と DC カプラー（別売）(P36) をあわせて使うことをおすすめします。



- ほかの方法でパソコンに取り込んだ画像でも、CANON iMAGE GATEWAY 経由で未転送のときは送信されます。
- カメラと同じネットワークに送信先のパソコンが接続されているときは、CANON iMAGE GATEWAY を経由しないで、アクセスポイント経由で画像が送信されるので、送信時間が短くなります。なお、パソコンに保存された画像は、パソコンから CANON iMAGE GATEWAY に送信されるので、パソコンがインターネットに接続している必要があります。

クラウドシンクロで送信した画像をスマートフォンで見る

スマートフォンに「Canon Online Photo Album (Canon OPA)」をインストールすると、クラウドシンクロで送信して CANON iMAGE GATEWAY に一時的に保存されている画像を、スマートフォンで見たりダウンロードすることができます。

なお、事前に次の準備が必要です。

- 「パソコンの準備をする」(P26) の設定が終わっている必要があります。
- iPhone や iPad では App Store から、Android のスマートフォンでは Google Play から、Canon Online Photo Album を検索してダウンロードし、インストールしてください。
- CANON iMAGE GATEWAY にログインし (P16)、カメラの機種を選んでから、Web サービス設定の画面を表示して、クラウドシンクロの設定で、スマートフォンで閲覧・ダウンロードできるように設定を変えてください。詳しくは、CANON iMAGE GATEWAY のヘルプをご確認ください。



- 一定期間を過ぎて CANON iMAGE GATEWAY から削除された画像は見ることができません。
- クラウドシンクロの設定で、スマートフォンで閲覧・ダウンロードできるように設定する前に送信した画像は見ることができません。



- Canon Online Photo Album の操作については、Canon Online Photo Album のヘルプを参照してください。



スマートフォンでカメラ内の画像やカメラを操作する

スマートフォンの専用アプリケーション Camera Connect を使うと次の操作が行えます。

- カメラ内の画像を一覧で表示したり、スマートフォンに保存したりする
- 撮影する画像に GPS 情報を記録する (㉒28)
- スマートフォンをリモコン代わりにしてカメラを操作する (㉒29)



- 操作するスマートフォンに対して画像を公開する設定にしておく必要があります (㉒12、㉒30)。

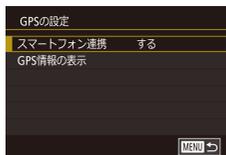
撮影する画像に GPS 情報を記録する

撮影する静止画や動画に、Bluetooth に対応しているスマートフォンの GPS 情報 (緯度 / 経度 / 標高など) を記録することができます。記録された GPS 情報はカメラで確認 (㉒98) したり、ソフトウェア (㉒39) を使うと地図上に表示しながら静止画や動画と一緒に確認することもできます。

1 カメラとスマートフォンを Bluetooth でペアリングして接続する (㉒8)

2 [GPS の設定] を選ぶ

- MENU ボタンを押して、[4] タブの [GPS の設定] を選び、 ボタンを押します。



3 設定する

- [スマートフォン連携] を選び、 ボタンを押して [する] を選びます。

4 撮影する

- 撮影した静止画や動画に、スマートフォンの GPS 情報が記録され、「情報表示 8」 (㉒98) で確認できます。
- 次回以降、スマートフォンを操作して Camera Connect を起動したあと、カメラとスマートフォンが Bluetooth で接続していることを確認してから撮影してください。



- Camera Connect が起動していないときは、撮影した画像に GPS 情報は記録されません。
- 動画には撮影をはじめたときの GPS 情報が記録されます。
- Wi-Fi 接続しているときは、GPS 情報は更新されません。
- リモートライブビュー撮影した画像には、Wi-Fi 接続に切り換えたときの GPS 情報が記録されます。
- カメラの電源が切れた状態から NFC 機能や Bluetooth 機能を使って接続したときは、GPS 情報は記録されないことがあります。
- GPS 情報を記録した静止画や動画は、個人を特定する情報が含まれていることがあります。そのため、GPS 情報が記録されている静止画や動画を他人に渡したり、インターネットなどの複数の人が閲覧できる環境へ掲載するときは、十分注意してください。





- スマートフォンから取得した GPS 情報は、MENU の [4] タブにある [GPS の設定] を選んだあと、[GPS 情報の表示] を選ぶと確認できます。
- 画面にある次のアイコンで GPS 情報取得状態を確認できます。
[GPS] 取得中、[GPS] 未取得

スマートフォンをリモコン代わりにしてカメラを操作する

Wi-Fi 機能を使ってカメラを操作する

スマートフォンで撮影画面を見ながら撮影することができます。



- 操作するスマートフォンに対してすべての画像を公開する設定にしておく必要があります (131)。

1 カメラを準備する

- 三脚に付けるなどしてカメラを安定させてください。

2 カメラとスマートフォンを接続する (112)

- 画像の公開設定では [すべての画像] を選んでください。

3 リモートライブビュー撮影を選ぶ

- スマートフォンを操作して、Camera Connect で [リモートライブビュー撮影] を選びます。
- リモートライブビュー撮影の準備ができると、スマートフォンの画面にカメラからの映像が表示されます。
- カメラの画面にはメッセージが表示され、電源ボタン以外は操作できなくなります。

4 撮影する

- スマートフォンを操作して撮影します。



- 動画は撮影できません。
- ピントが合うまでに時間がかかることがあります。
- 通信状態によっては、映像の表示が遅れたり、撮影のタイミングが遅れることがあります。



- 接続環境によっては、スマートフォンに表示されるカメラからの映像がややざこちなくなることがありますが、記録される画像に影響はありません。
- 撮影した画像はスマートフォンには転送されません。スマートフォンを操作して、カメラ内の画像を表示して保存してください。

Bluetooth 機能を使ってカメラを操作する

Bluetooth に対応しているスマートフォンをリモコン代わりに操作して、撮影したり再生する画像を切り換えたりすることができます。撮影時に素早く接続することができたり、テレビに接続して再生の操作をするときなどに便利です。

1 カメラの準備をする

- カメラで撮影モードや撮影機能を設定します。
- 撮影するときは、三脚に付けるなどしてカメラを安定させてください。

2 カメラとスマートフォンを接続する (118)

- Bluetooth で接続していることを確認してください。



3 Bluetooth リモートコントローラーを選ぶ

- スマートフォンを操作して、Camera Connect で [Bluetooth リモートコントローラー] を選びます。
- スマートフォンの画面が Bluetooth リモートコントローラーの操作画面に切り換わります。

4 撮影したり画像を切り換えたりする

- スマートフォンを操作して、撮影モードで撮影したり再生モードで画像を切り換えたりします。



- Wi-Fi 接続中は、[Bluetooth リモートコントローラー] を選ばません。



- Bluetooth の接続状態は、カメラの画面に表示されているアイコンで確認できます。

無線通信の設定を編集 / 消去する

無線通信に関する、設定の編集 / 消去方法について説明します。

接続情報を編集する



1 Wi-Fi メニューを表示し、編集する機器を選ぶ

- Ⓜ️ ボタンを押します。
- ◀️か▶️ボタンを押して機器の選択画面を表示したあと、▲/▼/◀️/▶️ボタンを押して編集したい機器のアイコンを選び、Ⓜ️ボタンを押します。

2 [接続先の機器の編集] を選ぶ

- ▲か▼ボタンを押して [接続先の機器の編集] を選び、Ⓜ️ボタンを押します。

3 編集する接続先を選ぶ

- ▲か▼ボタンを押して編集したい接続先を選び、Ⓜ️ボタンを押します。

4 編集する項目を選ぶ

- ▲か▼ボタンを押して編集する項目を選び、Ⓜ️ボタンを押します。
- 編集できる項目は、接続先によって異なります。



編集できる項目	接続先				
					Web サービス
ニックネームの変更 (📖31)	○	○	○	-	-
画像の公開設定 (📖31)	-	○	-	-	-
接続情報を消去 (📖31)	○	○	○	-	-

○ : 設定可 - : 設定不可

接続先のニックネームを変更する

カメラに表示させる接続先のニックネーム（表示名）を変更できます。



- 「接続情報を編集する」(📖30) の手順 4 の操作で [ニックネームの変更] を選び、 ボタンを押します。
-  ボタンを押して表示されたキーボードでニックネームを入力します。

接続情報を消去する

接続情報（接続先の機器の情報）を消去できます。



- 「接続情報を編集する」(📖30) の手順 4 の操作で [接続情報を消去] を選び、 ボタンを押します。
- [消去しますか?] が表示されたら、◀か▶ボタンを押して [OK] を選び、 ボタンを押します。
- 接続情報が消去されます。

スマートフォンに公開する画像を設定する

スマートフォンとカメラを接続したときに、カメラのカード内にある画像のうち、どの画像をスマートフォンで表示するかを設定します。

設定項目	スマートフォンに公開される画像
すべての画像	カード内のすべての画像
今日撮影した画像	その日に撮影した画像
何日前までに撮影した画像	その日から指定した日数分前の日までに撮影した画像
レーティングで選択	指定したレーティングの画像
ファイル番号の範囲	指定した範囲の画像

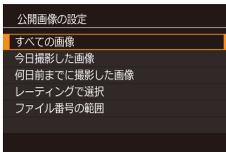
なお、スマートフォンに接続する際に手順 2 の画面が表示されたときも同じ操作で設定できます。



1 設定画面を表示する

- 「接続情報を編集する」(📖30) の手順 4 の操作で [画像の公開設定] を選び、 ボタンを押します。





2 項目を選んで設定する

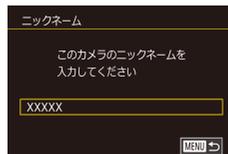
- ▲か▼ボタンを押して項目を選びます。
- [すべての画像] または [今日撮影した画像] を選んだときは、**OK** ボタンを押します。
- [何日前までに撮影した画像] を選んだときは、**OK** ボタンを押して表示された画面で ▲か▼ ボタンを押して日数を指定し、**OK** ボタンを押します。
- [レーティングで選択] を選んだときは、**OK** ボタンを押して表示された画面で ▲か▼ ボタンを押してレーティングを選び、**OK** ボタンを押します。
- [ファイル番号の範囲] を選んだときは、**OK** ボタンを押して表示された画面で開始と終了の画像を選んで範囲を指定したあと、[OK] を選んで **OK** ボタンを押します。



- リモートライブビュー撮影をするときは、[すべての画像] を選んでください。

カメラのニックネームを変える

接続先の機器に表示されるカメラのニックネームを変えることができます。



1 [無線通信の設定] を選ぶ

- **MENU** ボタンを押して、**[4]** タブの [無線通信の設定] を選びます。

2 [ニックネーム] を選ぶ

- ▲か▼ボタンを押して [ニックネーム] を選び、**OK** ボタンを押します。

3 ニックネームを変更する

- **OK** ボタンを押して表示されたキーボードでニックネームを入力します。



- ニックネームの 1 文字目に記号やスペースを入力しようとするとメッセージが表示されます。**OK** ボタンを押してから入力しなおしてください。
- はじめて Wi-Fi 機能を使うときに表示される [ニックネームの登録] 画面で、ニックネームを変えることができます。ニックネームを変えるときは、入力欄を選んで **OK** ボタンを押してキーボードを表示させて入力します。



無線通信の設定を初期化する

カメラを譲渡したり廃棄したりするときは、無線通信の設定を初期化します。

無線通信の設定を初期化すると、Web サービスの設定内容もすべて消去されます。十分に確認してから初期化してください。



1 [無線通信の設定] を選ぶ

- MENUボタンを押して、[4] タブの [無線通信の設定] を選びます。



2 [設定の初期化] を選ぶ

- ▲か▼ボタンを押して [設定の初期化] を選び、Ⓜボタンを押します。

3 初期化する

- ◀か▶ボタンを押して [OK] を選び、Ⓜボタンを押します。
- 無線通信の設定が初期化されます。



- 無線通信以外の設定を初期化するときは、[4] タブの [カメラの初期化] を選びます。

Bluetooth でペアリングしている機器の登録を解除する

ほかのスマートフォンとペアリングするときは、接続しているスマートフォンの登録を解除します。



1 [Bluetooth 設定] を選ぶ

- MENUボタンを押して、[4] タブにある [無線通信の設定] の [Bluetooth 設定] を選びます。



2 [接続先情報の確認 / 登録解除] を選ぶ

- ▲か▼ボタンを押して [接続先情報の確認 / 登録解除] を選び、Ⓜボタンを押します。

3 登録を解除する

- 接続先情報の確認画面でⓂボタンを押します。
- [接続先の登録を解除します] が表示されたら、◀か▶ボタンを押して [OK] を選び、Ⓜボタンを押します。



4 カメラの登録を解除する

- スマートフォンを操作して、OS の Bluetooth 設定画面からカメラの登録を解除します。



無線機能

アクセサリー

注意やヒント

本体に関する注意やヒント

撮影に関する注意やヒント

再生に関する注意やヒント

設定に関する注意やヒント

故障かな?と思ったら

メッセージ一覧

お役立ち情報

索引

アクセサリー

別売りのアクセサリーや市販の対応機器を使って、カメラの楽しみかたを広げることができます。

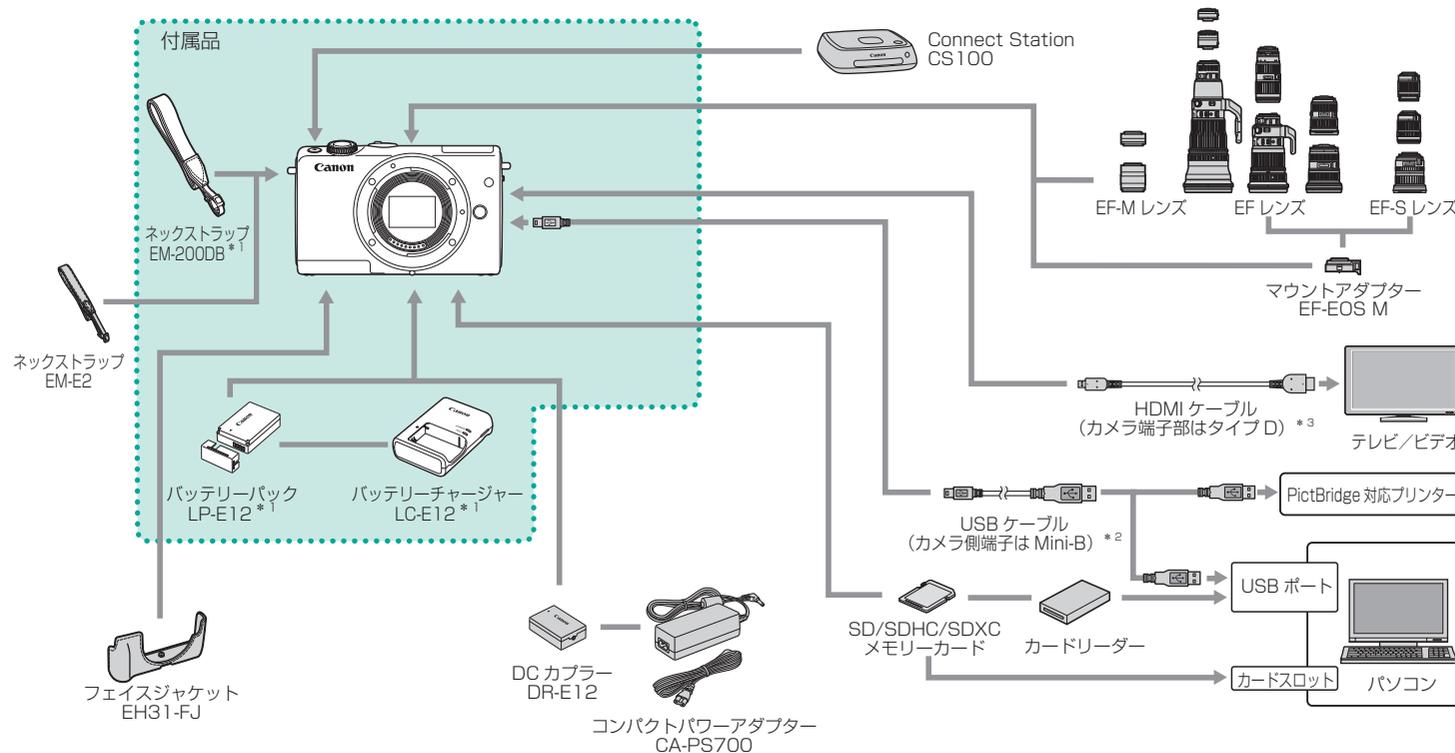
アクセサリーはキヤノン純正品のご使用をおすすめします

本製品は、キヤノン純正の専用アクセサリーと組みあわせてお使いになった場合に最適な性能を発揮するように設計されておりますので、キヤノン純正アクセサリーのご使用をおすすめいたします。

なお、純正品以外のアクセサリーの不具合（例えばバッテリーパックの液漏れ、破裂など）に起因することが明らかな、故障や発火などの事故による損害については、弊社では一切責任を負いかねます。また、この場合のキヤノン製品の修理につきましては、保証の対象外となり、有償とさせていただきます。あらかじめご了承ください。



システムマップ



* 1 別売りも用意されています。

* 2 キヤノン純正品 (インターフェースケーブル IFC-400PCU) もあります。

* 3 長さ 2.5m 以下の市販品をお使いください。

無線機能

アクセサリー

注意やヒント

本体に関する注意やヒント

撮影に関する注意やヒント

再生に関する注意やヒント

設定に関する注意やヒント

故障かな?と思ったら

メッセージ一覧

お役立ち情報

索引



別売アクセサリ

必要に応じてお買い求めの上、ご利用ください。なお、アクセサリは、諸事情により予告なく販売を終了することがあります。また、地域によってはお取り扱いがないことがあります。

レンズ

EF-M レンズ、EF レンズ、EF-S レンズ

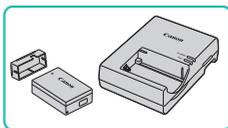
- 目的や表現にあわせてレンズを交換できます。なお、EF レンズ、EF-S レンズを付けるときはマウントアダプター EF-EOS M が必要です。



マウントアダプター EF-EOS M

- EF レンズ、EF-S レンズを付けるときに使うマウントアダプターです。

電源



バッテリーパック LP-E12

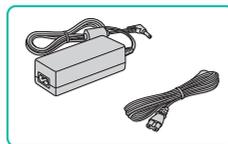
- 充電式のリチウムイオン電池です。

バッテリーチャージャー LC-E12

- バッテリーパック LP-E12 用のバッテリーチャージャーです。

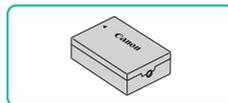


- バッテリーには、充電状態を見分けることができるカバーがついています。充電したバッテリーは▲が見えるように、充電前のバッテリーは▲が隠れるようにカバーを付けます。



コンパクトパワーアダプター CA-PS700

- 家庭用電源でカメラを使えます。カメラを長時間連続して使うときや、プリンターやパソコンとつなぐときには、このコンパクトパワーアダプターと DC カプラーをお使いになることをおすすめします(カメラ内のバッテリーは充電できません)。



DC カプラー DR-E12

- コンパクトパワーアダプターとあわせて使います。



- バッテリーチャージャーやコンパクトパワーアダプターは、AC 100 - 240 V 50/60 Hz の地域で使えます。
- プラグの形状があわないときは、市販の電源プラグ変換アダプターを使ってください。なお、海外旅行用の電子式変圧器は故障の原因になりますので絶対に使わないでください。

無線機能

アクセサリ

注意やヒント

本体に関する注意やヒント

撮影に関する注意やヒント

再生に関する注意やヒント

設定に関する注意やヒント

故障かな?と思ったら

メッセージ一覧

お役立ち情報

索引



無線機能

アクセサリー

注意やヒント

本体に関する注意やヒント

撮影に関する注意やヒント

再生に関する注意やヒント

設定に関する注意やヒント

故障かな?と思ったら

メッセージ一覧

お役立ち情報

索引

その他のアクセサリー



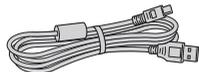
フェイスジャケット EH31-FJ

- カメラに付けて、キズやホコリから守ったり、カメラの印象を変えることができます。



ネックストラップ EM-E2

- やわらかく肌触りのいいストラップです。

インターフェースケーブル
IFC-400PCU

- パソコンやプリンターとカメラをつなぐケーブルです。
- IFC-200U、IFC-500U も使えます。

プリンター



キヤノン製 PictBridge 対応プリンター

- プリンターをつなぐと、パソコンを使わずに撮影した画像を印刷できます。製品の詳細については、ホームページやカタログで確認していただくか、お客様相談センターへお問い合わせください。

フォトストレージ



Connect Station CS100

- カメラで撮影した画像の保存やテレビでの観賞のほか、Wi-Fi 対応プリンターでの印刷やインターネットを活用した画像共有などが楽しめる機器です。



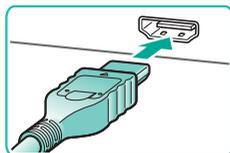
別売アクセサリーの使いかた

テレビで見る

市販の HDMI ケーブル（長さ 2.5m 以下、カメラ側端子はタイプ D）でカメラと HD 対応テレビをつなぐと、撮影した画像をテレビで見ることができます。また、[\[EFD 59.94P\]](#) [\[EFD 29.97P\]](#) [\[EFD 23.98P\]](#) [\[EHD 59.94P\]](#) [\[EFD 50.00P\]](#) [\[EFD 25.00P\]](#) [\[EHD 50.00P\]](#) で撮影した動画は HD（ハイビジョン）画質で見ることができます。

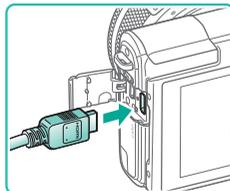
なお、お使いになるテレビとのつなぎかたや入力の切り換えかたについては、テレビの使用説明書を参照してください。

1 カメラとテレビの電源を切る



2 カメラとテレビをつなぐ

- ケーブルのプラグを、図のようにテレビの HDMI 入力端子へしっかりと差し込みます。



- ふたを開き、ケーブルのプラグをカメラの端子へしっかりと差し込みます。

3 テレビの電源を入れて、外部入力に切り換える

- テレビの入力を、手順 2 の操作でつないだ外部入力に切り換えます。

4 カメラの電源を入れる

- 電源ボタンを押します。
- ボタンを押します。
- 画像がテレビに表示されます（カメラの画面には何も表示されません）。
- 見終わったらカメラとテレビの電源を切ってから、ケーブルを抜きます。



- テレビにつないだときは、画面をタッチして操作することはできません。



- カメラとテレビをつなぐと、カメラの画面表示をテレビに表示して撮影できます。撮影操作は、カメラの画面を使ったときと同じです。ただし、MF 拡大表示、MF ピーキングはできません。

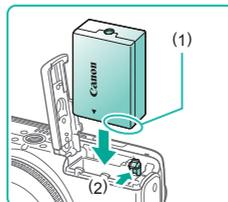
家庭用電源でカメラを使う

コンパクトパワーアダプター CA-PS700（別売）と DC カプラー DR-E12（別売）をあわせて使うと、バッテリーの残量を気にせずにカメラを使うことができます。

1 カメラの電源を切る

2 カプラーを入れる

- ふたを開き、カプラーの端子部 (1) を図の向きにして、バッテリーロックを (2) の方向へ動かしたままカプラーを入れます。
- ふたを閉めます。



無線機能

アクセサリー

注意やヒント

本体に関する注意やヒント

撮影に関する注意やヒント

再生に関する注意やヒント

設定に関する注意やヒント

故障かな?と思ったら

メッセージ一覧

お役立ち情報

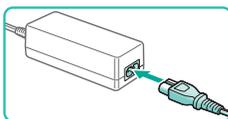
索引





3 プラグをカブラーにつなぐ

- カバーを開き、アダプターのプラグをカブラーの端子にしっかりと差し込みます。



4 電源コードを付ける

- 電源コードをアダプターに差し込み、プラグをコンセントに差し込みます。
- カメラの電源を入れると、カメラが使えます。
- 使い終わったら、カメラの電源を切ってからプラグをコンセントから抜いてください。



- カメラの電源を入れたまま、プラグや電源コードを抜かないでください。撮影した画像が消えたり、カメラが故障することがあります。
- 故障の原因となるためアダプターやコードを固定して使わないでください。

ソフトウェアを使う

ここでは、弊社 Web サイトからダウンロードするソフトウェアの紹介のほか、インストール方法、画像をパソコンに取り込む方法について説明します。

ソフトウェアについて

ソフトウェアをインストールすると、パソコンで次のようなことができます。

- EOS Utility (イオス ユーティリティ)
 - 画像の取り込みやカメラの各種設定
- Digital Photo Professional (デジタル フォト プロフェッショナル)
 - RAW 画像を含む画像の閲覧をはじめ、現像処理や各種の編集
- Picture Style Editor (ピクチャー スタイル エディター)
 - ピクチャースタイルの編集、ピクチャースタイルファイルの作成/保存
- Image Transfer Utility (イメージ トランスファー ユーティリティ)
 - クラウドシンクロ (☑26) の設定、画像受信
- Map Utility (マップユーティリティ)
 - 画像に記録されている GPS 情報を地図上で表示



- パソコンで動画を見たり編集するときは、カメラで撮影した動画に対応したソフトウェア (パソコンに標準でインストールされているソフトウェアや汎用のソフトウェア) をお使いください。



- Image Transfer Utility は CANON iMAGE GATEWAY のクラウドシンクロ設定画面からもダウンロードできます。



パソコンの環境を確認する

ソフトウェアがお使いになれるパソコンの詳細なシステム構成や最新のOSを含む対応状況については、弊社 Web サイトを確認してください。

インストールする

1 ソフトウェアをダウンロードする

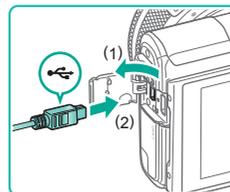
- パソコンからインターネットへ接続し、次のサイトに接続します。
<http://cweb.canon.jp/e-support/software/index.html>
- ソフトウェアをダウンロードします。

2 画面の指示にしたがって操作する

- ダウンロードしたファイルをダブルクリックしてインストールします。

画像をパソコンに取り込む

インターフェースケーブルでカメラとパソコンをつないで、画像をパソコンに取り込みます。



1 カメラとパソコンをつなぐ

- カメラの電源が切れた状態でふたを開きます (1)。ケーブルの小さい方のプラグを図の向きにして、カメラの端子にしっかりと差し込みます (2)。
- ケーブルの大きい方のプラグをパソコンの USB 端子に差し込みます。パソコンの USB 端子については、パソコンの使用説明書を参照してください。

2 電源を入れて EOS Utility を表示する

- ▶ ボタンを押します。
- Windows では、デスクトップにある EOS Utility のアイコンをダブルクリックします。
- Mac OS では、Dock (デスクトップ下部に表示されるバー) にある EOS Utility のアイコンをクリックします。
- 2 回目以降は、カメラとパソコンを接続したときは、カメラの電源を入れると EOS Utility が起動します。



無線機能

アクセサリ

注意やヒント

本体に関する注意やヒント

撮影に関する注意やヒント

再生に関する注意やヒント

設定に関する注意やヒント

故障かな?と思ったら

メッセージ一覧

お役立ち情報

索引



3 画像をパソコンに取り込む

- [画像をパソコンに取り込み] ▶ [自動取り込み開始] の順にクリックします。
- 画像がパソコンに取り込まれて、「ピクチャ」フォルダ内に撮影日ごとのフォルダに分けられて保存されたあと、Digital Photo Professionalが自動的に起動し、取り込んだ画像が表示されます。
- 取り込みが完了したらEOS Utilityを閉じ、カメラの電源ボタンを押して電源を切ってからケーブルを抜きます。
- パソコンに取り込んだ画像を見るときはDigital Photo Professionalをお使いください。動画を見るときはカメラで撮影した動画に対応したソフトウェア（パソコンに標準でインストールされているソフトウェアや汎用のソフトウェア）をお使いください。



- はじめてカメラとパソコンをつないだときにドライバーがインストールされるため、操作ができるようになるまでに時間がかかることがあります。
- ソフトウェアの画像取り込み機能を使わなくても、カメラとパソコンをつなぐだけで画像を取り込むことができますが、次のような制限事項があります。
 - カメラとパソコンをつないでから操作できるようになるまで、数分かかることがあります。
 - 縦位置で撮影した画像が横位置になって取り込まれることがあります。
 - RAW画像および同時記録されたJPEG画像は、取り込まれないことがあります。
 - 保護した画像が、パソコン側で解除されることがあります。
 - OSのバージョンや使用するソフトウェア、ファイルサイズによっては、画像や画像に付属する情報が正しく取り込まれないことがあります。

印刷する

撮影した画像は、カメラとプリンターをつないで印刷することができます。また、カメラで画像を指定しておき、一括印刷、写真店への印刷注文、フォトブックの注文や印刷をすることができます。なお、ここでは、キヤノン製コンパクトフォトプリンター SELPHY CPシリーズを使って説明しています。プリンターによっては表示される画面やできることが異なります。プリンターの使用説明書もあわせて参照してください。

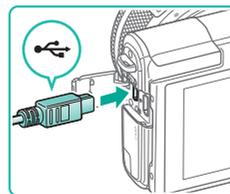
かんたん印刷

撮影した画像は、インターフェースケーブルでカメラとPictBridge（ピクトブリッジ）対応プリンター（別売）をつないで、かんたんに印刷できます。

1 カメラとプリンターの電源を切る

2 カメラとプリンターをつなぐ

- ふたを開き、ケーブルの小さい方のプラグを図の向きにして、カメラの端子にしっかりと差し込みます。
- ケーブルの大きい方のプラグをプリンターに差し込みます。プリンターとのつなぎかたについては、プリンターの使用説明書を参照してください。



3 プリンターの電源を入れる

無線機能

アクセサリ

注意やヒント

本体に関する注意やヒント

撮影に関する注意やヒント

再生に関する注意やヒント

設定に関する注意やヒント

故障かな?と思ったら

メッセージ一覧

お役立ち情報

索引

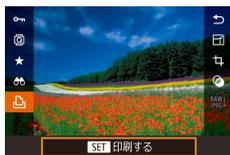


4 カメラの電源を入れる

- 電源ボタンを押します。

5 画像を選ぶ

- ◀か▶ボタンを押して画像を選びます。



6 印刷画面を表示する

- Ⓜボタンを押したあと、[⏏]を選び、もう一度Ⓜボタンを押します。



7 印刷する

- ▲か▼ボタンを押して [印刷] を選び、Ⓜボタンを押します。
- 印刷がはじまります。
- 別の画像を印刷するときは、印刷が終わったあと、手順5からの操作を繰り返します。
- 印刷が終わったらカメラとプリンターの電源を切り、ケーブルを抜きます。



- キヤノン製 PictBridge 対応プリンター (別売) については、「プリンター」(437) を参照してください。

印刷設定をする



1 印刷画面を表示する

- 「かんたん印刷」(41) の手順1～6の操作でこの画面を表示します。

2 設定する

- ▲か▼ボタンを押して項目を選び、Ⓜボタンを押します。次の画面で▲か▼ボタンを押して内容を選んだあと、Ⓜボタンを押して印刷画面に戻ります。

🗨️	日付	日付を入れて印刷します。
	画像番号	画像番号を入れて印刷します。
	両方	日付と画像番号の両方を印刷します。
	切	-
	標準設定	プリンターの設定にしたいがいます。
🖨️	標準設定	プリンターの設定にしたいがいます。
	切	-
	入	撮影時の情報を使って最適な設定で印刷します。
📄	赤目 1	赤く写った目を補正します。
	印刷枚数	印刷枚数を指定します。
トリミング	-	印刷する範囲を指定します (43)。
用紙設定	-	用紙サイズやレイアウトなどを指定します (43)。



画像を切り抜いて印刷する（トリミング）

画像の一部分を切り抜いて印刷することができます。



1 「トリミング」を選ぶ

- 「印刷設定をする」(P42)の手順1の操作で印刷画面を表示したあと、「トリミング」を選び、**OK**ボタンを押します。
- 切り抜く範囲を示す枠が表示されます。



2 切り抜く範囲を指定する

- 2本の指で画面をタッチして指の間隔を広げたり縮めたりして枠の大きさを変えます。
- ▲**/**▼**/**◀**/**▶**ボタンを押して枠の位置を変えます。
- ⚙️**ダイヤルを回すと枠が回転します。
- OK**ボタンを押して設定します。

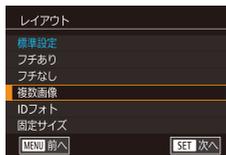
3 印刷する

- 「かんたん印刷」(P41)の手順7の操作で印刷します。



- 画像が小さすぎたり、縦横比によっては、トリミングできないことがあります。

用紙サイズやレイアウトを選んで印刷する



1 「用紙設定」を選ぶ

- 「印刷設定をする」(P42)の手順1の操作で印刷画面を表示したあと、「用紙設定」を選び、**OK**ボタンを押します。

2 用紙サイズを選ぶ

- ▲**か**▼**ボタンを押して内容を選び、**OK**ボタンを押します。

3 用紙タイプを選ぶ

- ▲**か**▼**ボタンを押して内容を選び、**OK**ボタンを押します。

4 レイアウトを選ぶ

- ▲**か**▼**ボタンを押して内容を選び、**OK**ボタンを押します。
- 「複数画像」を選んだときは、**OK**ボタンを押します。次の画面で**▲**か**▼**ボタンを押して印刷枚数を選んだあと、**OK**ボタンを押します。

5 印刷する



無線機能

アクセサリー

注意やヒント

本体に関する注意やヒント

撮影に関する注意やヒント

再生に関する注意やヒント

設定に関する注意やヒント

故障かな?と思ったら

メッセージ一覧

お役立ち情報

索引

レイアウトで設定できる項目

標準設定	プリンターの設定にしています。
フチあり	フチをつけて印刷します。
フチなし	フチなしで印刷します。
複数画像	1枚の用紙に印刷する画像の枚数を選びます。
ID フォト	証明写真用の画像を印刷します。 記録画素数がLで、縦横比が3:2の画像にのみ指定できます。
固定サイズ	印刷する大きさを指定します。 L判、はがき、ワイドサイズでのみ指定できます。

証明写真を印刷する

1 [ID フォト] を選ぶ

- 「用紙サイズやレイアウトを選んで印刷する」(43)の手順1～4の操作で[ID フォト]を選び、**[OK]**ボタンを押します。



2 長辺と短辺の長さを選ぶ

- ▲か▼ボタンを押して項目を選び、**[OK]**ボタンを押します。次の画面で▲か▼ボタンを押して長さを選んだあと、**[OK]**ボタンを押します。



3 印刷する範囲を選ぶ

- 手順2の画面で▲か▼ボタンを押して[トリミング]を選びます。
- 「画像を切り抜いて印刷する(トリミング)」(43)の手順2の操作で印刷する範囲を選びます。

4 印刷する

動画を印刷する



1 印刷画面を表示する

- 「かんたん印刷」(41)の手順1～6の操作で動画を選びます。この画面が表示されます。

2 印刷方法を選ぶ

- ▲か▼ボタンを押して[1コマ]を選び、**[OK]**ボタンを押します。次の画面で▲か▼ボタンを押して内容を選んだあと、**[OK]**ボタンを押して印刷画面に戻ります。

3 印刷する

動画の印刷方法

1 コマ	表示されているシーンを静止画として印刷します。
連続コマ	動画から一定の間隔で抜き出したシーンを、1枚の用紙に並べて印刷します。[キャプション]を[入]にすると、フォルダ番号、画像番号、コマの経過時間を同時に印刷できます。



- 印刷中に**[OK]**ボタンを押したあと、[OK]を選んで**[OK]**ボタンを押すと印刷が中止されます。
- 印刷したい動画のシーンで一時停止したあと、◀か▶ボタンを押して動画操作パネルの[1コマ]を選んで**[OK]**ボタンを押しても、手順1の画面が表示できます。



無線機能

アクセサリー

注意やヒント

本体に関する注意やヒント

撮影に関する注意やヒント

再生に関する注意やヒント

設定に関する注意やヒント

故障かな?と思ったら

メッセージ一覧

お役立ち情報

索引

印刷指定 (DPOF)

カード内の画像から印刷したい画像や印刷枚数をカメラで指定することができます。

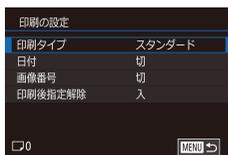
カード内の最大 998 画像を選んで設定すると、一括印刷 (P.47) や写真店へ印刷を注文することができます。なお、この指定方法は、DPOF (Digital Print Order Format) 規格に準拠しています。



- RAW 画像は指定できません。

印刷内容を指定する

印刷タイプや日付、画像番号といった印刷内容を設定できます。この設定は、印刷指定したすべての画像に共通して適用されます。



- MENUボタンを押して、[▶]3]タブの[印刷設定]を選び、ボタンを押します。
- ▲か▼ボタンを押して [印刷の設定] を選びボタンを押します。次の画面で、項目を選び設定します。

印刷タイプ	スタンダード	1 枚の用紙に 1 枚の画像を印刷
	インデックス	1 枚の用紙に縮小画像を複数印刷
	両方	スタンダードとインデックスの両方を印刷
日付	入	撮影日を入れて印刷
	切	—
画像番号	入	画像番号を入れて印刷
	切	—
印刷後 指定解除	入	印刷後、画像の印刷指定をすべて解除
	切	—

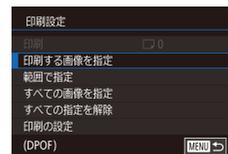


- プリンターまたは写真店によっては、設定した内容が反映されないことがあります。
- ほかのカメラで設定したカードをこのカメラに入れると、が表示されることがあります。このカメラで設定を変えると、設定済みの内容がすべて書き換えられることがあります。
- [日付] を [入] に設定すると、お使いのプリンターによっては、日付が重複して印刷されることがあります。



- [インデックス] に設定したときは、[日付] と [画像番号] の両方を [入] にはできません。
- 一部のキヤノン製 PictBridge 対応プリンター (別売) では、インデックス印刷ができないことがあります。
- 日付の並びは、MENU の [▶]2] タブの [日付 / 時刻] で設定した内容で印刷されます。

1 枚ずつ印刷枚数を指定する



1 [印刷する画像を指定] を選ぶ

- MENUボタンを押して、[▶]3]タブの[印刷設定]を選び、ボタンを押します。
- ▲か▼ボタンを押して [印刷する画像を指定] を選びボタンを押します。

2 画像を選ぶ

- ◀か▶ボタンを押して画像を選び、ボタンを押します。
- 枚数指定ができるようになります。
- [インデックス] では、指定されると [✓] が表示されます。インデックス印刷の指定を解除するには、もう一度ボタンを押します。[✓] が消えます。





3 枚数を設定する

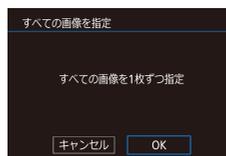
- ▲か▼ボタンを押して枚数を指定します (最大 99 枚)。
- 手順 2～3 の操作を繰り返して、画像と枚数を指定します。
- [インデックス] では枚数の指定ができません。手順 2 の操作で画像のみを選んでください。
- MENU ボタンを押すと設定され、メニュー画面に戻ります。

印刷範囲を指定する



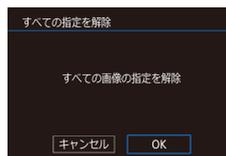
- 「1枚ずつ印刷枚数を指定する」(P45) の手順 1 の操作で [範囲で指定] を選び、OK ボタンを押します。
- OK ボタンを押して、始点の画像を指定します。
- ◀ボタンを押して画像を選び、OK ボタンを押します。
- ▶ボタンを押して [終点選択] にし、OK ボタンを押します。
- ◀ボタンを押して画像を選び、OK ボタンを押します。
- 始点より前の画像は選べません。
- ▲か▼ボタンを押して [画像指定] を選び、OK ボタンを押します。

すべての画像を印刷指定する



- 「1枚ずつ印刷枚数を指定する」(P45) の手順 1 の操作で [すべての画像を指定] を選び、OK ボタンを押します。
- ◀ボタンを押して [OK] を選び、OK ボタンを押します。

すべての印刷指定を解除する



- 「1枚ずつ印刷枚数を指定する」(P45) の手順 1 の操作で [すべての指定を解除] を選び、OK ボタンを押します。
- ◀ボタンを押して [OK] を選び、OK ボタンを押します。

フォトブック指定

カード内の画像からフォトブックに使いたい画像を指定 (最大 998 画像) し、ソフトウェアを使ってパソコンに取り込むと、指定した画像が専用のフォルダにコピーされます。インターネットでフォトブック注文するときや、お使いのプリンターで印刷するとき便利です。



指定方法を選ぶ



- MENUボタンを押して、[] 3] タブの「フォトブック指定」を選んだあと、指定方法を選びます。



- ほかのカメラで設定したカードをこのカメラに入れると、[] が表示されることがあります。このカメラで設定を変えると、設定済みの内容がすべて書き換えられることがあります。

1 枚ずつフォトブック指定する



1 「画像指定」を選ぶ

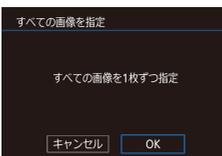
- 「指定方法を選ぶ」(47) の操作で「画像指定」を選び、[] ボタンを押します。



2 画像を選ぶ

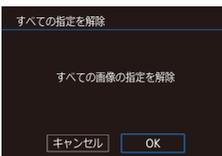
- ◀か▶ボタンを押して画像を選び、[] ボタンを押します。
- [] が表示されます。
- もう一度[] ボタンを押すとフォトブック指定が解除されます。[] が消えます。
- 別の画像も指定するときは、上記の操作を繰り返します。
- MENUボタンを押すと設定され、メニュー画面に戻ります。

すべての画像をフォトブック指定する



- 「指定方法を選ぶ」(47) の操作で「すべての画像を指定」を選び、[] ボタンを押します。
- ◀か▶ボタンを押して [OK] を選び、[] ボタンを押します。

すべてのフォトブック指定を解除する



- 「指定方法を選ぶ」(47) の操作で「すべての指定を解除」を選び、[] ボタンを押します。
- ◀か▶ボタンを押して [OK] を選び、[] ボタンを押します。



第2部

注意やヒント

本体に関する注意やヒント

カメラを準備するときや、カメラの基本的な操作に関する注意などを記載しています。

日ごろの取り扱いについて

- カメラは精密機器です。落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
- カメラを磁石やモーターなどの、強力な磁場を発生させる装置の近くに、絶対に置かないでください。電磁波により、カメラが誤作動したり、記録した画像が消えたりすることがあります。
- カメラやモニターに水滴や汚れがついたときは、眼鏡拭きなどのやわらかい布で拭き取ってください。ただし、強くこすったり、押ししたりしないでください。
- 有機溶剤を含むクリーナーなどでは、絶対にカメラやモニターを拭かないでください。
- レンズにゴミがついているときは、市販のプロアーで吹き飛ばすだけにしてください。汚れがひどいときは、修理受付窓口にご相談ください。
- バッテリーはビニール袋などに入れて保管してください。また、バッテリーの性能を維持するために、長期間使わないときは1年に1回程度充電し、使い切ってから保管してください。
- カメラやレンズの接点を触らないでください。カメラの動作不良の原因になることがあります。
- レンズを外すと撮像素子が見えますが、損傷のおそれがありますので、撮像素子には触らないでください。
- 指などでシャッターの動作を阻害しないでください。故障の原因になります。
- レンズを外したときは、接点やレンズ面を傷つけないように、取り付け面を上にして置き、ダストキャップを付けてください。
- 撮像素子の前面には、外部から入り込むゴミのほかに、ごくまれにカメラ内部の潤滑剤などが付着することがあります。撮像素子の自動清掃後に汚れが画像に写り込むときは、修理受付窓口撮像素子の清掃をお申し付けください。
- カメラ本体とレンズのマウント部分を、定期的に市販のレンズクリーナー（布製）で拭くことをおすすめします。



準備する

カメラを構える

- ストロボを上げているときは、ストロボに指がかからないようにしてください。

バッテリーを充電する

- カメラに付属のバッテリーチャージャー（充電器）を使って、付属のバッテリーを充電します。お買い上げ時はバッテリーが充電されていませんので、必ず充電してからお使いください。
- バッテリーを保護し、性能の劣化を防ぐため、24 時間以上連続して充電しないでください。
- バッテリーチャージャーに異常が発生すると、保護回路が働いて充電が中止され、ランプがオレンジ色に点滅します。そのときは、バッテリーチャージャーをコンセントから抜いたあと、バッテリーを付けなおしてください。しばらく経ってからもう一度バッテリーチャージャーをコンセントに差し込んでください。
- バッテリーチャージャーは、AC100 - 240 V 50/60 Hz の地域で使えます。プラグの形状があわないときは、市販の電源プラグ変換アダプターを使ってください。海外旅行用の電子式変圧器は故障の原因になりますので絶対に使わないでください。
- 充電に必要な時間や、フル充電したバッテリーで撮影できる枚数と時間については、「主な仕様」を参照してください。
- 充電したバッテリーは、使わなくても自然放電によって少しずつ残量が減ります。充電は使う前日か当日にしてください。
- バッテリーのカバーを付けるときは、充電したバッテリーは▲が見えるように、充電前のバッテリーは▲が隠れるようにすると、充電状態を見分けることができます。

バッテリーを入れる／取り出す

- 間違った向きでバッテリーを入れるとロックされません。必ずバッテリーがロックされる正しい向きで入れてください。
- 電源を入れたままバッテリーを取り出すと設定中の内容が解除されることがあります。

カードを入れる／取り出す

- 新しく買ったカードやほかのカメラやパソコンで初期化したカードは、このカメラで初期化（フォーマット）することをおすすめします。
- スイッチがあるカードでは、スイッチが「LOCK」側になっていると撮影できません。スイッチを動かしてロックを解除してください。
- カードは、必ず正しい向きで入れてください。間違った向きで入れると、カメラの故障の原因となります。

日付／時刻を設定する

- 電源を入れたときに「日付／時刻」画面が表示されたときは、現在の日時に正しく設定してください。ここで設定した情報は撮影する画像に記録され、撮影日による管理や、日付を入れて印刷するときなどに使用できます。
- 日付／時刻や自宅エリアを設定しないと、電源を入れるたびに「日付／時刻」画面が表示されます。正しく設定してください。
- 日付／時刻を設定する画面で、[🌞] を選び、▲か▼ボタンを押して[🌞]にすると、サマータイム（1 時間プラスされます）に設定されます。
- 日付／時刻を設定する画面で、設定する項目をタッチして、[▲] か [▼] をタッチして設定したあと、[SET] をタッチすることでも日付／時刻を設定できます。また、自宅のエリアを設定する画面で、[◀] か [▶] をタッチして設定したあと、[SET] をタッチすることでも自宅のエリアを設定できます。
- カメラには日付／時刻用電池（バックアップ電池）が内蔵されており、バッテリーを取り出してから約 3 週間は、設定した日付／時刻が保持されます。

無線機能

アクセサリー

注意やヒント

本体に関する注意やヒント

撮影に関する注意やヒント

再生に関する注意やヒント

設定に関する注意やヒント

故障かな?と思ったら

メッセージ一覧

お役立ち情報

索引



無線機能

アクセサリー

注意やヒント

本体に関する注意やヒント

撮影に関する注意やヒント

再生に関する注意やヒント

設定に関する注意やヒント

故障かな?と思ったら

メッセージ一覧

お役立ち情報

索引

- 日付/時刻用電池は、充電したバッテリーをカメラに入れるか、コンパクトパワーアダプター（別売）とDCカプラー（別売）をあわせて使うと、カメラの電源を入れなくても約4時間で充電されます。
- 日付/時刻用電池がなくなると、カメラの電源を入れたときに「日付/時刻」画面が表示されます。正しく設定してください。

表示言語を選ぶ

- 言語設定は、MENUボタンを押すと表示されるメニュー画面で、 2] タブの「言語」を選んで設定することもできます。
- 言語を設定する画面で、表示したい言語をタッチして選び、もう一度同じ言語をタッチすることでも設定できます。

レンズを使う

レンズを取り付ける

- このカメラでは、EF-Mレンズを使用できます。また、別売のマウントアダプター EF-EOS M を使用すると、EFレンズ、EF-Sレンズも使用できます。
- レンズとカメラにある白い丸の取り付け指標をあわせ、レンズを「カチッ」と音がするまで回します。
- レンズ収納スイッチのあるレンズを収納するときは、レンズ収納スイッチを▲の方向に押ししたまま、ズームリングを回し、レンズ収納位置指標とズーム指標をあわせてレンズ収納スイッチを放します。
- ズーム操作は、ピント合わせの前に行います。ピントを合わせたあとでズーム操作を行うと、ピントがズレることがあります。
- レンズ保護のため、撮影しないときはレンズキャップを付けてください。
- お使いのレンズによっては、内蔵ストロボを使うとストロボ光がケラレて画像の一部が暗くなることがあります。

レンズを取り外す

- ゴミやほこりについて、普段から次のことに注意してください。
 - レンズの交換は、ほこりの少ない場所で素早く行う
 - レンズを外してカメラを保管するときは、カメラのキャップを必ず付ける
 - カメラのキャップは、ゴミやほこりを落としてからカメラに付ける
- 撮影画面は、35mm判カメラの撮影画面より小さいため、付けたレンズの焦点距離（有効撮影画角）は、「表記焦点距離×約1.6倍」相当になります。例えば、焦点距離が15-45mmのレンズは、35mm判カメラ換算で焦点距離が約24-72mmになります。

EFレンズ、EF-Sレンズを取り付ける

- 別売のマウントアダプター EF-EOS M を使用すると、EFレンズ、EF-Sレンズも使用できます。
- カメラより重いレンズを使うときは、レンズ側を支えて、持ち運び・撮影をしてください。
- アダプターを使うため、レンズの最短撮影距離が長くなり、最大撮影倍率や撮影範囲が変わることがあります。
- 自動ピント合わせのときに、レンズの先端（フォーカスリング）が動くレンズは、動いている部分に触れないでください。
- 一部の超望遠レンズのフォーカスプリセット機能やパワーズームは使えないことがあります。

三脚を使う

- アダプターを付けた状態で三脚を使うときは、アダプターに付属の三脚座を使ってください。カメラの三脚ねじ穴は使わないでください。
- 超望遠レンズなど、三脚座が付いた EF レンズを使うときは、レンズの三脚座に三脚を付けてください。



手ブレ補正を使う

- 手ブレ補正機能のあるレンズを付けると、撮影するときのわずかなカメラの動き(手の揺れ)を補正できます。なお、手ブレ補正機能のあるレンズの名称には「IS」が付いています。

電源の入れかた／切りかた

- EF-M レンズを付けていると、電源が切れているときは、カメラ内部保護のため、絞りを絞り込んでカメラ内部に光が入りにくいようになっています。そのため、電源を入り切りしたときに絞りが動く小さな音がします。
- 電源を入り切りしたときに、撮像素子の自動清掃が行われます(小さな音が鳴ることがあります)。また、電源が切れたときは、清掃中に画面に「

節電機能(オートパワーオフ)

- バッテリーの消費を防ぐため、カメラを操作しない状態で一定の時間がたつと、自動的に画面を消したり(ディスプレイオフ)、電源を切ったりする機能です。
- 約 1 分間カメラを操作しないと画面が消え、さらに約 1 分たつと電源が切れます。画面が消えた状態でもシャッターボタンを半押しすると画面が表示され、撮影できます。
- 再生モードの状態で画面が消えたあとシャッターボタンを半押ししても、撮影画面が表示されます。
- 節電機能を切ったり、画面が消えるまでの時間を変えたりすることができます。

シャッターボタンの押しかた

- 意図した被写体にピントが合った画像を撮るために、シャッターボタンを浅く押し「半押し」をしてピントを合わせてから、そのまま深く押し「全押し」をして撮影します。
- シャッターボタンを半押ししないで撮影すると、意図した被写体にピントが合わない画像になることがあります。

モニターの向きや角度の変えかた

- 撮影モードでモニターを開いてレンズ側に向けると、画像が鏡像(左右反転)で表示されます。ただし、MENU の 

撮影画面に表示される枠

- カメラを被写体に向けて被写体を検出すると、画面上にいろいろな枠が表示されます。
- 撮影シーンや被写体によっては、「枠が表示されない」、「撮りたい被写体に枠が表示されない」、「背景などに枠が表示される」ことがあるので、そのときは、「**P**」モードで撮影することをおすすめします。
- MENU の 

無線機能

アクセサリー

注意やヒント

本体に関する注意やヒント

撮影に関する注意やヒント

再生に関する注意やヒント

設定に関する注意やヒント

故障かな?と思ったら

メッセージ一覧

お役立ち情報

索引



撮影時の画面表示の切り換えかた

- ▼ボタンを押すと撮影情報やヒストグラムの表示 / 非表示が切り換わります。[📷 1] タブの [撮影情報表示設定] で、表示内容を変えることができます。
- 暗い場所では、自動的に画面が明るくなって構図を確認しやすくなります (ナイトビュー機能)。ただし、撮影される画像の明るさとは異なるほか、粗い感じ、またはややぎこちない表示になることがあります (記録される画像に影響はありません)。

再生時の画面表示の切り換えかた

- Wi-Fi でプリンター以外の機器と接続しているときは、表示を切り換えることはできません。

クイック設定画面の表示と操作方法

- よく使う機能は、[Q] (クイック設定) 画面で設定できます。
- 表示される設定項目や設定内容は、選んでいる撮影モードや再生モードによって変わります。
- 設定内容は、🌞ダイヤルを回しても選ぶことができます。
- 設定を誤って変えてしまったときは、初期状態に戻せます。
- 設定項目で [👉] を選んで🔍ボタンを押すことでも設定を終えることができます。

MENU (メニュー) の表示と操作方法

- 内容が表示されていない項目では、🔍ボタンを押して画面を切り換えたあと、さらに▲か▼ボタンを押して項目を選びます。設定中にMENUボタンを押すと、切り換える前の画面に戻ります。
- 設定が終了したあとにMENUボタンを押すと、MENUボタンを押す前の画面に戻ります。
- 設定を誤って変えてしまったときは、初期状態に戻せます。
- 表示される項目は、選んでいる撮影モードや再生モードによって変わります。

文字の入力方法

- 入力できる文字数や文字の種類は、機能によって異なります。
- [✕] をタッチすると、前の 1 文字が消去されます。[✕] をタッチしたままにすると、5 文字ずつ消去されます。
- 一部の機能では [↩] は表示されず使えません。
- 文字を入力するときは、▲ / ▼ / ◀ / ▶ ボタンを押して文字やアイコンを選び、🔍ボタンを押して操作することもできます。また、🌞ダイヤルを回して文字を入力する位置を移動することもできます。元の画面に戻るときはMENUボタンを押します。

ランプの表示

- ランプ (背面) が緑色に点滅しているときは、「電源を切る」、「カード収納部やバッテリー収納部のふたを開ける」、「振動や衝撃を与える」ことは絶対に行わないでください。画像が壊れて表示できなくなったり、カメラやカードが故障する原因になります。

無線機能

アクセサリー

注意やヒント

本体に関する注意やヒント

撮影に関する注意やヒント

再生に関する注意やヒント

設定に関する注意やヒント

故障かな?と思ったら

メッセージ一覧

お役立ち情報

索引



カメラまかせで撮る

- カメラが被写体や撮影状況を判別するため、シーンに最適な設定でカメラまかせの全自動撮影ができます。
- 人の顔や被写体が検出されると、枠が表示されてピントを合わせます。

オートモードで撮る（シーンインテリジェントオート） - 静止画

- [A] モードにした状態でカメラを被写体に向けると、画面の左上にカメラが判別したシーンのアイコンが表示されます。
- ズームできるレンズでは、レンズのズームリングを手で回して撮りたいものの大きさを変えることができます。
- シャッターボタンを半押しして、ピントが合うと電子音が「ピピッ」と2回鳴り、ピントが合った位置にAFフレームが表示されます。
- [ストロボを上げてください] のメッセージが表示されたときは、スイッチを動かして、ストロボを上げてください。撮影時にストロボが光ります。ストロボを指で押し下げて収納すると、ストロボは光りません。
- 撮影時、暗いところでストロボを上げているときは、自動的にストロボが光ります。
- 撮影すると、撮影した画像が約2秒間表示されます。画像が表示されている状態でも、シャッターボタンを押すと次の撮影ができます。

オートモードで撮る（シーンインテリジェントオート） - 動画

- 動画ボタンを押すと撮影は始まり、画面に [● 録画] と撮影時間が表示されます。
- 画面の上下に黒い帯が表示されますが、黒い帯の部分は撮影できません。

撮影に関する注意やヒント

いろいろな撮影モードを使用して、静止画や動画を撮影するときの注意などを記載しています。

- 動画撮影を開始すると、画面に表示される範囲が変わり被写体が小さくなります。
- 撮影がはじまったら動画ボタンから指を放します。
- 撮影中に構図を変えると、ピント位置、明るさ、色あいが自動的に調整されます。
- 撮影中にもう一度動画ボタンを押すと、撮影が終わります。
- カード容量がいっぱいになると、自動的に撮影が終わります。

プラスムービーオートモードで撮る

- 静止画を撮影する約 4 秒前からカメラを被写体に向けておくと、ダイジェスト動画もきれいに撮影できます。
- 静止画と動画が記録されます。動画の 1 シーンの最後に撮影した静止画がシャッター音と一緒に動画の一部としても記録され、1 つのチャプターになります。
- 静止画と一緒にダイジェスト動画が撮影されるため、[A+] モードよりバッテリーの消耗が早くなります。
- 電源を入れたり [A+] モードを選ぶなど、カメラを操作した直後に静止画を撮影したときは、ダイジェスト動画が記録されないことがあります。
- ダイジェスト動画には、カメラやレンズを操作したときの音と振動が記録されます。
- ダイジェスト動画の画質は、[HD 29.97P] (NTSC 時) または [HD 25.00P] (PAL 時) です。ビデオ方式の設定によって異なります。
- シャッターボタンを半押ししたときやセルフタイマーなどの電子音は鳴りません。

- 次のときは、同じ日に [A+] モードで作成されたダイジェスト動画でも、別ファイルとして保存されます。
 - ダイジェスト動画の容量が約 4 GB になるか、記録時間が約 16 分 40 秒になったとき
 - ダイジェスト動画を保護したとき
 - サマータイムの設定、ビデオ方式、エリア設定、著作権の情報を変えたとき
 - フォルダが新しく作成されたとき
- 記録されるシャッター音は、変えたり消すことはできません。
- 事前に設定すると、静止画なしのダイジェスト動画にすることもできます。MENU の [6] タブの [ダイジェスト形式] を選び、[静止画なし] を選んでください。
- チャプターを使って編集することもできます。

静止画／動画

- MENU ボタンを押したまま電源を入れると音が鳴らなくなります。音が鳴るようにするには、MENU の [3] タブの [電子音] を選び、[入] を選びます。

静止画

- シャッターボタンを半押ししてピントが合わないときは、オレンジ色の AF フレームと [AF] が表示され、全押ししても撮影できません。
- 人や被写体が検出されないときや、暗い被写体、明暗差 (コントラスト) のない被写体、非常に明るいシーンでは、ピントが合うまでに時間がかかったり、適切なピント合わせができないことがあります。
- [AF] が点滅表示したときは手ブレしやすくなります。カメラが動かないように三脚などでカメラを固定してください。
- ストロボが光ったのに暗い画像になるときは、被写体までの距離が遠すぎます。
- 暗いところでシャッターボタンを半押しすると、ピント合わせのためや人の目が赤く写るのを緩和するため、ランプ (前面) が点灯することがあります。



無線機能

アクセサリー

注意やヒント

本体に関する注意やヒント

撮影に関する注意やヒント

再生に関する注意やヒント

設定に関する注意やヒント

故障かな?と思ったら

メッセージ一覧

お役立ち情報

索引

- ストロボが発光したときに、お使いのレンズによっては画像の一部や周辺部が暗くなることがあります。
- 撮影しようとしたときに [🔋] が点滅表示したときは、ストロボ充電のため撮影できません。充電が終わると撮影できますので、シャッターボタンを全押ししたまま待つか、一度シャッターボタンを放してもう一度押してください。
- 撮影画面に戻る前でも次の撮影はできますが、ピント、明るさ、色あいは、直前の撮影に固定されることがあります。
- 撮影直後、記録された画像が表示されるまでの表示では、画面周辺が暗く見えます。
- 撮影直後に画像が表示される時間を変えることができます。

動画

- 長時間の動画撮影を繰り返行くと、カメラの温度が高くなることがありますが故障ではありません。
- 動画撮影するときは、マイクをふさがないように注意してください。マイクをふさぐと音声録音されなかったり、こもった音声で録音されることがあります。
- 動画撮影中に動画ボタンや画面のタッチ以外を操作すると、操作音が録音されるので、注意してください。撮影中の設定変更などはタッチ操作で行うことをおすすめします。
- レンズやカメラの動作音も録音されます。
- 大きな手ブレを補正するため、撮影をはじめると、画面に表示される範囲が変わり被写体が大きくなります。撮影前と同じ大きさで撮影したいときは、手ブレ補正の設定を変えてください。
- 音声はステレオで録音されます。
- 動画撮影中、ピント位置が自動的に調整されるため、レンズの動作音も録音されることがあります。なお、音声を録音しないときは、MENUの [📷8] タブの [録音] を選び、[しない] を選んでください。
- MENUの [📷8] タブの [動画サーボAF] で [しない] を選ぶと、動画撮影中、ピント位置を固定できます。

- 1回の撮影で容量が4GBを超える動画はファイルが分割されます。容量が4GBになる約30秒前から、撮影画面に表示されている撮影時間が点滅します。そのまま撮影を続けて容量が4GBを超えると、新しい動画ファイルが自動的に作成され、撮影時間は点灯表示に戻ります。なお、分割された動画を自動で連続再生することはできません。動画ごとに再生してください。

シーンのアイコン

- [📷] [📷] モードでは、カメラが判別したシーンを示すアイコンが表示され、ピント合わせや被写体の明るさ、色あいが最適になるよう自動設定されます。

背景	被写体：人		背景色
	人	動いているとき	
明るい			灰色
明るい (逆光)			
青空を含む			水色
青空を含む (逆光)			
スポットライト		—	紺色
暗い		—	
暗い (三脚を使用しているとき)		—	



背景	被写体：人以外			背景色
	人以外	動いているとき	近いとき	
明るい				灰色
明るい（逆光）				
青空を含む				水色
青空を含む（逆光）				
夕景		—	—	オレンジ色
スポットライト		—		紺色
暗い				
暗い（三脚を使用しているとき）		—	—	

- セルフタイマー設定時、 モード、動画撮影では、「動いているとき」のアイコンは表示されません。
- レンズを MF に設定していたり、オートフォーカスできないレンズを装着しているときは、「被写体：人」や「動いているとき」のアイコンは表示されません。
- 撮影シーンによっては、実際のシーンと異なるシーンのアイコンが表示されたり、思いどおりの効果、色あい、明るさで撮影できないことがあるので、そのときは **[P]** モードで撮影することをおすすめします。

好みの設定で撮る（クリエイティブアシスト）

- カメラ用語の知識がなくても、自分好みの写真を撮ることができます。わかりやすい言葉で表現された項目を、画面を見ながら設定することで、背景をぼかしたり明るさを変えたりすることができます。好みの設定を登録しておけば、かんたんに読み込めます。また、 モードで撮影された画像から、設定を反映して撮影することもできます。 モードで撮影された画像をカメラで表示すると、 モードでの各設定が、カメラのどの設定に相当するかを確認できるので、クリエイティブゾーンの撮影モード（**[P]**、**[Tv]**、**[Av]**、**[M]**）にステップアップしやすくなります。設定できる項目は次のとおりです。

背景	背景のぼかし具合を設定できます。設定値が大きいほど背景がくっきりし、小さいほど背景がぼけた画像になります。
明るさ	画像の明るさを設定できます。値が大きいほど明るくなります。
コントラスト	コントラスト（明暗差）の強さを設定できます。値が大きいほどコントラストの強い画像になります。
鮮やかさ	色の鮮やかさを設定できます。値が大きいほど鮮やかになり、小さいほどすっきりした画像になります。
色あい 1	色あいを設定できます。値が大きいほどアンバーが強くなり、小さいほどブルーが強くなります。
色あい 2	色あいを設定できます。値が大きいほどグリーンが強くなり、小さいほどマゼンタが強くなります。
モノクロ	モノクロで撮影するときの色調を、 [BW 白黒] [S セピア] [B 青] [P 紫] [G 緑] から選べます。 [OFF] ではカラーで撮影されます。なお、 [OFF] 以外にしたときは、 [鮮やかさ] 、 [色あい 1] 、 [色あい 2] は選べません。

無線機能

アクセサリー

注意やヒント

本体に関する注意やヒント

撮影に関する注意やヒント

再生に関する注意やヒント

設定に関する注意やヒント

故障かな?と思ったら

メッセージ一覧

お役立ち情報

索引



無線機能

アクセサリー

注意やヒント

本体に関する注意やヒント

撮影に関する注意やヒント

再生に関する注意やヒント

設定に関する注意やヒント

故障かな?と思ったら

メッセージ一覧

お役立ち情報

索引

- ストロボ撮影時、[背景] は設定できません。
- 電源を切ると、設定した内容は初期設定に戻りますが、MENUの [6] タブの [設定記憶] を [する] に設定すると電源を切っても設定が保持されるようになります。
- 画面右上の [Q] をタッチして設定画面を表示したり、設定画面で項目をタッチして設定することもできます。[戻る] をタッチすると撮影画面に戻ります。

クリエイティブアシストの設定を登録する

- 最大6つの設定を登録できます。
- すでに登録されている登録先を選ぶと [MENU比較] が表示されます。この登録先を選んでMENUボタンを押している間、登録されている設定で画面が表示されるので、現在の設定と比べることができます。

クリエイティブアシストの設定を読み込む

- 読み込む設定を選ぶとき、[-] を選んで [戻る] ボタンを押すと設定を反映しないで戻ります。

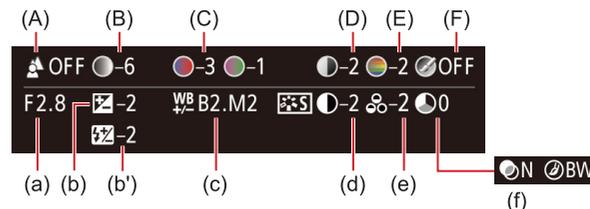
クリエイティブアシストで撮影した画像の設定を使う

- [★] モード以外にしているときに設定を反映しようとするとメッセージが表示されますが、[★] モードにはなりません。[★] モードにすると設定が反映されています。
- [★] モード以外で撮影した画像では [設定] は表示されません。

クリエイティブアシストで撮影した画像の再生について

- [★] モードで撮影した画像を再生しているときに、▼ボタンで表示を切り換えると、撮影時の設定を確認できます。

[★] モードとクリエイティブゾーンの設定の対応



[★] モードの設定	クリエイティブゾーンの設定
(A) 背景	(a) 絞り数値
(B) 明るさ	(b) 露出補正 ただし、ストロボ発光時は (b') 調光補正
(C) 色あい1、色あい2	(c) WB 補正
(D) コントラスト	(d) ピクチャースタイルのコントラスト
(E) 鮮やかさ	(e) ピクチャースタイルの色の濃さ
(F) モノクロ	(f) ピクチャースタイル [設定] のフィルタ効果と調色



いろいろなシーンで撮る

美肌の効果をつけて撮る（美肌）

- 撮影シーンによっては、人の肌以外も補正することがあります。
- シーンによっては思いどおりの効果が得られないことがあるので、事前に試し撮りをするをおすすめします。
- [美肌] モードで設定した内容は、[美肌] モードの設定には反映されません。

花や小物を大きく撮る（クローズアップ）

- 被写体に近づくことができる距離（最短撮影距離）は、付けているレンズで確認してください。なお、最短撮影距離は、カメラの上面の （撮像面マーク）から被写体までの距離です。
- マクロレンズ（別売）を使うと、小さなものをより大きく写すことができます。

動きのある被写体を撮る（スポーツ）

- 撮影シーンによっては ISO 感度が高くなるため、画像が粗くなる場合があります。

三脚を使わずに夜景を撮る（手持ち夜景）

- 連続撮影した画像を 1 枚に合成することで、手ブレやノイズが軽減されます。
- ほかのモードに比べて被写体が大きく表示されます。
- 撮影シーンによっては ISO 感度が高くなるため、画像が粗くなる場合があります。
- 連続撮影するため、撮影中はカメラをしっかり構え続けてください。
- プレが大きすぎるときや撮影シーンによっては、思いどおりの効果が得られない画像が保存されることがあります。
- 三脚を使って夜景を撮影するときは、[夜景] モードではなく、[夜景] モードで撮影をおすすめします。

自分撮りに最適な設定で撮る（自分撮り）

- 明るさや背景を設定しているときに [戻る] をタッチすると、元の画面に戻ります。
- [自分撮り] モードで設定できる項目は次のとおりです。

項目	内容
	背景のぼかし具合を [AUTO] のほか、5 段階から選ぶことができます。
	明るさを 5 段階から選ぶことができます。
	美肌の効果を 5 段階から選ぶことができます。なお、美肌の効果は主被写体と判断された人の顔が最適になるようにかかります。
	タッチシャッターを使うときは、[自分撮り] を選びます。

- 撮影シーンによっては、人の肌以外も補正することがあります。
- シーンによっては思いどおりの効果が得られないことがあるので、事前に試し撮りをするをおすすめします。
- [自分撮り] モードの [美肌] で設定した内容は、[美肌] モードの設定には反映されません。
- ストロボモードを [ストロボ] にしているときは、[自分撮り] は [AUTO] に固定されます。
- [自分撮り] モードでセルフタイマーの [セルフタイマー] か [セルフタイマー] で 3 秒以上を選んでいるときは、撮影を開始すると画面の上に撮影までの秒数が表示されます。

無線機能

アクセサリー

注意やヒント

本体に関する注意やヒント

撮影に関する注意やヒント

再生に関する注意やヒント

設定に関する注意やヒント

故障かな?と思ったら

メッセージ一覧

お役立ち情報

索引



無線機能

アクセサリ

注意やヒント

本体に関する注意やヒント

撮影に関する注意やヒント

再生に関する注意やヒント

設定に関する注意やヒント

故障かな?と思ったら

メッセージ一覧

お役立ち情報

索引

料理を明るく鮮やかに撮る（料理）

- 人は適切な色あいにならないことがあります。
- ストロボ撮影時は、色あいの設定が標準設定に切り換わります。

逆光シーンなどで撮る（HDR 逆光補正）

- シャッターボタンを全押しすると、3枚連続して撮影されたあと、画像が合成されます。そのため、撮影中はカメラをしっかりと構え続けてください。
- ほかのモードに比べて被写体が大きく表示されます。
- プレが大きすぎるときや撮影シーンによっては、思いどおりの効果が得られない画像が保存されることがあります。
- 手ブレが大きくてうまく撮影できないときは、三脚などでカメラが動かないように固定することをおすすめします。また、三脚などでカメラを固定するときは、手ブレ補正の機能を使わず撮影することをおすすめします。
- 被写体が動くとブレた画像になります。
- 撮影後に合成処理を行うため、次の撮影までにしばらく時間がかかります。

効果をつけて撮る

明暗差の大きいシーンで撮る（ハイダイナミックレンジ）

- シャッターボタンを全押しすると、3枚連続して撮影されたあと、画像が合成されます。そのため、撮影中はカメラをしっかりと構え続けてください。
- プレが大きすぎるときや撮影シーンによっては、思いどおりの効果が得られない画像が保存されることがあります。
- 手ブレが大きくてうまく撮影できないときは、三脚などでカメラが動かないように固定することをおすすめします。また、三脚などでカメラを固定するときは、手ブレ補正の機能を使わず撮影することをおすすめします。
- 被写体が動くとブレた画像になります。
- 撮影後に合成処理を行うため、次の撮影までにしばらく時間がかかります。
- [HDR] モードでは、画像に次の効果をつけることができます。

ナチュラル	自然な印象で撮影できます。
絵画調標準	コントラストをおさえて絵画のように撮影できます。
グラフィック調	鮮やかなグラフィックアートのように撮影できます。
油彩調	輪郭を強調し、鮮やかな油絵のように撮影できます。
ピンテージ調	輪郭を強調し、暗い感じにすることで、古い写真のように撮影できます。

ミニチュア模型のように撮る（ジオラマ風）

- 「再生時の速さ」を選んで動画を撮影すると、再生時には風景の中の人やものが早送りで動きます。そのため、ミニチュア模型のように見えます。なお、音声は録音されません。
- [景] モードを選ぶと、画面に白い枠（ぼかさない範囲）が表示されます。



- 動画を撮影するときは、再生時の速さを選ぶことができます。動画を1分間撮影したときの倍速と再生時間の目安は、次のとおりです。

倍速	再生時間
5x	約 12 秒
10x	約 6 秒
20x	約 3 秒

- 撮影シーンによっては思いどおりの効果が得られないことがありますので、事前に試し撮りすることをおすすめします。
- ピントの合う範囲と位置を指定する画面で、◀か▶ボタンを押すと枠が縦になり、◀か▶ボタンを押して位置を変えられます。▲か▼ボタンを押すと枠が横に戻ります。
- 画面をタッチしたりドラッグして枠の位置を変えることもできます。
- カメラを縦位置で構えると、枠の向きが変わります。
- 動画の画質は、縦横比を [4:3] にしたときは [EVGA] に固定され、[16:9] にしたときは [FHD] か [HD] を選ぶことができます。

魚眼レンズのような効果をつけて撮る（魚眼風）

- 撮影シーンによっては思いどおりの効果が得られないことがありますので、事前に試し撮りすることをおすすめします。

トイカメラのような効果をつけて撮る（トイカメラ風）

- [📷] モードでは、画像に次の効果をつけることができます。

標準	トイカメラ風の画像になります。
暖色	[標準] より暖色系のトイカメラ風画像になります。
寒色	[標準] より寒色系のトイカメラ風画像になります。

- 撮影シーンによっては思いどおりの効果が得られないことがありますので、事前に試し撮りすることをおすすめします。

優しい雰囲気撮る（ソフトフォーカス）

- 撮影シーンによっては思いどおりの効果が得られないことがありますので、事前に試し撮りすることをおすすめします。

カメラを設定して撮る

撮影機能を一覧にして設定する

- 撮影機能画面で▲/▼/◀/▶ボタンを押して撮影機能を選ぶと、機能の説明が表示されます。
- 表示される項目、設定できる項目は撮影モードによって異なります。
- 機能を選んだあとⓂボタンを押して、画面を切り換えて設定できる機能もあります。切り換えた画面で [INFO] が表示される項目は、▼ボタンを押して設定できます。Ⓜボタンを押すと撮影機能画面に戻ります。
- 撮影機能画面でタッチして選んだ機能をもう一度タッチして、画面を切り換えて設定することもできます。[↶] をタッチすると撮影機能画面に戻ります。
- 機能の説明の右上に表示されている [X] をタッチすると説明表示を閉じることができます。



明るさ（露出）に関する機能を使う

明るさを変える（露出補正）

- MENUの [📷 4] タブの [露出補正] でも設定することができます。
- 撮影画面の下部に表示される露出補正アイコンをタッチして表示されるバーをタッチしたりドラッグするか、[-] か [+] をタッチしても設定することができます。

明るさ（露出）を固定する（AEロック）

- 被写体にカメラを向けて◀ボタンを押すと画面に [✳] が表示され、露出が固定されます。
- AEロックを解除するには、もう一度◀ボタンを押します。[✳] が消えます。
- AEは、Auto Exposure（オートエクスポージャー）の略で自動露出のことです。
- 露出を固定したあとに☀️ダイヤルを回すと、シャッター速度と絞り数値の組みあわせを変えることができます（プログラムシフト）。

測光方式を変える

- 撮影シーンにあわせて、測光方式（明るさを測る特性）を変えられます。測光方式は、次の項目から選択できます。

📷 評価測光	逆光撮影を含む一般的な撮影に適しています。撮影シーンに応じて、被写体が常に標準露出になるように自動補正します。
📷 部分測光	逆光などで被写体の周辺に強い光があるときに有効です。画面中央に表示される丸い枠（測光枠）の範囲のみを測光します。
📷 スポット測光	被写体の特定の部分を測光するときに有効です。画面中央に表示される丸い枠（スポット測光枠）の範囲のみを測光します。
📷 中央部重点平均測光	画面中央部に重点をおいて、画面全体を平均的に測光します。

- [📷] ではシャッターボタンを半押ししたときに露出が固定されます。[📷] [📷] [📷] では、シャッターボタンを半押ししても露出は固定されず、撮影する瞬間に露出が決まります。
- MENUの [📷 5] タブの [測光モード] でも測光方式を設定することができます。

ISO感度を変える

- ISO感度が[AUTO]のときは、シャッターボタンを半押しすると自動設定されたISO感度が画面に表示されます。
- ISO感度を低くすると粗さが目立たない画像になりますが、撮影シーンによっては被写体ブレや手ブレがおきやすくなることがあります。
- ISO感度を高くするとシャッター速度が速くなるため、被写体ブレや手ブレが軽減されたり、ストロボの光が遠くの被写体まで届くようになります。ただし、画像は粗くなります。
- MENUの [📷 5] タブの [ISO感度設定] にある [ISO感度] でもISO感度を変えることができます。
- 撮影画面でバーの上をタッチするかドラッグしたり、[◀] か [▶] をタッチすることでも設定できます。

明るさ・コントラストを自動補正する （オートライティングオプティマイザ）

- 撮影結果が暗いときや、コントラストが低いときに、明るさやコントラストを自動的に補正できます。
- 撮影条件によっては、ノイズが増えることがあります。
- オートライティングオプティマイザの効果が強すぎて、画像が明るすぎるときは、[弱め] または [しない] に設定して撮影してください。
- [しない] 以外の設定では、露出補正やストロボ調光補正で暗めに設定しても、明るく撮影されたり、露出補正の効果が小さくなる場合があります。設定したとおりの明るさで撮影したいときは、[しない] に設定してください。
- MENUの [📷 5] タブの [オートライティングオプティマイザ] でも明るさやコントラストの自動補正を設定できます。



明るい被写体を撮影する（高輝度側・階調優先）

- 高輝度側・階調優先を [する] に設定すると、ISO 感度を ISO200 以下には設定できません。また、オートライティングオプティマイザは [しない] に固定されます。

色に関する機能を使う

色あいを調整する（ホワイトバランス）

- ホワイトバランスで選択可能な項目は、次のとおりです。

 オート	撮影シーンに応じて自動設定
 太陽光	晴天の屋外
 日陰	日陰
 くもり	曇り空、薄暮
 白熱電球	電球
 白色蛍光灯	白色蛍光灯
 ストロボ	ストロボ使用時
 マニュアル	マニュアルホワイトバランス（手動設定）
 色温度	ホワイトバランスの色温度（手動設定）

マニュアルホワイトバランス

- 撮影した白い被写体の画像が明るすぎたり暗すぎたりすると、ホワイトバランスが設定できないことがあります。
- 白データを取り込む画面で、白データの取り込みに適さない画像を指定したときは、メッセージが表示されます。画像を選びなおすときは [キャンセル] を選んでください。[OK] を選ぶとその画像で白データが取り込まれますが、適切なホワイトバランスにならないことがあります。
- 白データを取り込む画面で、[指定できない画像です] と表示されたときは、[OK] を選んでメッセージを閉じ、画像を選びなおしてください。

- 白データを取り込む画面で、[WB の設定を “ ボタンを押してメニュー画面に戻ったあと、 を選んでください。
- 白い被写体の代わりに、市販のグレーチャートや 18% 標準反射板を撮影すると、より正確なホワイトバランスを設定できます。
- 白い被写体を撮影するときのホワイトバランスはどの設定でもかまいません。

ホワイトバランスを補正する

- 補正量を設定したあとにホワイトバランスの項目を変えても、補正量はそのまま保持されます。
- 補正量の詳細設定をする画面の B はブルー、A はアンバー、M はマゼンタ、G はグリーンの意味です。
- ブルー／アンバー方向の 1 段は、色温度変換フィルターの約 5 ミレッドに相当します（ミレッド：色温度変換フィルターの濃度を表すときなどに使用される色温度の単位）。
- MENU の  6 タブの [WB 補正] でも補正量を設定することができます。
- 補正量を設定する画面のバーや、詳細設定をする画面の枠をタッチしたりドラッグして補正量を選ぶこともできます。
- 補正量を設定する画面で、 をタッチして詳細設定の画面を表示することができます。

ホワイトバランスの色温度を設定する

- 設定できる色温度の範囲は、約 2500 ~ 10000K（100K ステップ）です。



無線機能

アクセサリー

注意やヒント

本体に関する注意やヒント

撮影に関する注意やヒント

再生に関する注意やヒント

設定に関する注意やヒント

故障かな?と思ったら

メッセージ一覧

お役立ち情報

索引

好みの色あいにする (ピクチャースタイル)

- ピクチャースタイルで選択可能な項目は、次のとおりです。

オート	撮影シーンに応じて、色あいが自動調整されます。特に自然や屋外シーン、夕景シーンでは、青空、緑、夕景が色鮮やかな写真になります。
スタンダード	鮮やかで、くっきりした写真になります。通常はこの設定でほとんどのシーンに対応できます。
ポートレート	肌色がきれいで、やくっきりした写真になります。人物をアップで写すときに効果的です。[色あい] を変えると、肌色を調整できます。
風景	青空や緑の色が鮮やかで、とてもくっきりした写真になります。印象的な風景を写すときに効果的です。
ディテール重視	被写体の細部の輪郭や繊細な質感の描写に適しています。やや鮮やかな写真になります。
ニュートラル	パソコンでの画像処理を前提とした設定です。自然な色あいで、メリハリの少ない控えめな写真になります。
忠実設定	パソコンでの画像処理を前提とした設定です。5200K (色温度) 程度の環境光下で撮影した写真が、測色的に被写体の色とほぼ同じになるように色調整されます。メリハリをおさえた落ち着いた写真になります。
モノクロ	白黒写真になります。
	[ポートレート] や [風景]、ピクチャースタイルファイルなどの基本スタイルを登録して、好みにあわせて調整できます。

- が未登録のときは、[オート] の初期設定と同じ設定になります。
- MENU の 6] タブの [ピクチャースタイル] でもピクチャースタイルを設定できます。

ピクチャースタイルを自分の好みに調整する

- ピクチャースタイルで調整できる項目は、次のとおりです。

シャープネス	強さ	輪郭線の強調レベルを調整できます。数値が小さいほど柔らかい (ぼやけた) 感じに、数値が大きいほど硬い (シャープな) 感じになります。
	細かさ	強調する輪郭線の細かさを示しています。値が小さいほど、より細部が強調されやすくなります。
	しきい値	「周囲に比べ、どの程度のコントラスト差があれば輪郭線を強調するか」の設定です。値が小さいほど、コントラスト差が少ない輪郭線が強調されやすくなります。なお、値を小さくすると、ノイズも強調されやすくなります。
コントラスト	コントラスト (明暗差) を調整できます。数値が小さいほどコントラストが弱く、数値が大きいほど強くなります。	
色の濃さ *1	色の濃さを調整できます。数値が小さいほど薄く、数値が大きいほど濃くなります。	
色あい *1	肌の色あいを調整できます。数値が小さいほど赤めに、数値が大きいほど黄色寄りになります。	



無線機能

アクセサリー

注意やヒント

本体に関する注意やヒント

撮影に関する注意やヒント

再生に関する注意やヒント

設定に関する注意やヒント

故障かな?と思ったら

メッセージ一覧

お役立ち情報

索引



 フィルター効果 *2	モノクロの画像で白い雲や木々の緑を強調できます。 N: フィルター効果なしの通常の白黒画像になります。 Ye: 青空がより自然になり、白い雲がはっきりと浮かび上がります。 Or: 青空が少し暗くなります。夕日の輝きがいっそう増します。 R: 青空がかなり暗くなります。紅葉の葉がはっきりと明るくなります。 G: 人物の肌色や唇が落ち着いた感じになります。木々の緑の葉がはっきりと明るくなります。
 調色 *2	モノクロの色を、[N:なし] [S:セピア] [B:青] [P:紫] [G:緑] から選べます。

*1  では設定できません。*2  でのみ設定できます。

- [シャープネス] の [細かさ] [しきい値] は、動画には反映されません。
- ピクチャースタイルを調整したあと、変更内容を戻すときは [初期設定] をタッチします。
- [コントラスト] を強くすると、[フィルター効果] がより強調されます。

好みのピクチャースタイルを登録する

- ソフトウェア「EOS Utility」を使ってカメラに登録したスタイルを、基本にするピクチャースタイルとして選ぶこともできます。
- ソフトウェアの使用説明書は弊社 Web サイトからダウンロードしてください。ダウンロードの方法については「ソフトウェアの使用説明書」を参照してください。

ピント合わせに関する機能を使う

マニュアルフォーカスで撮る

- マニュアルフォーカスを設定すると、画面に [MF] が表示されます。
- 拡大表示で  ダイヤルを回すと、1 倍（拡大解除）、5 倍、10 倍で拡大倍率を変えられます。
- ピントを合わせるときは、拡大表示を見ながらレンズのフォーカスリングを回します。
- 画面右下に表示される [Q] をタッチして拡大率を変えたり、画面をドラッグして拡大表示位置を移動することができます。

ピントを微調整する

- [AF+MF] でシャッターボタンを半押ししたままレンズのフォーカスリングを回してピントを調整したあと、調整を終えるときは、シャッターボタンから指を放します。
- サーボ AF を設定しているときは、[AF+MF] でのピントの調整ができません。
- EF-M 以外のレンズを付けているときは、[AF+MF] でのピントの調整ができません。

ピント合わせをしやすい表示にする (MF ピーキング)

- MF ピーキングで表示した色は画像に記録されません。

無線機能

アクセサリー

注意やヒント

本体に関する注意やヒント

撮影に関する注意やヒント

再生に関する注意やヒント

設定に関する注意やヒント

故障かな?と思ったら

メッセージ一覧

お役立ち情報

索引

AF 方式を選ぶ

- 暗い被写体、明暗差（コントラスト）のない被写体、非常に明るいシーンや一部の EF レンズや EF-S レンズでは、ピントが合うまでに時間がかったり、適切なピント合わせができないことがあります。レンズについて詳しくは、弊社 Web ページで確認してください。
- MENU の [📷 3] タブの [AF 方式] でも AF（自動ピント合わせ）の方法を変えることができます。

1 点 AF

- 1 点のフレームでピント合わせを行います。確実なピント合わせに有効です。
- ピントを合わせたい位置をタッチしてフレームの位置を変えることができます（タッチ AF）。フレームの位置を変えないで被写体が画像の端や隅にくるよう撮影するときは、被写体に AF フレームをあわせてシャッターボタンを半押しします。この状態で構図を変えてシャッターボタンを全押しして撮影します（フォーカスロック撮影）。
- マニュアルフォーカスを使って AF フレームの位置を拡大表示することができます。なお、この操作をしているときは、タッチシャッターでは撮影できません。
- シャッターボタンを半押ししてピントが合わないときは、オレンジ色のフレームと [📷] が表示されます。
- MENU の [📷 3] タブの [AF フレームサイズ] を [小] にすると、フレームの大きさを小さくすることができます。このとき、サーボ AF およびコンティニュース AF の設定はできません。

📷+ 追尾優先 AF

- カメラを被写体に向けて、主被写体と判断した顔に白のフレームが表示されます。ピントを合わせたい被写体をタッチして選ぶことができます（タッチ AF）。
- 検出した顔が動いていると判別したときは、一定の範囲で追尾します。
- カメラを被写体に向けても顔が検出されないときは、シャッターボタンを半押しすると、ピントの合った位置に緑色のフレームが表示されます。

- 次のときは、被写体の顔を検出できないことがあります。
 - 被写体までの距離が遠い、または極端に近い。
 - 被写体が暗い、または明るい。
 - 顔が横や斜めを向いている、または一部が隠れている。
- 人の顔以外を、誤って検出することがあります。
- シャッターボタンを半押ししてピントが合わないときは、オレンジ色のフレームと [📷] が表示されます。
- 画面の端で検出された顔には灰色のフレームが表示され、シャッターボタンを半押ししてもピント合わせできません。

スムーズゾーン AF

- 指定した領域内でピント合わせを行います。ピント合わせをしたい領域を指定するため、📷+追尾優先 AF や 1 点 AF で被写体がとらえにくいときに有効です。画面に表示される白いフレーム内でピント合わせを行います。白いフレームは、画面をタッチまたはドラッグして移動することができます。
- シャッターボタンを半押ししてピントが合わないときは、オレンジ色のフレームと [📷] が表示されます。
- MENU の [📷 3] タブの [AF 動作] を [サーボ AF] に設定しているときは、ピントが合った位置に青色のフレームが表示されます。

サーボ AF で撮る

- シャッターボタンを半押ししている間、青色で AF フレームが表示され、ピントと露出を合わせ続けます。
- ピント合わせ中は、シャッターボタンを全押ししても撮影できないことがあります。被写体を追いつながらシャッターボタンの全押しを続けてください。
- セルフタイマーを [📷] 以外に設定すると [ONE SHOT] 固定になります。
- MENU の [📷 3] タブの [AF フレームサイズ] を [小] にすると、[ONE SHOT] 固定になります。



無線機能

アクセサリー

注意やヒント

本体に関する注意やヒント

撮影に関する注意やヒント

再生に関する注意やヒント

設定に関する注意やヒント

故障かな?と思ったら

メッセージ一覧

お役立ち情報

索引

- サervo AF に設定すると、測光方式の設定に関わらず、シャッターボタンを半押ししても露出は固定されず、撮影する瞬間に露出が決まります。
- サervo AF に設定すると、ピントを合わせ続けながら連続撮影ができます。このとき、連続撮影速度が遅くなります。また、連続撮影中にズームすると、ピントがずれることがあります。
- 付けるレンズや被写体との距離、被写体の動く速さによっては、適切なピント合わせができないことがあります。
- シャッターボタンを半押ししてピントが合わないときは、オレンジ色のフレームと [AF] が表示されます。
- MENU の [AF 3] タブの [AF 動作] でも、サervo AF を設定できます。

フォーカス設定を切り換える

- コンティニュアス AF 設定の切り換えによる効果は、次のとおりです。

する	シャッターボタンを半押しするまで常にピントを合わせ続けるので、とっさのシャッターチャンスを逃さずに撮影できます。
しない	通常はピント合わせを行わないため、消費電力をおさえることができます。ただし、ピント合わせに時間がかかることがあります。

- MENU の [AF 3] タブの [AF フレームサイズ] を [小] にすると、[コンティニュアス AF] は [しない] 固定になります。

ピントを合わせたい被写体を選んで撮る (タッチ AF)

- AF 方式が [AF □] のときは、タッチした位置に AF フレームが表示されます。
- [AF □] のときは、AF フレームをドラッグして移動することもできます。
- [AF □] のときに AF フレームを移動させたあと、[AF] をタッチすると、AF フレームを画面中央に戻すことができます。

- AF 方式が [AF 追従] のときは、タッチした人や被写体を認識すると [AF 追従] が表示されます。タッチ AF を解除するときは [AF] をタッチします。
- タッチすると撮影されるときは、MENU の [AF 2] タブの [タッチシャッター] を選んだあと、[タッチシャッター] を [しない] にします。
- 被写体が小さすぎたり動きが速いときや、被写体と背景との明暗差が小さいときは、追尾できないことがあります。
- [タッチシャッター] を [する] に設定しているときは、撮影後も枠の位置をタッチした位置のままにできます。MENU の [AF 2] タブの [タッチシャッター] を選んでから [撮影後の AF 枠位置] を [タッチした位置] に設定してください。

ストロボに関する機能を使う

ストロボモードを変える

- ストロボがカメラに収納されていると、▶ボタンを押しても設定画面は表示されません。⚡スイッチを動かしてストロボを上げてから操作してください。
- ストロボが発光すると、画像の周辺部が暗くなることがあります。また、ストロボが発光したときに、お使いのレンズによっては画像の一部や周辺部が暗くなることがあります。
- ストロボ発光時に、露出オーバーで適正露出が得られないときは、自動的にシャッター速度や ISO 感度が変わって白トビを軽減し、適正露出で撮影できます。このため、ストロボ撮影時は、シャッターボタンを半押ししたときに画面に表示されるシャッター速度や ISO 感度と異なる設定で撮影されることがあります。
- MENU の [AF 5] タブの [ストロボ制御] にある [ストロボの発光] で設定することもできます。
- オート [AF]
 - 暗いところでは自動的にストロボが光ります。
- 常時発光 [AF]
 - ストロボを常に発光させて撮影できます。



無線機能

アクセサリー

注意やヒント

本体に関する注意やヒント

撮影に関する注意やヒント

再生に関する注意やヒント

設定に関する注意やヒント

故障かな?と思ったら

メッセージ一覧

お役立ち情報

索引

- スローシンクロ [⚡]
- 人などの主被写体は、ストロボが発光することで明るく撮影され、ストロボの光が届かない背景は、シャッター速度を遅くすることで暗くなるのを軽減することができます。
- [⚡] では、手ブレを防ぐため、三脚などでカメラが動かないように固定してください。また、三脚などでカメラを固定するときは、手ブレ補正の機能を使わず撮影することをおすすめします。
- [⚡] では、ストロボが光っても、シャッター音が鳴り終わるまでは主被写体が動かないようにしてください。
- 発光禁止 [🚫]
- ストロボを光らせないで撮影することができます。

ストロボの調光量を補正する

- ストロボ発光時に、露出オーバーで適正露出が得られないときは、自動的にシャッター速度や絞り数値が変わって白トビを軽減し、適正露出で撮影できます。ただし、MENUの [📷5] タブの [ストロボ制御] で [セーフティ FE] を [しない] に設定すると、自動的にシャッター速度や絞り数値が変わらなくなります。
- ストロボ調光補正は、MENUの [📷5] タブの [ストロボ制御] にある [内蔵ストロボ機能設定] で [調光補正] を選んでも設定することができます。
- MENUの [ストロボ制御] 画面は、次の方法でも表示できます。
 - ストロボを上げているときに▶ボタンを押してからすぐにMENUボタンを押す。
 - ▶ボタンを押してから [MENU] をタッチする。

FE ロックで撮る

- 露出を固定したい被写体にカメラを向けて◀ボタンを押すと、ストロボが発光します。画面に [⚡*] が表示され、ストロボ発光量が記憶されます。
- ストロボ露出を固定 (FE ロック) したあと、もう一度◀ボタンを押すと、画面から [⚡*] が消え FE ロックが解除されます。

- FE は、Flash Exposure (フラッシュエクスポージャー) の略でストロボ露出のことです。
- FE ロック中は、画面中央に調光範囲を示す円が表示されます。
- ◀ボタンを押してストロボが発光しても標準露出にならないときは、[⚡*] が点滅します。ストロボ撮影に適した距離で◀ボタンを押して FE ロックを行ってください。

ストロボ発光のタイミングを変える

- 設定できるストロボ発光とシャッターのタイミングは次のとおりです。

先幕シンクロ	撮影開始直後にストロボが発光します。
後幕シンクロ	撮影終了直前にストロボが発光します。

- シャッター速度が 1/100 またはそれより速いときは、[後幕シンクロ] を選んでいても、ストロボは [先幕シンクロ] の設定で発光します。

調光方式を変える

- [平均調光] では、撮影シーンに応じてストロボ調光補正を行ってください。

撮影スタイルにあわせて機能を変える

手ブレ補正の設定を変える

- [手ブレ補正] で設定できる項目は、次のとおりです。

入	手ブレ補正機能を内蔵したレンズで、撮影するときのカメラの動きや手の揺れによるブレを補正します。
切	手ブレ補正を切ります。

- 手ブレを補正しきれないときは、三脚などでカメラを固定してください。また、三脚などでカメラを固定するときは、[手ブレ補正] を [切] にすることをおすすめします。
- EF-M 以外のレンズを付けているときは、[手ブレ補正] は表示されません。レンズにある手ブレ補正スイッチで設定してください。



無線機能

アクセサリー

注意やヒント

本体に関する注意やヒント

撮影に関する注意やヒント

再生に関する注意やヒント

設定に関する注意やヒント

故障かな?と思ったら

メッセージ一覧

お役立ち情報

索引

- 手ブレ補正機能のあるレンズの名称には「IS」が付いています。ISは、Image Stabilizer（イメージスタビライザー）の略で、手ブレ補正機能のことです。

動画の手ブレを補正する

- コンビネーション IS 対応レンズでは、レンズの手ブレ補正機能とカメラの動画手ブレ補正機能が協調し、より高い補正効果が得られます。コンビネーション IS 対応レンズの情報については、弊社 Web ページで確認してください。
- [動画電子 IS] で設定できる項目は、次のとおりです。

する	 (コンビネーション IS 対応レンズ装着時)	動画撮影時の手ブレを補正します。画面に表示される範囲が変わり被写体がやや大きくなります。
強	 (コンビネーション IS 対応レンズ装着時)	動画撮影時の手ブレをより強く補正します。被写体は、より大きくなります。
しない		—

- 手ブレ補正機能のないレンズを付けているときは、動画電子 IS 機能は使えません。
- お使いのレンズによっては思いどおりの効果が得られないことがあるので、事前に試し撮りすることをおすすめします。
- [強] は、[P] [M] モードでのみ設定できます。

レンズの光学特性による影響を補正する

- [周辺光量補正] を [する] に設定したときは、撮影条件により、画像の周辺部にノイズが発生することがあります。
- [周辺光量補正] の効果は、ソフトウェア「Digital Photo Professional」で最大補正を行ったときよりもやや控えめに補正されます。
- ISO 感度が高くなるほど、周辺光量の補正量は少なくなります。

- [回折補正] を [する] に設定したときは、次のことに注意してください。
 - 撮影条件によっては、補正効果とともにノイズが強調されることがあります。
 - ISO 感度が高くなるほど、補正量が小さくなります。
 - 動画の撮影では補正されません。
- [回折補正] は、回折現象だけでなくローパスフィルターなどの影響による解像劣化も補正されます。そのため、開放絞り付近でも補正効果があります。
- ソフトウェアの使用説明書は弊社 Web サイトからダウンロードしてください。ダウンロードの方法については「ソフトウェアの使用説明書」を参照してください。
- 設定画面に [補正データなし] と表示されたときは、補正するためのデータがカメラに登録されていません。補正データの登録については、次のとおりです。
 - レンズ光学補正に対応しているレンズの補正用データは、カメラに登録（保存）されています。[周辺光量補正] と [色収差補正] で [する] を選んでおくと、自動的に補正が行われます。
 - ソフトウェア「EOS Utility」を使用すると、登録されているレンズが確認できます。また、未登録レンズの補正データをカメラに登録することもできます。EF-M レンズや補正データが内蔵されている EF レンズは登録する必要はありません。
 - 撮影した JPEG 画像をあとから補正することはできません。
 - 回折補正の効果は撮影画面には反映されません。
 - 撮影時に拡大表示しているときは、周辺光量補正と色収差補正の効果は撮影画面に反映されません。
 - 距離情報を持たないレンズを使用したときは、補正量が少なくなります（回折補正を除く）。
 - レンズ光学補正の効果は、使用レンズや撮影条件などにより異なります。また、使用レンズや撮影条件などにより、効果が分かりにくいことがあります。
 - 補正の効果が分かりにくいときは、撮影後に画像を拡大して確認することをおすすめします。
 - 補正データがカメラに登録されていないレンズで撮影したときは、



〔周辺光量補正〕と〔色収差補正〕で〔しない〕を選んだときと同時撮影結果になります。

マルチショットノイズ低減機能を使う

- シャッターボタンを全押しすると、4枚連続して撮影されたあと、画像が合成されます。そのため、撮影中はカメラをしっかりと構え続けてください。
- 手ブレなどにより画像のズレ量が大きいつきは、思いどおりの効果が得られないことがあります。三脚などでカメラが動かないように固定することをおすすめします。
- 動いている被写体を撮影すると、被写体の動きが残像のように写ったり、被写体の周辺が暗めに写ることがあります。
- 撮影条件によっては、画像周辺部にノイズが発生することがあります。
- 〔長秒時露光のノイズ低減〕、RAW 画像撮影時、バルブ撮影時は設定できません。また、これらがすでに設定されているときは〔マルチショットノイズ低減機能〕は設定できません。
- ストロボ撮影はできません。
- 通常の撮影よりも、カードに画像が記録されるまでの時間が長くなります。処理が終わるまで次の撮影はできません。

シャッター速度が遅いときのノイズを低減する

- 〔長秒時露光のノイズ低減〕で設定できる項目は、次のとおりです。

OFF (しない)	長秒時露光時のノイズ低減処理をしません。
AUTO (自動)	シャッター速度が1秒またはそれより遅い撮影で長秒時露光特有のノイズが検出されたときに、ノイズ低減の処理をします。
ON (する)	シャッター速度が1秒またはそれより遅い撮影で、必ずノイズ低減の処理をします。

- 撮影後にノイズ低減処理が行われると、次の撮影までにしばらく時間がかかることがあります。

- ISO1600以上の感度で〔長秒時露光のノイズ低減〕を〔ON〕に設定して撮影すると、〔OFF〕〔AUTO〕設定時より粗い画像になることがあります。

シャッター速度や絞りを決めて撮る

シャッター速度を決めて撮る (〔Tv〕モード)

- 〔長秒時露光のノイズ低減〕を〔ON〕または〔AUTO〕に設定していると、シャッター速度を1秒またはそれより遅くして撮影したときに、撮影後にノイズ低減処理を行うため、次の撮影までにしばらく時間がかかることがあります。
- シャッター速度を遅くしたときに三脚などでカメラを固定するときは、手ブレ補正の機能を使わず撮影することをおすすめします。
- ストロボ発光時のシャッター速度の上限は1/200秒です。1/200秒より速いシャッター速度に設定しても、1/200秒に自動設定されて撮影されます。
- シャッターボタンを半押ししたときに絞り数値がオレンジ色で表示されるときは、標準露出から外れています。絞り数値が白字で表示されるまで、シャッター速度を変えます (セーフティシフトも使えます)。
- 〔Tv〕は、Time value (タイムバリュー) の略で時間量のことです。

絞り数値を決めて撮る (〔Av〕モード)

- シャッターボタンを半押ししたときにシャッター速度がオレンジ色で表示されるときは、標準露出から外れています。シャッター速度が白字で表示されるまで、絞り数値を変えます (セーフティシフトも使えます)。
- ストロボ発光時のシャッター速度上限は1/200秒です。ストロボ撮影時は、シャッター速度が1/200秒より速いシャッター速度にならないように、設定した絞り数値が自動的に変わることがあります。
- 〔Av〕は、Aperture value (アパーチャーバリュー) の略でレンズの中に入っている「絞り」の開口量のことです。



無線機能

アクセサリー

注意やヒント

本体に関する注意やヒント

撮影に関する注意やヒント

再生に関する注意やヒント

設定に関する注意やヒント

故障かな?と思ったら

メッセージ一覧

お役立ち情報

索引

- 絞りは撮影しないときは開いていて、撮影の瞬間だけ大きさが変わります。このため、モニターで見えるピントの合う範囲は狭く(浅く)なっています。ボタンに  (絞り込み) を登録すると、登録したボタンを押したときにピントの合う範囲が確認できるようになります。

シャッター速度と絞り数値を決めて撮る ([M] モード)

- 設定できる絞り数値はレンズによって異なります。
- ISO 感度を固定しているときは、設定した値に連動して、露出レベルマークが移動し、標準露出からの差が確認できます。標準露出からの差が3段を越えると、露出レベルマークが  または  になります。
- ISO 感度が [AUTO] のときは、シャッターボタンを半押しすると ISO 感度が決まって画面の明るさが変わります。設定したシャッター速度と絞り数値で標準露出を得られないときは、ISO 感度がオレンジ色で表示されます。
- シャッター速度と絞り数値を設定したあとにズーム操作をしたり構図を変えると、露出レベルマークが移動することがあります。
- ISO 感度を固定しているときは、シャッター速度と絞り数値の設定により、画面の明るさが変わります。ただし、ストロボを上げてストロボモードを  にすると画面の明るさは変わりません。
- ISO 感度を [AUTO] にしているときは、設定したシャッター速度と絞り数値に対して標準露出になるように ISO 感度が変わるため、思いどおりの露出で撮影できないことがあります。
- オートライティングオブティマイザによって、画像の明るさが変わることがあります。オートライティングオブティマイザの設定画面で [マニュアル露出時は OFF] に  をつけると、[M] モードではオートライティングオブティマイザが [しない] 固定になります。
- [M] は、Manual (マニュアル) の略です。
- 標準露出は設定している測光方式で算出されます。
- ISO 感度を [AUTO] に設定しているときは次の操作が行えます。
 - 露出補正バーに  が表示された状態で、 ダイヤルを回して露出を補正できます。
 -  ボタンを押して ISO 感度を固定します。画面の明るさが変わります。

- 画面下部の設定項目をタッチして選んだあと、バーをタッチしたりドラッグするか、 か  をタッチしてシャッター速度と絞り数値を設定することもできます。

長時間露光 (バルブ) 撮影

- シャッターボタンを全押ししている間、露光します。露光中は、露光経過時間が表示されます。
- 手ブレを防ぐため、三脚などでカメラが動かないように固定してください。また、三脚などでカメラを固定するときは、手ブレ補正の機能を使わず撮影することをおすすめします。
- 長時間バルブ撮影を行うと、画像に含まれるノイズが多くなり粗い画像になることがあります。MENU の  6] タブの [長秒時露光のノイズ低減] を [AUTO] または [ON] に設定するとノイズを低減できます。
- [タッチシャッター] を [する] に設定しているときは、画面をタッチすると撮影が始まり、もう一度タッチすると撮影が終了します。タッチするときにカメラが動かないように注意してください。

ストロボの発光量を設定する

- 発光量が設定されると、次のアイコンが画面に表示されます。
 -  : 小、 : 中、 : 大
- ストロボ発光量は、MENU の  5] タブの [ストロボ制御] にある [内蔵ストロボ機能設定] で  を選んでも設定することができます。
- [ストロボ制御] 画面は、次の方法でも表示できます。
 - ストロボを上げているときに  ボタンを押してからすぐに MENU ボタンを押す。
 - ストロボを上げているときに  ボタンを押してから [MENU] をタッチする。



無線機能

アクセサリー

注意やヒント

本体に関する注意やヒント

撮影に関する注意やヒント

再生に関する注意やヒント

設定に関する注意やヒント

故障かな?と思ったら

メッセージ一覧

お役立ち情報

索引

シャッター速度と絞り数値を決めて動画を撮る

- 蛍光灯や LED などの照明下で撮影しているとき、設定したシャッター速度によっては、画面のちらつきが記録されることがあります。
- 絞り数値が大きいときは、ピントが合うまでに時間がかかったり、適切なピント合わせができないことがあります。
- ISO 感度を固定しているときは、設定した値に連動して、露出レベルマークが移動し、標準露出からの差が確認できます。標準露出からの差が 3 段を越えると、露出レベルマークが [◀] または [▶] になります。
- ISO 感度が [AUTO] のときは、シャッターボタンを半押しすると ISO 感度を確認できます。設定したシャッター速度と絞り数値で標準露出を得られないときは、露出レベルマークが移動し、標準露出からの差が確認できます。標準露出からの差が 3 段を越えると、露出レベルマークが [◀] または [▶] になります。
- 画面下部の設定項目をタッチして選んだあと、バーをタッチしたりドラッグするか、[◀] か [▶] をタッチしてシャッター速度と絞り数値を設定することもできます。

撮影スタイルにあわせてカメラをカスタマイズする

カメラの詳細機能を設定する

- [📍] タブで設定できる項目は、次のとおりです。

機能の分類	機能	説明
露出	ISO 感度 拡張	[🔊] モードのときに [1: する] に設定すると、ISO 感度を [H] に設定できるようになります。[H] は ISO12800 相当です。
	セーフティ シフト	[1: する] に設定すると、[Tv] [Av] モードで設定したシャッター速度や絞り数値で標準露出が得られないとき、標準露出に近づけるように自動的にシャッター速度や絞り数値が変更されるようになります。

機能の分類	機能	説明	
その他	レンズなし リリース	[1: する] に設定すると、カメラにレンズを付けていなくても、シャッターボタンを全押ししたときや動画ボタンを押ししたときに画像を撮影するようになります。	
	電源 オフ 時 のレンズ取 納	電源を切ったときに、自動的にレンズを収納するかどうかを設定できます。	
	👁️/✳️ 機能 登録	[AF/AE ロック]	シャッターボタンを半押しするとピントを合わせ、◀ ボタンを押すと露出を固定することができます。
		[AE ロック / AF]	シャッターボタンを半押しすると露出を固定し、◀ ボタンを押してピントを合わせることができます。
		[AF/AF ロック (AE ロックなし)]	◀ ボタンを押してピント位置を固定することができます。
	[AE/AF (AE ロックなし)]	シャッターボタンを半押しすると露出補正、◀ ボタンを押してピントを合わせることができます。	
	🔊 ボタン機能登録	ボタンを押したときに登録した機能が呼び出せるようになります。	



無線機能

アクセサリー

注意やヒント

本体に関する注意やヒント

撮影に関する注意やヒント

再生に関する注意やヒント

設定に関する注意やヒント

故障かな?と思ったら

メッセージ一覧

お役立ち情報

索引

- MENUの $\left[\begin{array}{c} \text{Fn} \\ \text{1} \end{array} \right]$ タブで[カスタム機能 (C.Fn) 一括解除]を選んだあと、 $\left[\begin{array}{c} \blacktriangleleft \\ \blacktriangleright \end{array} \right]$ ボタンを押して [OK] を選んでから $\left[\begin{array}{c} \text{Fn} \\ \text{1} \end{array} \right]$ タブで変更した機能をすべて解除し、初期状態に戻すことができます。
- [ISO 感度拡張]を[1: する]にしているも、[高輝度側・階調優先]を[する]に設定しているときは、ISO 感度で [H] は選べません。
- セイフティシフトは、ストロボ発光時は機能しません。
- 電源を切ったときにレンズが自動収納されるタイプのレンズについて、収納の設定をすることができます。
- 動画ボタンを初期状態に戻すときは、[動画] を選びます。
- 動画ボタンに機能を登録したくないときは、[無効] を選びます。

クイック設定画面に表示する項目を変える

- MENUの $\left[\begin{array}{c} \text{Fn} \\ \text{2} \end{array} \right]$ タブの [クイック設定カスタマイズ] を選んで表示される画面で $\left[\begin{array}{c} \checkmark \\ \checkmark \end{array} \right]$ のある項目が、クイック設定画面に表示されるようになります。 $\left[\begin{array}{c} \checkmark \\ \checkmark \end{array} \right]$ のない機能は、メニュー画面の $\left[\begin{array}{c} \text{Fn} \\ \text{2} \end{array} \right]$ タブで設定します。
また、アイコンをタッチしても $\left[\begin{array}{c} \checkmark \\ \checkmark \end{array} \right]$ をつけることができます。
- クイック設定画面に表示できる項目は最大 11 個です。
- クイック設定画面が表示されているときに $\left[\begin{array}{c} \text{Fn} \\ \text{1} \end{array} \right]$ ボタンを押したままにしても、[クイック設定カスタマイズ] の画面を表示することができます。

クイック設定画面の項目を並び換える

- 設定画面で、アイコンをドラッグしてもクイック設定画面のアイコンを入れ換えることができます。

動画を撮る

動画用のモードで動画を撮る

- $\left[\begin{array}{c} \text{Fn} \\ \text{1} \end{array} \right]$ モードにすると、画面上下に黒い帯が表示されます。なお、黒い帯の部分は撮影できません。
- $\left[\begin{array}{c} \text{Fn} \\ \text{1} \end{array} \right]$ モードを選ぶと画面に表示される範囲が変わり被写体が大きくなります。
- 動画撮影中にシャッターボタンを半押しすると、ピントと露出が再調整されます（電子音は鳴りません）。
- 撮影前や撮影中に画面上の $\left[\begin{array}{c} \text{Fn} \\ \text{1} \end{array} \right]$ をタッチすると、撮影中にピント位置を自動調整するか固定するかを切り換えられます（自動調整のときは $\left[\begin{array}{c} \text{Fn} \\ \text{1} \end{array} \right]$ の左上の○が緑色になります）。ただし、MENUの $\left[\begin{array}{c} \text{Fn} \\ \text{8} \end{array} \right]$ タブの [動画サーボ AF] が [しない] のときは表示されません。

明るさを固定したり変えて撮る

- 画面上の $\left[\begin{array}{c} \text{Fn} \\ \text{1} \end{array} \right]$ をタッチすることでも露出の固定、解除ができます。
- 撮影中、画面下部の露出補正バーをタッチしたあと、 $\left[\begin{array}{c} \text{Fn} \\ \text{1} \end{array} \right]$ か $\left[\begin{array}{c} \text{Fn} \\ \text{2} \end{array} \right]$ をタッチして露出を変えることもできます。

オートスローシャッターを使わない

- オートスローシャッターを使うときは、MENUの $\left[\begin{array}{c} \text{Fn} \\ \text{8} \end{array} \right]$ タブの $\left[\begin{array}{c} \text{Fn} \\ \text{1} \end{array} \right]$ オートスローシャッター] を選んだあと、[A-SLOW ON] を選びます。
- オートスローシャッターは、動画の画質が $\left[\begin{array}{c} \text{Fn} \\ \text{1} \end{array} \right]$ $\left[\begin{array}{c} \text{Fn} \\ \text{2} \end{array} \right]$ $\left[\begin{array}{c} \text{Fn} \\ \text{3} \end{array} \right]$ $\left[\begin{array}{c} \text{Fn} \\ \text{4} \end{array} \right]$ $\left[\begin{array}{c} \text{Fn} \\ \text{5} \end{array} \right]$ $\left[\begin{array}{c} \text{Fn} \\ \text{6} \end{array} \right]$ $\left[\begin{array}{c} \text{Fn} \\ \text{7} \end{array} \right]$ のとき動作します。



無線機能

アクセサリー

注意やヒント

本体に関する注意やヒント

撮影に関する注意やヒント

再生に関する注意やヒント

設定に関する注意やヒント

故障かな?と思ったら

メッセージ一覧

お役立ち情報

索引

タイムラプス動画を撮る (タイムラプス動画)

- [設定] モードにすると、画面上下に黒い帯が表示されます。なお、黒い帯の部分は撮影できません。
- 撮影中はカメラに触らないようにしてください。
- 撮影を中止するときは、もう一度動画ボタンを押します。
- 撮影中はエコモードになります。
- [設定] モードで設定できる項目は、次のとおりです。

項目	内容
撮影シーン	4つの撮影シーンから選ぶことができます。
撮影間隔 / 回数	何秒ごとに何回撮影するかを選ぶことができます。
露出	1枚目の露出で固定するか、撮影ごとに露出を変えるかを選ぶことができます。
レビュー表示	撮影直後の画像を2秒間再生することができます。
撮影所要時間	撮影に必要な時間です。撮影間隔 / 回数によって変わります。 - シーン 1 : 最大 1 時間 - シーン 2、3 : 最大 2 時間 - カスタム : 最大 7 時間 30 分
動画再生時間	撮影された静止画が動画として再生される時間です。

- 動きの速い被写体を撮影すると、被写体がゆがんで写ることがあります。
- 項目の [露出] で [固定] を選んだとき、撮影前に [設定] ボタンを押して露出を固定することもできます。
- 撮影中、音声は録音されません。
- 撮影中は 1 枚目のピント位置に固定されます。
- 動画の画質は [設定] に固定されます。

- タイムラプス動画のフレームレートは、ビデオ方式の設定によって、[設定] 29.97P (NTSC 時) または [設定] 25.00P (PAL 時) に固定されます。
- MENU の [設定] 6 タブの [タイムラプス動画設定] でも動画の設定ができます。

録音レベル (録音音量) を設定する

- 録音レベルを元に戻すときは、[録音] 画面で [オート] を選びます。

便利な機能

セルフタイマーを使う

- タイマーがはじまるとランプ (前面) が点滅して、電子音が鳴ります。
- 撮影の 2 秒前になると、ランプ (前面) の点滅 (ストロボ発光時は点灯) と電子音が速くなります。
- タイマーがはじまったあとに撮影を中止するときは、MENU ボタンを押します。
- セルフタイマーを使わないときは、[設定] ボタンを押して、設定項目の [セルフタイマー] を選んだあと、[設定] を選びます。

セルフタイマーの時間と撮影枚数を変える

- 動画ボタンを押して撮影したときは、設定した時間で撮影がはじまりますが、枚数は反映されません。
- 撮影枚数を 2 枚以上にしたときは、明るさや色あいは 1 枚目の撮影で固定されます。
- ストロボが光るときや撮影枚数が多いときは撮影間隔が長くなります。また、カード容量がいっぱいになると自動的に撮影が終わります。
- タイマー時間を 2 秒以上にしたときは、撮影の 2 秒前にランプの点滅 (ストロボ発光時は点灯) と電子音が速くなります。



画面をタッチして撮る（タッチシャッター）

- タッチシャッターの設定は MENU の [📷2] タブの [タッチシャッター] で設定できます。なお、[タッチシャッターボタン] を [非表示] にすると、タッチシャッターの設定アイコンを非表示にすることもできます。
- ピントが合わないときは、AF フレームがオレンジ色で表示されます。撮影はできません。
- 撮影した画像が表示されている状態でも、[🔄] をタッチすると、次の撮影ができます。

連続して撮る

- 連続撮影中はシャッターボタンを半押ししたときのピント位置で固定されます。
- セルフタイマーと連続撮影は一緒に使えません。
- 撮影シーン、カメラの設定、ズーム位置によっては、一定の間隔で撮影されなかったり、連続撮影の速度が遅くなる場合があります。
- 撮影枚数が多くなると、連続撮影の速度が遅くなる場合があります。
- 撮影条件、カードの種類、連続撮影した枚数によっては、次の撮影までにしばらく時間がかかる場合があります。
- ストロボが発光するときは、連続撮影の速度が遅くなる場合があります。
- [📷] を選んでいるとき、タッチシャッター機能では、画面に触れている間、連続撮影されます。
- 連続撮影中の画面表示は撮影された画像と異なり、ピントが合っていないように見えることがあります。また、レンズによっては連続撮影中の画面表示が暗く見える場合がありますが、撮影した画像は標準的な明るさで記録されます。
- 連続撮影できる枚数が 1～9 枚のときは、画面上部の撮影可能枚数の右に枚数が表示されます。10 枚以上撮影できるときには表示されません。

- 撮影シーン、カメラの設定によっては連続撮影できる枚数が少なくなることがあります。

記録画質を変える

- [📷] [📷] は、圧縮率による画質の違いを表しています。同じ記録画素数のときは、[📷] の方が高画質です。[📷] では画質が少し落ちますが、記録枚数を多くできます。なお、[S2] は [📷] の画質です。
- [📷] モードでは記録画質を設定できません。
- MENU の [📷1] タブの [記録画質] で設定することもできます。
- 用紙の大きさと記録画素数を選ぶときは次の表を目安にしてください（縦横比 3:2 のとき）。

L	A2 相当での印刷
M	A3 相当での印刷
S1	A4 相当での印刷
S2	2L 判 / はがき / L 判相当での印刷、タブレット端末での表示



RAW 画像を記録する

- このカメラでは、JPEG 画像と RAW 画像を記録できます。

JPEG 画像	最適な画質になるようカメラ内で画像処理を行い、ファイルサイズを圧縮して記録されています。非可逆圧縮方式のため、「生データ」の状態には戻せません。また、画像処理を行うと画質が劣化することがあります。
RAW 画像	カメラ内での画像処理による劣化がほとんどない「生データ」です。そのままの状態ではパソコンで見たり印刷したりできません。このカメラで現像するかソフトウェア「Digital Photo Professional」を使って一般的な JPEG 画像や TIFF 画像に変換（現像）する必要があります。また、現像時に画質劣化を最小限におさえた画像調整を行うことができます。

- RAW 画像や同時に記録された JPEG 画像をパソコンに取り込むときは、必ず専用のソフトウェア「EOS Utility（イオス ユーティリティ）」をお使いください。
- 記録画素数や撮影できる枚数については、「記録関係」を参照してください。
- JPEG 画像の拡張子は「.JPG」、RAW 画像の拡張子は「.CR2」です。同時に記録した JPEG 画像と RAW 画像は、同じ画像番号のファイルになります。
- ソフトウェア「Digital Photo Professional」「EOS Utility」については、「ソフトウェアについて」を参照してください。なお、ソフトウェアの使用説明書は弊社 Web サイトからダウンロードしてください。ダウンロードの方法については「ソフトウェアの使用説明書」を参照してください。
- MENU の  1 タブの「記録画質」で設定することもできます。JPEG 画像と RAW 画像を同時に記録するときは、「RAW 画像設定」で **[RAW]** を選びます。

- MENU の「記録画質」画面で、「RAW 画像設定」で **[-]** を選ぶと JPEG 画像だけを、「JPEG 画像設定」で **[-]** を選ぶと RAW 画像だけを記録する設定になります。「RAW 画像設定」と「JPEG 画像設定」の両方を同時に **[-]** に設定することはできません。

縦横比（アスペクト比）を変える

- 次の項目を設定できます。

16:9	HD（ハイビジョン）対応テレビなどのワイド画面へ表示するときに適しています。
3:2	このカメラの画面や 35mm フィルムと同じ縦横比です。2L 判、はがきなどでの印刷に適しています。
4:3	L 判、A 判などでの印刷に適しています。
1:1	正方形です。

-  モードでは縦横比を設定できません。
- MENU の  1 タブの「静止画アスペクト比」で設定することもできます。



無線機能

アクセサリー

注意やヒント

本体に関する注意やヒント

撮影に関する注意やヒント

再生に関する注意やヒント

設定に関する注意やヒント

故障かな?と思ったら

メッセージ一覧

お役立ち情報

索引

動画の画質を変える

- ビデオ方式の設定が [NTSC] のときは、次の項目を設定できます。

画質	記録画素数	フレームレート	内容
Full HD 59.94P	1920 x 1080 画素	59.94 フレーム / 秒	Full HD (フルハイビジョン) 画質で撮影できます。
Full HD 29.97P	1920 x 1080 画素	29.97 フレーム / 秒	
Full HD 23.98P	1920 x 1080 画素	23.98 フレーム / 秒	
HD 59.94P	1280 x 720 画素	59.94 フレーム / 秒	HD (ハイビジョン) 画質で撮影できます。
VGA 29.97P	640 x 480 画素	29.97 フレーム / 秒	SD (スタンダード) 画質で撮影できます。

- ビデオ方式の設定が [PAL] のときは、次の項目を設定できます。

画質	記録画素数	フレームレート	内容
Full HD 50.00P	1920 x 1080 画素	50.00 フレーム / 秒	Full HD (フルハイビジョン) 画質で撮影できます。
Full HD 25.00P	1920 x 1080 画素	25.00 フレーム / 秒	
HD 50.00P	1280 x 720 画素	50.00 フレーム / 秒	HD (ハイビジョン) 画質で撮影できます。
VGA 25.00P	640 x 480 画素	25.00 フレーム / 秒	SD (スタンダード) 画質で撮影できます。

- Full HD 59.94P** **Full HD 50.00P** **HD 59.94P** **HD 50.00P** で繰り返し撮影すると、カメラ内部の温度が一時的に高くなることがあります。そのときは動画ボタンを押しても撮影できません。メッセージにしたがって、 **Full HD 29.97P** か **Full HD 25.00P** に設定して撮影するか、電源を切ってカメラ内部の温度が下がってから撮影してください。
- VGA 29.97P** **VGA 25.00P** では画面の左右に、 **Full HD 59.94P** **Full HD 29.97P** **Full HD 23.98P** **Full HD 59.94P** **Full HD 50.00P** **Full HD 25.00P** **Full HD 50.00P** では画面の上下に、黒帯が表示されますが、この部分は撮影できません。
- MENU の **8** タブの [動画記録サイズ] で設定することもできます。



無線機能

アクセサリー

注意やヒント

本体に関する注意やヒント

撮影に関する注意やヒント

再生に関する注意やヒント

設定に関する注意やヒント

故障かな?と思ったら

メッセージ一覧

お役立ち情報

索引



見る

静止画／動画を見る

- パソコンで編集した画像やファイル名を変えた画像、このカメラ以外で撮影した画像は、再生や編集ができないことがあります。
- ◀か▶ボタンを 1 秒以上押しと、スクロール再生画面が表示されます。この状態で◀か▶ボタンを押して画像を選びます。Ⓜボタンを押すと 1 枚表示に戻ります。
- スクロール再生中に▲か▼ボタンを押すと、日付ごとにジャンプして画像を探せます。
- 動画の再生中、Ⓜボタンを押すたびに一時停止／再開ができます。
- 動画の再生が終わると [SET▶] が表示されます。
- 再生モードの状態で「シャッターボタンを半押しする」、「▶ボタンを押す」、「動画ボタンを押す」、「モードスイッチを動かす」のいずれかの操作で撮影モードになります。
- RAW 画像を表示したとき、縦横比の目安となる白い線が表示されます。縦横比 [16:9] で撮影した画像には画面の上下に、縦横比 [4:3] [1:1] で撮影した画像には画面の左右に表示されます。
- スクロール再生を使わないようにするには、MENU で [▶ 4] タブの [スクロール再生] を選び、[切] を選びます。
- 再生モードにしたときに表示される画像を最新の撮影画像からにしたときは、MENU で [▶ 5] タブの [再生開始位置] を選び、[最新の画像] を選びます。
- 画像を切り換えたときの効果を変えるには、MENU で [▶ 4] タブの [画像切り換え効果] を選び、目的の効果を選びます。

再生に関する注意やヒント

撮影した静止画や動画を、カメラで再生するときの注意などを記載しています。

無線機能

アクセサリー

注意やヒント

本体に関する注意やヒント

撮影に関する注意やヒント

再生に関する注意やヒント

設定に関する注意やヒント

故障かな?と思ったら

メッセージ一覧

お役立ち情報

索引



高輝度（ハイライト）警告

- 情報表示 2～8 にすると、画像上の白トビした部分が点滅表示されます。

輝度ヒストグラム

- 情報表示 2～8 の画面上部に表示されるグラフは、画像中の明るさの分布を示した輝度ヒストグラムというグラフです。横軸は明るさ、縦軸は明るさごとの量を示しています。このヒストグラムで、露出の傾向を確認できます。

RGB ヒストグラム

- 情報表示 3 には、画像中の赤、緑、青の分布を示す RGB ヒストグラムが表示されます。横軸は各色の明るさ、縦軸は色の明るさごとの量を示しています。このヒストグラムで、色の傾向を確認できます。
- ヒストグラムは撮影時に表示することもできます。

タッチ操作で見る

- 画面を連続して素早くドラッグすると、スクロール再生の画面を表示できます。スクロール再生画面では、次の操作ができます。
 - 画面を左右にドラッグして画像を選べます。
 - 中央の画像をタッチすると 1 枚表示に戻ります。
 - 画面を上下方向に素早くドラッグすると、日付ごとにジャンプして画像を探せます。
- 動画の再生中に [M] をタッチすると音量パネルが表示され、[▲] か [▼] をタッチすると音量を変えられます。
- 動画の再生中に画面をタッチすると、動画操作パネルが表示されます。スクロールバーをタッチしたり、左右方向にドラッグしたりすると、表示するフレームを変えられます。[↶] をタッチすると、再生前の画面に戻ります。
- 一覧表示中に画面を上下方向にドラッグすると、指の動きにあわせて表示が切り換わります。

- 一覧表示中に画像をタッチして選んでからもう一度タッチすると、タッチした画像が 1 枚表示になります。
- 画面を素早く 2 回タッチすると、画像が拡大して表示されます。拡大表示しているときに素早く 2 回タッチすると 1 枚表示に戻ります。
- 拡大表示中に画面をドラッグすると、表示位置が移動します。

拡大して見る

- ダイヤルを時計回りに回すごとに拡大表示になり、最大約 10 倍まで拡大できます。
- ダイヤルを反時計回りに回すと縮小表示になります。
- 拡大表示すると、画面には表示位置の目安が表示されます。
- [SET] が表示されている状態で [OK] ボタンを押すと [SET] 表示に切り換わります。◀▶ ボタンを押すと拡大したまま画像を切り換えられます。もう一度 [OK] ボタンを押すと元に戻ります。
- 拡大表示のときに MENU ボタンを押すと、1 枚表示に戻すことができます。

スライドショーで見る

- 再生すると、[画像読み込み中] が数秒間表示されたあと、スライドショーが始まります。
- MENU ボタンを押すと、スライドショーが終わります。
- スライドショー中に節電機能は働きません。
- 再生中に [OK] ボタンを押すと一時停止／再開ができます。
- 再生中に ▶▶ ボタンを押すと画像を切り換えられます。◀◀ ボタンを押したままにすると早送りできます。
- スライドショーを開始する画面で [設定] を選ぶと、スライドショーの繰り返しや再生画像 1 枚あたりの表示時間、切り換わる時の効果（再生効果）を変えられます。
- 再生中に画面をタッチしてスライドショーを終えることもできます。

無線機能

アクセサリー

注意やヒント

本体に関する注意やヒント

撮影に関する注意やヒント

再生に関する注意やヒント

設定に関する注意やヒント

故障かな?と思ったら

メッセージ一覧

お役立ち情報

索引

短編動画（ダイジェスト動画）を見る

- 静止画を撮影した日に作成された短編動画が先頭から再生されます。
- 情報表示なしにしているときは、一定時間で **[SET]** が消えます。
- **[SET]** をタッチしたあと、**[SET]** をタッチすることでもダイジェスト動画を再生できます。

日付ごとに選んで見る

- ダイジェスト動画を、日付で選んで見ることができます。
- MENU の **[▶ 2]** タブの [ダイジェスト動画の一覧 / 再生] を選び、目的の日付を選びます。その後、**[OK]** ボタンを押して、動画を再生します。

画像を探す

一覧表示（インデックス表示）で画像を探す

-  ダイヤルを反時計回りに回すと一覧表示になります。さらに回すと表示される画像の数が増えます。
-  ダイヤルを時計回りに回すごとに表示される画像の数が減ります。
- 選ばれている画像にはオレンジ色の枠が表示されます。
- **[OK]** ボタンを押すと選ばれている画像が 1 枚表示になります。
- **[▲]** か **[▼]** ボタンを押したままにすると、奥行きのある表示になります。MENU で **[▶ 4]** タブの [一覧表示の効果] を [切] にすると、この効果をつけずに表示することができます。

指定した条件で画像を探す

- カード内に多くの画像があるときは、指定した条件で画像を検索して、目的の画像を素早く探せます。また、検索した画像だけをまとめて保護したり、消したりすることもできます。指定できる条件は次のとおりです。

★ レーティング	レーティング設定した画像を表示
📅 日付	指定した撮影日の画像を表示
👤 人物	顔が検出された画像を表示
📷 静止画 / 動画	静止画、動画、 [📷] モードで作成された動画のいずれかを表示

- 1 つ目の検索条件に **[👤]** を選んだときは、**[▶]** ボタンを押して検索された画像だけを見ることができます。
- 1 つ目の検索条件に **[★]** **[📅]** **[👤]** を選んだときは **[▶]** ボタンを押して 2 つ目の条件を選びます。**[▶]** ボタンを押すと検索された画像だけを見ることができます。
- 検索した画像の表示を解除するときは、**[OK]** ボタンを押して設定項目の **[📷]** を選び、**[OK]** ボタンを押します。
- 目的の条件と一致する画像がないときは、条件を選ぶことはできません。
- 検索した画像を表示しているときは、「一覧表示（インデックス表示）で画像を探す」、「拡大して見る」、「スライドショーで見る」などの操作で画像を見ることもできます。また、「保護する」で [検索した全画像を保護]、「まとめて消す」、「印刷指定（DPOF）」、「フォトブック指定」で [検索したすべての画像を指定] を選ぶと、検索した画像だけをまとめて操作することができます。
- 画像を編集して新規保存などを行うとメッセージが表示されて、検索した画像の表示が解除されます。
- MENU の **[▶ 2]** タブの [画像の検索] でも同じように操作できます。
- 画面をタッチして検索条件を選ぶこともできます。



電子ダイヤルで画像を探す

- 電子ダイヤルを使って、指定した条件で画像を飛ばして、目的の画像を素早く探せます。指定できる条件(ジャンプ方法)は次のとおりです。

	レーティング設定した画像を表示
	各撮影日の先頭画像を表示
	画像を1枚ずつ表示
	画像を10枚ずつ飛ばして表示
	画像を100枚ずつ飛ばして表示

- 条件を選んだあと、ダイヤルを回すと、選んだ条件の画像だけを見たり、選んだ条件の単位で画像を飛ばします。
- は、そのレベルのお気に入りの画像があるときに表示されます。また、 は、いずれかのレベルのお気に入りの画像があるときに表示されます。
- ではすべてのレベルのお気に入り画像にジャンプします。

保護する

- 保護を解除するときは、ボタンを押して を選び、 ボタンを押すか ダイヤルを回して を選びます。画面から が消えます。
- カードを初期化すると、保護された画像も消えます。
- 保護された画像は、カメラの消去機能では消えません。画像を消すときは、保護を解除してください。
- MENU の 1] タブの でも保護することができます。

1枚ずつ指定してまとめて保護する

- 画面に が表示された状態で、もう一度 ボタンを押すと が消え、保護が解除されます。
- [変更内容を保存しますか?] と表示されている画面で、操作を完了する前に撮影モードに切り換えたり電源を切ったときは、保護されません。
- 画像を指定する画面をタッチすることでも画像を選んだり解除したりすることができます。 をタッチすると確認画面が表示されます。
- [変更内容を保存しますか?] と表示されている画面で をタッチして保護することもできます。

範囲で指定して保護する

- 終点の画像を選ぶときは、始点より前の画像は選ばせません。
- [範囲で指定] 画面で、 を選ぶと、選んだ画像の保護をまとめて解除することができます。
- [範囲で指定] 画面で、画像をタッチして始点、終点の画像を選ぶ画面を表示することができます。
- [範囲で指定] 画面で、 をタッチして画像を保護することもできます。

すべての画像の保護を解除する

- すべての画像の保護をまとめて解除することができます。MENU の 1] タブの を選んだあと、 を選びます。 ボタンを押して を選びます。



お気に入り設定をする（レーティング）

- [OFF] [★] [★★] [★★★] [★★★★] [★★★★★] の6段階で画像を分類できます。特定のレベルの画像だけを検索して、次の操作をすることができます。
- 「見る」、「スライドショーで見る」、「保護する」、「消す」、「印刷指定（DPOF）」、「フォトブック指定」
- レーティングを解除するときは、 ボタンを押して、設定項目の [★] から [OFF] を選び、 ボタンを押します。
- MENUの [▶] 1] タブの [レーティング] でも設定することができます。
- [変更内容を保存しますか?] と表示される画面で、操作を完了する前に撮影モードに切り換えたり電源を切ったときは、設定されません。
- 画像を選ぶ画面の下部にある [▲] か [▼] をタッチすることでレベルの設定ができます。

消す

- 不要な画像を1枚ずつ選んで消せます。消した画像は元に戻すことはできませんので、十分に確認してから消してください。
- 中止するときは、[消去しますか?] が表示されている画面で◀か▶ボタンを押して [キャンセル] を選び、 ボタンを押します。
- ▲ボタンを押して [消去しますか?] が表示されている画面で [消去] をタッチすることでも、表示していた画像を消すことができます。
- 画像をまとめて消すこともできます。
- 保護された画像は消えません。
- RAWとJPEGを同時記録した画像を表示して▲ボタンを押すと、[RAWのみ消去] [JPEGのみ消去] [RAW+JPEG消去] が表示されます。項目を選んで画像を消すことができます。
- MENUの [▶] 1] タブの [消去] でも画像を消すことができます。

1枚ずつ指定してまとめて消す

- 画面に [✓] が表示された状態で、もう一度 ボタンを押すと [✓] が消え、選択が解除されます。
- RAWとJPEGを同時記録した画像を選ぶと両方消去されます。

範囲を指定して消す

- 終点の画像を選ぶときは、始点より前の画像は選ばれません。
- [範囲で指定] 画面で、画像をタッチして始点、終点の画像を選ぶ画面を表示することができます。
- [範囲で指定] 画面で、[消去] をタッチして画像を消すこともできます。

静止画を編集する

- 静止画の編集機能は、カードに空き容量がないと使えません。
- 画面に [SET] が表示されているときは、[SET] をタッチすることでも ボタンと同じ操作ができます。
- 画面に [MENU] が表示されているときは、[MENU] をタッチすることでもMENUボタンと同じ操作ができます。

画像を回転する

- MENUの [▶] 1] タブの [回転] でも画像を回転することができます。
- 画像を回転する画面で ボタンを押すたびに、右90°回転、左90°回転、元の画像の順に回転します。
- 画像を回転する画面で [SET] をタッチして画像を回転させたり、[MENU] をタッチしてメニュー画面に戻ることもできます。

無線機能

アクセサリー

注意やヒント

本体に関する注意やヒント

撮影に関する注意やヒント

再生に関する注意やヒント

設定に関する注意やヒント

故障かな?と思ったら

メッセージ一覧

お役立ち情報

索引



無線機能

アクセサリー

注意やヒント

本体に関する注意やヒント

撮影に関する注意やヒント

再生に関する注意やヒント

設定に関する注意やヒント

故障かな?と思ったら

メッセージ一覧

お役立ち情報

索引



自動回転機能を切る

- カメラの向きに応じて画像を自動回転する機能を使わないようにすることができます。
- 自動回転機能を切るときは、MENUの[▶ 4]タブの[縦横自動回転]を選び、項目の[切]を選びます。
- [縦横自動回転]を[切]にすると、画像の回転はできません。また、すでに回転させていた画像も、元の向きで表示されます。

画像を小さくする (リサイズ)

- 記録画素数が[S2]の画像は、編集できません。
- RAW画像は編集できません。
- 撮影した画像の記録画素数よりも大きくはできません。
- [表示する画像を選択してください]と表示される画面で[もとの画像]を選ぶと、元の画像が表示されます。
- MENUの[▶ 3]タブの[リサイズ]でも設定することができます。

画像を切り抜く (トリミング)

- 枠の縦横比は[3:2] [16:9] [4:3] [1:1]に変更できます。
- RAW画像は編集できません。
- 一度トリミングした画像を、もう一度トリミングすることはできません。
- トリミングした画像に、クリエイティブフィルター処理やリサイズ処理を行うことはできません。
- トリミングした画像の記録画素数は、トリミング前の画像より小さくなります。
- トリミング後のイメージを表示しているときに、トリミングする位置、大きさ、縦横比を変えることもできます。
- MENUの[▶ 3]タブの[トリミング]を選んでⓄボタンを押したあと、画像を選んでもう一度Ⓞボタンを押すことで、トリミング枠の大きさ、位置、縦横比を設定できます。
- トリミング枠をドラッグして移動することもできます。

- 画面上部の[☰] [🔍] [🔍] [🔍] をタッチして操作することもできます。

画像にフィルター効果をつける

- [🔍] では、◀▶ボタンを押してコントラストの強さを設定します。
- [🔍] では、◀▶ボタンを押してぼかし具合を設定します。
- [🔍] [🔍] では、◀▶ボタンを押して効果の強さを設定します。
- [🔍] では、◀▶ボタンを押して色の濃度を設定します。
- [🔍] では、◀▶ボタンを押して色調を設定します。
- [🔍] では、🔍ダイヤルを回して枠の大きさを変えたり、▲か▼ボタンを押して枠の位置を変えます。
- [🔍] では、詳細を設定する画面で◀▶ボタンを押すと枠が縦になり、◀▶ボタンを押して位置を変えられます。▲か▼ボタンを押すと枠が横に戻ります。
- MENUの[▶ 2]タブの[クリエイティブフィルター]を選んだあと、画像を選んでⓄボタンを押すことでも同じように操作できます。
- 詳細を設定する画面で、画面下部のバーをタッチやドラッグして効果を変えることもできます。[🔍] では、タッチしたりドラッグして枠の位置を変えることもできます。

赤目を補正する

- 赤目部分が補正されると、補正した部分に枠が表示されます。
- 🔍ダイヤルを回して画像を拡大/縮小できます。
- 画像によっては、正しく補正されないことがあります。
- 画像を保存するときに[上書き保存]を選ぶと、補正内容で上書きされるため、補正前の画像は残りません。
- 保護されている画像は上書き保存できません。
- RAW画像の補正はできません。
- RAW画像を同時記録したJPEG画像は赤目補正ができますが、上書き保存はできません。

- 画像を保存する画面で、[新規保存] や [上書き保存] をタッチすることでも画像を保存できます。

RAW 画像をカメラで現像する

- 設定できる項目は、次のとおりです。

明るさ補正	明るさを補正できます。
ホワイトバランス	ホワイトバランスを選べます。
ピクチャースタイル	ピクチャースタイルの種類を選べます。
オートライティング オプティマイザ	オートライティングオプティマイザの内容を設定することができます。
高感度撮影時のノイズ 低減	ノイズ低減の内容を設定できます。
記録画質	JPEG 画像を作成するときの記録画質を設定します。
周辺光量補正	レンズの特性によって起こる周辺光量の低下を補正することができます。
色収差補正	レンズの特性によって起こる色収差を補正することができます。
回折補正	回折現象による解像劣化を補正することができます。

- カメラで現像した画像と、Digital Photo Professional で現像した画像は完全に同じにはなりません。
- 現像方法を設定する画面で、項目が選ばれた状態で  ダイヤルを回すことでも、それぞれの効果を選ぶことができます。
- 現像方法を設定する画面で、 ダイヤルを時計回りに回すと拡大表示になります。
- 現像方法を設定する画面で [比較] をタッチしたあと、 ボタンを押すと撮影時の画像と比較することができます。設定画面に戻るときは **MENU** ボタンを押します。

- 現像方法を設定する画面で  を選んだあと、 ボタンを押して [OK] を選び、 ボタンを押すと撮影時の設定に戻ります。
- 現像方法の詳細を設定する画面に **INFO** が表示される機能では、 ボタンを押すとさらに詳細な設定もできます。
- MENU の  3 タブの [RAW 現像] でも設定することができます。

1 枚ずつ指定して現像する

- MENU の  3 タブの [RAW 現像] から [画像指定] を選んで  ボタンを押したあと、 ボタンを押して画像を選びます。画像を選ぶと  が表示されます。別の画像も指定するときは、操作を繰り返します。その後、現像する操作を行ってください。
- 選択を解除するには、もう一度  ボタンを押します。  が消えます。

範囲で指定して現像する

- MENU の  3 タブの [RAW 現像] から [範囲で指定] を選んで  ボタンを押したあと、画像の範囲を指定します。その後、現像する操作を行ってください。
- 一度に指定できる画像は 500 枚です。

動画を編集する

動画の前後を削除する

- 編集を中止するときは、**MENU** ボタンを押したあと、 ボタンを押して [OK] を選び、 ボタンを押します。
- 編集した動画を保存する画面で [上書き保存] を選んだときは、編集内容が上書きされるため、編集前の動画は残りません。
- カードの空き容量が足りないときは、[上書き保存] しか選べません。
- 動画の保存中にバッテリーがなくなると、保存できないことがあります。
- 編集するときは、フル充電されたバッテリーか、コンパクトパワーアダプター (別売) と DC カプラー (別売) をあわせて使うことをおすすめします。



無線機能

アクセサリー

注意やヒント

本体に関する注意やヒント

撮影に関する注意やヒント

再生に関する注意やヒント

設定に関する注意やヒント

故障かな?と思ったら

メッセージ一覧

お役立ち情報

索引

ファイルサイズを小さくする

- 圧縮後の画質は次のとおりです。

圧縮前	圧縮後
ⒻFHD 59.94P	ⒻHD 29.97P
ⒻFHD 50.00P	ⒻHD 25.00P
ⒻFHD 29.97P	ⒻHD 29.97P
ⒻFHD 23.98P	ⒻHD 23.98P
ⒻFHD 59.94P	ⒻHD 29.97P
ⒻFHD 25.00P	ⒻHD 25.00P
ⒻHD 50.00P	ⒻHD 25.00P

- ⒻVGA 29.97P] [ⒻVGA 25.00P] の動画は、圧縮できません。
- 編集した動画を保存するときに [上書き保存] を選ぶと、圧縮できません。

ダイジェスト動画を編集する

- 消したいチャプターを選んで [Ⓕ] を選び、Ⓕボタンを押すと、選んだチャプターが繰り返し再生されます。
- [このチャプターを消去しますか?] の画面で [OK] を選んでⒻボタンを押すと、チャプターが消去され、上書き保存されます。
- プリンターとつないだときは、チャプターを選んでも [Ⓕ] は表示されません。



無線機能

アクセサリー

注意やヒント

本体に関する注意やヒント

撮影に関する注意やヒント

再生に関する注意やヒント

設定に関する注意やヒント

故障かな?と思ったら

メッセージ一覧

お役立ち情報

索引



カメラの基本機能を変える

- MENUの [📷] タブや [🔍] タブで設定します。ふだん使う上での便利な機能を自分好みに設定することができます。

撮影直後の画像表示時間を変える

- 設定できる項目は次のとおりです。

2 秒、4 秒、8 秒	設定した時間だけ画像を表示します。画像が表示されている状態でも、シャッターボタンを半押しすると、次の撮影ができます。
ホールド	シャッターボタンを半押しするまで画像を表示します。
切	画像は表示されません。

- 撮影直後に画像が表示されているときに▼ボタンを押すと、表示情報を切り換えられます。

画像番号のつけかたを変える

- 撮影した画像には、撮影した順に 0001 ~ 9999 の番号がつけられ、1 つのフォルダに 2000 枚ずつ保存されます。この画像番号のつけかたを変えることができます。設定できる項目は次のとおりです。

通し番号	画像番号 9999 の画像が撮影 / 保存されるまでは、カードを変えて撮影しても連番になります。
オートリセット	カードを変えたり、フォルダが新しく作られたときは、画像番号が 0001 に戻ります。

- [通し番号] [オートリセット] とともに、変えるカードに画像が入っているときは、その画像番号の続き番号になることがあります。画像番号 0001 の画像から順に保存したいときは、初期化したカードをお使いください。

設定に関する注意やヒント

カメラの基本機能の設定に関する注意などを記載しています。
カメラの基本機能を変更することで、カメラをより使いやすくなります。

カードを初期化する

- 初期化するとカード内のすべてのデータは消され、元に戻すことはできません。カード内の画像をパソコンにコピーするなどしてから初期化をしてください。
- カード内のデータは、初期化や消去をしてもファイル管理情報が変わるだけで、完全には消えません。カードを譲渡や廃棄するときはカードを破壊するなどして、個人情報の流出を防いでください。
- 初期化の画面で表示されるカードの総容量は、カードに表記されている容量よりも少なくなることがあります。

カードを物理フォーマット（初期化）する

- 物理フォーマットをすると、カード内のすべてのデータは消され、元に戻すことはできません。カード内の画像をパソコンにコピーするなどしてから物理フォーマットをしてください。
- 物理フォーマットはカード内の全記憶領域を初期化するため、カードの初期化よりも時間がかかります。
- 物理フォーマット中に[キャンセル]を選ぶと、初期化を中止できます。中止してもデータはすべて消去されますが、カードは問題なく使えます。

エコモードを使う

- エコモードを[入]にすると、撮影画面に[ECO]が表示されます。
- カメラを操作しないと約2秒後に画面が暗くなります。その約10秒後に画面が消えます。約3分後には電源が切れます。
- 画面が消えている状態でもランプ（背面）が点滅しているときは、シャッターボタンを半押しすると画面が表示され、撮影できます。

節電機能（オートパワーオフ）の設定を変える

- バッテリーの消耗を防ぐため、通常は、MENUの[🔋2]タブの[節電]で[オートパワーオフ]を[1分]にし、[ディスプレイオフ]を[1分]以下にすることをおすすめします。

- [ディスプレイオフ]は、[オートパワーオフ]が[しない]のときも働きます。
- エコモードを[入]にしているときは、節電機能は使えません。

画面の明るさを変える

- 撮影画面や再生モードで1枚表示のときに▼ボタンを1秒以上押し続けたままにすると、画面が最高の明るさになります（[🔋2]タブの[画面の明るさ]設定は無効になります）。もう一度▼ボタンを1秒以上押し続けたままにするか、電源を入れなおすと、元の明るさに戻ります。

撮影時の情報の表示内容を設定する

- MENUの[📷1]タブの[撮影情報表示設定]にある[グリッド]で、より細かいグリッドに変えることができます。
- MENUの[📷1]タブの[撮影情報表示設定]にある[ヒストグラム]で、表示するヒストグラムを、輝度ヒストグラムからRGBヒストグラムに変えることができます。

再生時の情報の表示内容を設定する

- 画面表示を設定する画面では、左側で表示イメージを確認できます。
- [📷]モードの設定内容を表示するときは、MENUの[🔍5]タブの[再生情報表示設定]で[情報表示2]に[✓]をつけてください。▼ボタンを押したときに、[📷]モードの設定内容、[情報表示2]の順に表示されるようになります。



無線機能

アクセサリー

注意やヒント

本体に関する注意やヒント

撮影に関する注意やヒント

再生に関する注意やヒント

設定に関する注意やヒント

故障かな?と思ったら

メッセージ一覧

お役立ち情報

索引

世界時計を使う

- 世界時計を使うには、あらかじめ日付／時刻と自宅エリアを設定してください。
- 訪問先エリアを選ぶ画面で、▲か▼ボタンを押して [🌞] を選び、◀か▶ボタンを押して [🌞] にすると、サマータイム（1 時間プラスされます）に設定されます。
- [✕訪問先] に切り換えると、撮影画面に [✕] が表示されます。
- [✕] の状態で日付／時刻を変えると、[🏠自宅] の日時も自動的に変わります。

表示言語を変える

- 再生モードにして、Ⓞボタンを押したまま、MENUボタンを押すことでも言語画面を表示できます。

タッチパネルの設定を変える

- タッチ操作が感知されにくいときは、タッチパネルの感度を上げてください。
- タッチパネルを操作するときは次のことにご注意ください。
 - 感圧式ではありません。爪やボールペンなど、先のとがったもので操作しないでください。
 - 濡れた指で操作しないでください。
 - 画面に水滴がついていたり、濡れた指で操作すると、反応しなくなったり、誤動作することがあります。カメラの電源をいったん切ってから、布などでふき取ってください。
 - 画面に、市販の保護シートやシールを貼らないでください。タッチの反応が悪くなる場合があります。
- [敏感] に設定して素早いタッチ操作を行うと、反応しづらいことがあります。

タッチパネルを一時的にロックする

- 画面を約 180° 開いているときは、タッチロックされません。
- ロックを解除するときは、シャッターボタンを半押しします。MENU ボタンなどの操作ボタンを押したり、🌞ダイヤルを回してもロックは解除されます。

撮像素子をクリーニングする

クリーニング機能を動作させる

- [今すぐクリーニング :🗑️] を選んでクリーニングが始まると、クリーニング中を示す画面が表示されます。途中、シャッターの作動音がしますが、撮影は行われません。
- センサーのクリーニングは、レンズを付けていなくても行えます。レンズを付けずに行うときは、シャッター幕を破損しないように、レンズマウント面より中に指やブロアーを入れないでください。
- 机の上などにカメラを置き、底面が机に付いた状態で行うと、効果的にゴミを除去できます。
- 繰り返してクリーニングしても効果は大きく変わりません。なお、清掃終了直後は、[今すぐクリーニング :🗑️] が選べないことがあります。
- 撮像素子のクリーニング機能で取りきれないゴミやほこりがあるときは、修理受付窓口にご相談ください。

手作業で清掃する

- 撮像素子の表面は非常にデリケートです。細心の注意を払って清掃してください。
- ブラシの付いていないブロアーを使ってください。ブラシが撮像素子に触れると、撮像素子の表面に傷が付くことがあります。
- ブロアーは、レンズマウント面より内側に入れないでください。シャッター幕を破損する原因となります。
- 高圧の空気やガスを吹き付けて清掃しないでください。圧力により撮像素子が破損したり、吹き付けたガスが凍結することで、撮像素子の表面に傷が付くことがあります。



- プロアードで除去できない汚れがあったときは、修理受付窓口に撮像素子の清掃をお申し付けください。

画像に記録する著作権の情報を登録する

- 著作権情報を登録すると、撮影する画像に、登録した情報が記録されるようになります。
- 入力した内容は、MENUの [Y 4] タブの [著作権情報] で [著作権情報の表示] を選び、[OK] ボタンを押すと確認できます。
- 専用ソフトウェア「EOS Utility」でも、カメラに登録する著作権情報を入力したり、変えたり、消すことができます。なお、ソフトウェアを使って入力した文字が、カメラで表示されないことがあります。画像には正しく記録されます。
- 画像に記録された著作権情報は、画像をパソコンに取り込んでからソフトウェアで確認することができます。
- ソフトウェア「EOS Utility」の使用説明書は弊社 Web サイトからダウンロードしてください。ダウンロードの方法については「ソフトウェアの使用説明書」を参照してください。

登録した著作権情報をまとめて消す

- 登録されている作成者名と著作権者名をまとめて消すことができますが、画像に記録されている著作権情報は消されません。

その他の基本機能を変える

- 次の機能も変えることができます。
 - [Y 2] タブの [日本語入力設定]
 - [Y 4] タブの [無線通信の設定]
 - [Y 4] タブの [ファームウェア Ver.] (ファームウェア変更時に使用)
- ファームウェアの変更時は、誤操作を防ぐため途中からタッチ操作はできなくなります。

カメラの設定を初期状態に戻す

基本設定を初期化する

- 次の機能は初期状態に戻りません。
 - [Y 1] タブの [ビデオ方式]
 - [Y 2] タブの [エリア設定]、[日付 / 時刻]、[言語]
 - [OK 1] タブ
 - 撮影モード
 - 無線通信の設定
 - 著作権情報
 - 日本語入力変換履歴

機能ごとに初期状態に戻す

- 次の機能の設定を初期化することができます。
 - [CAM 5] タブの [ストロボ制御] にある [内蔵ストロボ機能設定]
 - [OK 1] タブ
 - 無線通信の設定
 - 著作権情報
 - 日本語入力変換履歴



無線機能

アクセサリー

注意やヒント

本体に関する注意やヒント

撮影に関する注意やヒント

再生に関する注意やヒント

設定に関する注意やヒント

故障かな?と思ったら

メッセージ一覧

お役立ち情報

索引

電源

電源ボタンを押してもカメラが動作しない

- バッテリーを充電してください。
- バッテリーが正しい向きで入っているか確認してください。
- カード収納部ふたとバッテリー収納部ふたが閉じているか確認してください。
- バッテリーの端子が汚れているとバッテリー性能が低下します。綿棒などで端子を拭き、バッテリーを数回入れなおしてください。

バッテリーの消耗が早い

- 低温下ではバッテリー性能が低下します。バッテリーの端子部がほかの金属にふれないようにして、ポケットなどで温めてからお使いください。
- バッテリーの端子が汚れているとバッテリー性能が低下します。綿棒などで端子を拭き、バッテリーを数回入れなおしてください。
- 上記を確認しても、充電したのにすぐ使えなくなるときはバッテリーの寿命です。新しいバッテリーをお買い求めください。

バッテリーがふくらむ

- バッテリー特性のため安全上は問題ありません。ただし、バッテリーがふくらむことでカメラに入らなくなったときは、修理受付窓口へご相談ください。

EF-M レンズを付けているときに電源を入り切りすると音が聞こえる

- カメラ内部を保護するため、電源が切れているときは絞りを絞り込んでカメラ内部に光が入らないようにするため、絞りが動く小さな音がします。

故障かな?と思ったら

「カメラが故障したのかな?」と考える前に、次の例を参考にカメラを確認してください。ただし、問題が解決しないときは、修理受付窓口へご相談ください。



無線機能

アクセサリー

注意やヒント

本体に関する注意やヒント

撮影に関する注意やヒント

再生に関する注意やヒント

設定に関する注意やヒント

故障かな?と思ったら

メッセージ一覧

お役立ち情報

索引

撮影

撮影できない

- ピントが合わないとき撮影できません。シャッターボタンを半押ししたときに、枠が緑色になるようにしてピントを合わせてから撮影してください。
- 再生モードのときは、シャッターボタンを半押ししてください。

暗い場所での画面表示がおかしい

- 暗い場所では、自動的に画面が明るくなって構図を確認しやすくなります（ナイトビュー機能）。ただし、撮影される画像の明るさは異なるほか、粗い感じ、またはややぎこちない表示になることがあります（記録される画像に影響はありません）。

撮影中の画面表示がおかしい

- 次のときは、静止画には記録されませんが、動画には記録されるので、注意してください。
 - 蛍光灯やLEDなどの照明下で撮影すると、画面がちらついたり横帯が表示されたりすることがあります。

シャッターボタンを押したら、画面に [⚡] が点滅表示されて撮影できない

- ストロボ充電のため撮影できません。充電が終わると撮影できますので、シャッターボタンを全押ししたまま待つか、一度シャッターボタンを放してもう一度押ししてください。

シャッターボタンを半押ししたときに、[9] が表示される

- 手ブレ補正機能を使って撮影してください。
- ストロボを上げて、ストロボモードを [⚡] にしてください。
- ISO感度を高くしてください。
- 三脚などでカメラを固定してください。また、三脚などでカメラを固定するときは、手ブレ補正を使わないことをおすすめします。

画像がボケて撮影される

- オートフォーカス（AF）で撮影してください。
- シャッターボタンを半押ししてピントを合わせてから、撮影してください。
- レンズの最短撮影距離より近づくとピントが合いません。最短撮影距離は、使用しているレンズで確認してください。なお、最短撮影距離は、カメラの上面の （撮影面マーク）から被写体までの距離です。
- [AF 補助光の投光] を [する] にしてください。

- 意図しない機能（マニュアルフォーカスなど）が設定されていないか確認してください。
- フォーカスロックで撮影してください。

画像がブレて撮影される

- タッチシャッター機能を使って撮影するときは、撮影シーンによっては、画像がブレやすくなる場合があります。カメラをしっかり持って撮影してください。

シャッターボタンを半押ししても、AF フレームがオレンジ色で表示されピントが合わない

- 被写体の明暗差がある部分を画面中央にしてシャッターボタンを半押しするか、半押しを何度か繰り返すと AF フレームが緑色で表示され、ピントが合うことがあります。

被写体が暗すぎる

- ストロボを上げて、ストロボモードを [⚡] にしてください。
- 露出補正で明るさを補正してください。
- オートライティングオブティマイズで補正してください。
- AE ロックまたは部分測光で撮影してください。

被写体が明るすぎる（白トビする）

- ストロボを下げて、ストロボモードを [9] にしてください。
- 露出補正で明るさを補正してください。
- AE ロックまたは部分測光で撮影してください。
- 被写体にあたっている照明を弱めてください。

ストロボが光ったのに暗い画像になる

- ストロボ撮影に適した距離で撮影してください。
- 調光補正量や発光量で明るさを補正してください。
- ISO感度を高くしてください。

ストロボ撮影した画像の被写体が明るすぎる（白トビする）

- ストロボ撮影に適した距離で撮影してください。
- ストロボを下げて、ストロボモードを [9] にしてください。
- 調光補正量や発光量で明るさを補正してください。

ストロボ撮影時、画像に白い点などが写る

- 空気中のちりなどにストロボ光が反射しました。



無線機能

アクセサリー

注意やヒント

本体に関する注意やヒント

撮影に関する注意やヒント

再生に関する注意やヒント

設定に関する注意やヒント

故障かな?と思ったら

メッセージ一覧

お役立ち情報

索引

画像が粗い感じになる

- ISO 感度を低くして撮影してください。
- 撮影モードによっては ISO 感度が高くなるため、粗い感じの画像になることがあります。

画像に線状のノイズまたはモアレが写る

- 被写体により、画像に線状のノイズまたはモアレが記録されることがあります。特に次の条件で発生しやすくなります。
 - 細かい水平方向の縞模様や、格子模様の被写体など
 - 太陽光や照明などの強い光源が撮影画面内にあるときや、撮影画面の近くにあるとき
- なお、このようなときは、次の対応によりノイズやモアレの発生を低減できることがあります。
 - 撮影距離やズーム倍率を変えて、被写体の大きさを変える
 - 強い光源が撮影画面に入らないように構図を変える
 - レンズにフードを付けて、強い光がレンズに当たらないようにする
- TS-E レンズを使用してシフトやティルトを行ったときは、画像に線状のノイズまたはモアレが記録されることがあります。

目が赤く写る

- [赤目緩和機能] を [入] に設定してください。ストロボ撮影のときは、ランプ（前面）が点灯します。また、写される人がランプを見ているときに効果があります。「室内を明るくする」、「写したい人に近づくと」効果が上がります。
- 赤目補正で補正してください。

カードへの画像の記録時間が長い、または連続撮影速度が遅くなった

- カードをこのカメラで物理フォーマットしてください。

連続撮影が途中で止まる

- カメラを保護するため、1 回の連続撮影が 1000 枚程度になると撮影が止まります。一度シャッターボタンから指を放してから撮影しなおしてください。

撮影機能やクイック設定画面の設定ができない

- 設定できる項目は撮影モードによって変わります。「撮影機能一覧」、「クイック設定画面設定項目一覧」、「撮影タブメニュー 一覧」、「C.Fn タブメニュー 一覧」、「撮影機能画面」、「設定タブメニュー 一覧」(P.100～P.113) で確認してください。

タッチ AF できない/タッチシャッターできない

- 画面の周辺部分をタッチしてもタッチ AF やタッチシャッターはできません。中央よりの位置をタッチしなおしてください。

[>] が表示されて自動的に電源が切れる

- 長時間撮影したり、高温下で撮影すると、もうすぐ電源が自動的に切れることを示す [>] が表示されます。そのときは、電源を切って、カメラ内部の温度が下がるまで待ってください。

動画撮影

正しい撮影時間が表示されない、または中断される

- カードをこのカメラで初期化するか、書き込み速度の速いカードを使ってください。撮影時間が正しく表示されないときも、カードには実際に撮影した時間の動画が記録されています。

被写体がゆがんで見える

- 撮影中に被写体がカメラの前を素早く横切ったときは、ゆがんで見えることがあります。これは故障ではありません。

動画が一瞬止まって見える

- レンズによっては明るさが大きく変化した瞬間に画像がフレーム（コマ）落ちしたように見える動画が記録されることがあります。

再生

再生できない

- パソコンでファイル名やフォルダ構造を変えると再生できないことがあります。

再生が中断する、または音声途切れる

- このカメラで物理フォーマットしたカードを使ってください。
- 動画を、読み込み速度の遅いカードにコピーして再生すると、再生が一瞬中断することがあります。
- パソコンで動画を再生するとき、パソコンの性能によっては、画像がフレーム（コマ）落ちしたり、音声途切れたりすることがあります。

動画を再生したときに音声が聞こえない

- 音声が小さいときは、音量を調整してください。
- [>] モード、[>] モードでは音声が録音されていないため、音は出ません。



パソコン

画像をパソコンに取り込めない

- カメラとパソコンをケーブルでつないで取り込むときは、次の操作で画像の取り込み速度を遅くすることで、問題が解決できることがあります。
 - ▶ ボタンを押して再生モードにします。**MENU**ボタンを押したまま、▲ボタンとⓂボタンを同時に押します。表示された画面で◀か▶ボタンを押して[B]を選び、Ⓜボタンを押します。

Wi-Fi

(P)ボタンを押してもWi-Fiメニューを表示できない

- カメラをプリンターとケーブルでつないでいるときはWi-Fiメニューは表示できません。ケーブルを外してください。

カメラに接続先を登録できない

- カメラに登録できる接続情報は、あわせて20件までです。不要な接続情報を削除してから新しい接続先を登録してください(Ⓜ30)。
- Webサービスの登録は、パソコンまたはスマートフォンを使って設定してください(Ⓜ16)。
- スマートフォンの登録は、スマートフォンに専用アプリケーション「Camera Connect」をインストールしてから行ってください(Ⓜ8)。
- Wi-Fiの電波状態が悪くなるため、電子レンジなど、2.4 GHz帯の周波数を使用する機器の近くでは使用しないでください。
- 本製品と接続先の機器(アクセスポイントなど)を近づけて、その間に物を置かないでください。

アクセスポイントに接続できない

- アクセスポイントが、カメラの対応チャンネル(Ⓜ119)で通信していることを確認してください。また、アクセスポイントのチャンネル選択が自動のときは、カメラが対応するチャンネルのいずれかに手動で固定することをおすすめします。

画像を送信できない

- 接続先の空き容量が不足しています。接続先の空き容量を増やしてから再度送信してください。
- 接続先のカメラに入れているカードのスイッチが「LOCK」側(書き込み禁止)になっています。スイッチを書き込みできる方へ切り換えてください。
- RAW画像はカメラへ送信したりテレビに表示することはできません。なお、スマートフォンでRAW画像を選ぶとJPEG画像として取り込まれます。ただし、クラウドシンクロではRAW画像も送信されます。
- クラウドシンクロでアクセスポイントを経由して画像が送信されたとき(Ⓜ26)は、パソコンで画像のファイル名やフォルダ名を変えたり移動したりすると、CANON iIMAGE GATEWAYやWebサービスに送信されません。パソコンに送信された画像のファイル名やフォルダ名を変えたり移動したりする前に、CANON iIMAGE GATEWAYやWebサービスに画像が送信されていることを確認してください。

画像をリサイズして送信できない

- 元の画像より大きい記録画素数にはリサイズできません。
- 動画はリサイズできません。

画像の送信に時間がかかる／無線接続が切断されてしまう

- 複数の画像を送信すると時間がかかることがあります。送信時にリサイズすると、送信時間を短くできます(Ⓜ25)。
- 動画を送信すると非常に時間がかかることがあります。
- Wi-Fiの電波状態が悪くなるため、電子レンジなど、2.4 GHz帯の周波数を使用する機器の近くでは使用しないでください。
- 本製品と接続先の機器(アクセスポイントなど)を近づけて、その間に物を置かないでください。

カメラにCANON iIMAGE GATEWAYを登録するときに、パソコンやスマートフォンに通知メールが届かない

- 入力するメールアドレスに誤りがないか確認し、登録をやり直してください。
- パソコンまたはスマートフォンのメール設定を確認してください。特定ドメインのメールを受信拒否にしていると受信できないことがあります。

カメラを譲渡または廃棄するので、Wi-Fiの接続情報を消したい

- Wi-Fiの設定を初期化してください(Ⓜ33)。



メッセージ一覧

画面にメッセージが表示されたときは、次のように対応してください。

撮影、再生中

カードがありません

- カードが正しい向きで入っていません。カードを正しい向きで入れます。

カードがロックされています

- カードのスイッチが「LOCK」側（書き込み禁止）になっています。スイッチを書き込みできる方へ切り換えます。

記録できません

- カードが入っていない状態で撮影しました。撮影するときは、カードを正しい向きで入れます。

カードが異常です

- 使えるカードを初期化して正しい向きで入れても同じ表示が出るときは、修理受付窓口へご相談ください。

カード残量が足りません

- カードの空き容量がないため、撮影や編集はできません。画像を消して空き容量を作るか、空き容量のあるカードに交換します。

タッチ AF できません

- タッチ AF ができない撮影モードです。

タッチ AF 解除されました

- タッチ AF で選んだ被写体が認識できなくなりました。

バッテリーを充電してください

- バッテリーの残量がありません。

画像がありません

- カードに表示できる画像が入っていません。

保護されています

- 保護された画像は、カメラの消去機能では消えません。



無線機能

アクセサリー

注意やヒント

本体に関する注意やヒント

撮影に関する注意やヒント

再生に関する注意やヒント

設定に関する注意やヒント

故障かな?と思ったら

メッセージ一覧

お役立ち情報

索引



認識できない画像です／互換性のないJPEGです／画像が大きすぎます／再生できません (MOV)／再生できません (MP4)

- 非対応の画像やデータが壊れている画像は表示できません。
- パソコンで加工したり、ファイル名を変えたりした画像や、このカメラ以外で撮影した画像は、表示できないことがあります。

拡大できない画像です／回転できない画像です／処理できない画像です／処理できません／指定できない画像です

- パソコンで編集した画像やファイル名を変えた画像、このカメラ以外で撮影した画像は、次の機能が使えないことがあります。また、動画では、*の機能が使えません。

拡大*、回転*、レーティング、編集*、印刷指定 (Ⓜ45)*、フォトブック指定 (Ⓜ46)*

指定範囲が正しくありません

- 画像を範囲指定するとき、始点と終点より遅い番号の画像、または終点に始点より早い番号の画像を指定しようとした。

指定枚数の上限を超えています

- 印刷指定 (Ⓜ45) やフォトブック指定 (Ⓜ46) の画像を 998 枚より多く指定しました。指定する画像を 998 枚以下にします。
- 印刷指定 (Ⓜ45) やフォトブック指定 (Ⓜ46) を正しく保存できませんでした。指定枚数を減らして、もう一度指定します。
- 保護、消去、レーティング、印刷指定 (Ⓜ45)、フォトブック指定 (Ⓜ46) で、501 枚以上の画像を指定しようとした。

ファイル名が作成できません

- カード内の画像を保存するフォルダの番号が最大 (999) になっていて、各フォルダに保存されている画像の番号も最大 (9999) になっているため、フォルダの作成や撮影した画像の記録ができません。MENU の [👉 1] タブで [画像番号] を [オートリセット] に変えるか、カードを初期化します。

レンズエラーを検知しました

- カメラとレンズの通信不良です。レンズの接点を清掃してから正しく付けてください。
- 頻繁に表示されるときは故障が考えられます。修理受付窓口へご相談ください。

カメラがエラーを検知しました (エラー番号)

- 撮影直後に表示されたときは、撮影されていないことがあります。再生して画像を確認してください。
- 頻繁に表示されるときは故障が考えられます。エラー番号 (Exx) を控えて、修理受付窓口へご相談ください。

ファイルエラー

- パソコンで加工したり、このカメラ以外で撮影した画像は、プリンターにつないでも正しく印刷 (Ⓜ41) できないことがあります。

印刷エラー

- 用紙サイズの設定を確認してください (Ⓜ43)。正しく設定されていてもこのエラーが表示されるときは、プリンターの電源を入れなおして、もう一度設定してください。

インク吸収体が満杯です

- お使いのキャノン製インクジェットプリンターに付属のパーソナル機器修理受付センター、またはお近くの修理受付窓口インク吸収体の交換を依頼してください。

Wi-Fi

接続に失敗しました

- アクセスポイントを認識できませんでした。アクセスポイントの設定を確認してください (Ⓜ13)。
- 接続先が見つかりませんでした。カメラの電源を入れ直し、接続をやり直してください。
- 接続先の機器が、接続できる状態になっているか確認してください。

アクセスポイントが特定できません

- 複数のアクセスポイントの WPS ボタンが同時に押されました。接続をやり直してください。

アクセスポイントが見つかりませんでした

- アクセスポイントの電源が入っているか確認してください。
- アクセスポイントを手動で指定しているときは、入力した SSID が正しいか確認してください。

無線機能

アクセサリー

注意やヒント

本体に関する注意やヒント

撮影に関する注意やヒント

再生に関する注意やヒント

設定に関する注意やヒント

故障かな?と思ったら

メッセージ一覧

お役立ち情報

索引

パスワードが正しくありません / Wi-Fi のセキュリティ設定が正しくありません

- アクセスポイントのセキュリティ設定を確認してください (P13)。

IP アドレスが重複しています

- ほかの機器と IP アドレスが重複しないように、IP アドレスを設定し直してください。

接続が切断されました / 受信に失敗しました / 送信に失敗しました

- Wi-Fi の環境が悪い可能性があります。
- 電子レンジなど、2.4 GHz 帯の周波数を使用する機器の近くでは使用しないでください。
- 本製品と接続先の機器（アクセスポイントなど）を近づけて、その間に物を置かないでください。
- 接続先の機器でエラーが発生していないか確認してください。

送信に失敗しました

カードが異常です

- 初期化したカードを正しい向きで入れても同じ表示が出るときは、修理受付窓口へご相談ください。

受信に失敗しました

カード残量が足りません

- 画像を受信するカメラに入っているカードに空き容量がないため、画像を受信できません。画像を消して空き容量を増やすか、空き容量のあるカードに交換してください。

受信に失敗しました

カードがロックされています

- 画像を受信するカメラに入っているカードのスイッチが「LOCK」側（書き込み禁止）になっています。スイッチを書き込みできる方へ切り換えてください。

受信に失敗しました

ファイル名が作成できません

- 画像を受信するカメラのフォルダ番号が最大値（999）で、かつ画像番号も最大値（9999）のときは受信できません。

サーバーの空き容量が不足しています

- CANON IMAGE GATEWAY にアップロードされている画像を削除して、空き容量を増やしてください。
- クラウドシンクロでサーバーに送信した画像を Image Transfer Utility を使ってパソコンに保存してください。

ネットワーク設定を確認してください

- お使いのネットワーク回線を使ってインターネットに接続できるか確認してください。

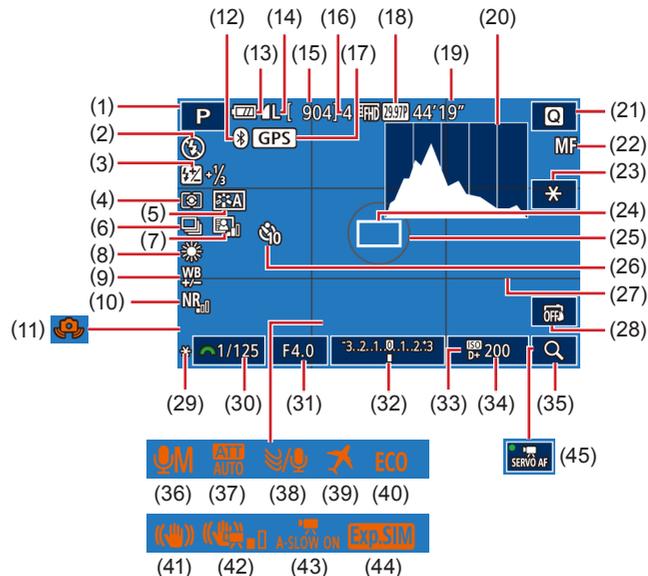


第3部 お役立ち情報

カメラを使うときに役立つ情報を記載しています。

画面の表示内容一覧

撮影時



- | | |
|----------------------|-------------------------|
| (1) 撮影モード、シーンアイコン | (8) ホワイトバランス |
| (2) ストロボモード | (9) ホワイトバランス補正 |
| (3) ストロボ調光補正／発光量 | (10) 高感度撮影時のノイズ低減 |
| (4) 測光モード | (11) 手ブレ警告 |
| (5) ピクチャースタイル | (12) Bluetooth 通信状態 |
| (6) 連続撮影 | (13) バッテリー残量表示 |
| (7) オートライティングオブティマイザ | (14) 静止画の画質 (圧縮率・記録画素数) |



無線機能

アクセサリー

注意やヒント

本体に関する注意やヒント

撮影に関する注意やヒント

再生に関する注意やヒント

設定に関する注意やヒント

故障かな?と思ったら

メッセージ一覧

お役立ち情報

索引

- | | |
|--|--------------------|
| (15) 撮影可能枚数 | (30) シャッター速度 |
| (16) 連続撮影可能枚数 | (31) 絞り数値 |
| (17) Bluetooth スマートフォン連携
GPS 情報取得状態 | (32) 露出補正 |
| (18) 動画の画質 (記録画素数・フレーム
レート) | (33) 高輝度側・階調優先 |
| (19) 撮影可能時間 | (34) ISO 感度 |
| (20) ヒストグラム | (35) 拡大 |
| (21) クイック設定画面 | (36) 録音モード |
| (22) マニュアルフォーカス | (37) アッテネーター |
| (23) 動画 AE ロック | (38) ウィンドカット |
| (24) AF フレーム | (39) エリア設定 |
| (25) 測光枠 | (40) エコモード |
| (26) セルフタイマー | (41) 手ブレ補正 |
| (27) グリッドライン | (42) 動画電子 IS |
| (28) タッチシャッター | (43) オートスローシャッター |
| (29) AE ロック | (44) 露出 Simulation |
| | (45) 動画サーボ AF |

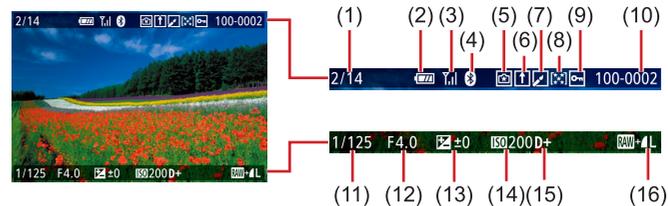
バッテリーの残量表示

バッテリーの状態は、画面にマークやメッセージで表示されます。

画面表示	内容
	十分です。
	少し減っていますが、まだ使えます。
	残量が少なくなってきました。充電してください。
[バッテリーを充電してください]	残量がありません。すぐに充電してください。

再生時

情報表示 1



- | | |
|------------------------|-------------------------|
| (1) 再生画像 / 対象画像数 | (9) 保護 |
| (2) バッテリー残量 | (10) フォルダ番号 - 画像番号 |
| (3) Wi-Fi 通信状態 | (11) シャッター速度 |
| (4) Bluetooth 通信状態 | (12) 絞り数値 |
| (5) モードへの設定反映可能 | (13) 露出補正量 |
| (6) クラウド同期送信済み | (14) ISO 感度 |
| (7) 編集済み* ¹ | (15) 高輝度側・階調優先 |
| (8) レーティング | (16) 記録画質* ² |

* 1 クリエイティブフィルター、リサイズ、トリミング、赤目補正を行った画像に表示されます。

* 2 トリミングした画像では と表示されます。



無線機能

アクセサリー

注意やヒント

本体に関する注意やヒント

撮影に関する注意やヒント

再生に関する注意やヒント

設定に関する注意やヒント

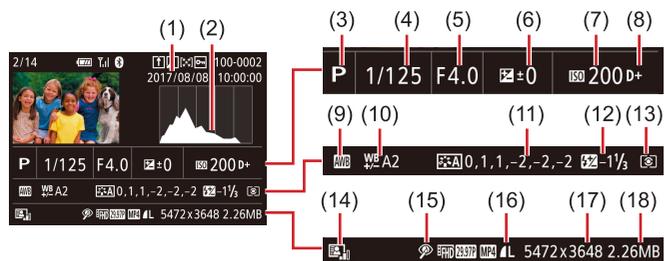
故障かな?と思ったら

メッセージ一覧

お役立ち情報

索引

情報表示 2



- (1) 撮影日時
- (2) ヒストグラム
- (3) 撮影モード
- (4) シャッター速度
- (5) 絞り数値
- (6) 露出補正量
- (7) ISO 感度
- (8) 高輝度側・階調優先
- (9) ホワイトバランス
- (10) ホワイトバランス補正量
- (11) ピクチャースタイル設定内容
- (12) 調光補正量
- (13) 測光モード
- (14) オートライティングオフティマイザ
- (15) 赤目補正
- (16) 記録画質*
- (17) 記録画素数、動画記録時間
- (18) 画像サイズ

*トリミングした画像では [] と表示されます。

情報表示 3

レンズ名、焦点距離、RGB ヒストグラムが表示されます。なお、長いレンズ名の一部が表示されないことがあります。画面上部の表示は情報表示 2 と同じです。

情報表示 4

ホワイトバランスの情報が表示されます。画面上部の表示は情報表示 2 と同じです。

情報表示 5

ピクチャースタイルの情報が表示されます。画面上部の表示は情報表示 2 と同じです。

情報表示 6

長秒時露光と高感度撮影時のノイズ低減の設定が表示されます。画面上部の表示は情報表示 2 と同じです。

情報表示 7

レンズ光学補正データ、周辺光量補正、色収差補正、回折補正が表示されます。画面上部の表示は情報表示 2 と同じです。

情報表示 8

GPS 情報が表示されます。画面上部の表示は情報表示 2 と同じです。



無線機能

アクセサリー

注意やヒント

本体に関する注意やヒント

撮影に関する注意やヒント

再生に関する注意やヒント

設定に関する注意やヒント

故障かな?と思ったら

メッセージ一覧

お役立ち情報

索引

動画操作パネル一覧

再生画面で表示される動画操作パネルでは、次の操作ができます。

	PictBridge 対応プリンターとつないだときに表示
	再生
	スロー再生 (◀か▶ボタンを押して再生速度を変更) (音声は再生されません)
	前スキップ*または前のチャプター (⏮ボタンを押したままにすると連続してスキップ)
	フレーム戻し (⏪ボタンを押したままにすると早戻し)
	フレーム送り (⏩ボタンを押したままにすると早送り)
	次スキップ*または次のチャプター (⏭ボタンを押したままにすると連続送り)
	チャプター消去 (ダイジェスト動画を選んでいるときに表示)
	編集

* 約 4 秒前または後のフレームを表示



- 動画再生中に◀か▶ボタンを押すと、前スキップ/次スキップまたは前後のチャプターへのジャンプができます。
- スクロールバーをタッチしたり、左右方向にドラッグしたりすると、表示するフレームを変えられます。



機能		撮影モード	カメラ機能																				無線機能		
			M	A	v	Tv	P	白	星	人	手	山	花	手	手	手	手	手	手	手	HDR	無線	無線	無線	
AF 枠の移動	中央	-	○	○	○	○	-	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	
	周辺	-	○	○	○	○	-	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	○	○	○	
タッチ AF		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	○	○	-	-	
拡大表示		-	○	○	○	○	-	○	-	○	-	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
タッチシャッター		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	*4	*4	○	○	*4	-	
情報表示切り換え	表示 1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	表示 2/ 情報表示なし	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	
	撮影機能画面	-	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	

* 4 撮影のみ可。被写体の指定は不可

○ 選択可能または自動設定 - 選択不可

無線機能

アクセサリー

注意やヒント

本体に関する注意やヒント

撮影に関する注意やヒント

再生に関する注意やヒント

設定に関する注意やヒント

故障かな?と思ったら

メッセージ一覧

お役立ち情報

索引



無線機能

アクセサリー

注意やヒント

本体に関する注意やヒント

撮影に関する注意やヒント

再生に関する注意やヒント

設定に関する注意やヒント

故障かな?と思ったら

メッセージ一覧

お役立ち情報

索引

設定タブメニュー 一覧

タブ	項目
🔑 1	フォルダ作成
	画像番号
	カードの初期化
	ビデオ方式
🔑 2	エコモード
	節電
	画面の明るさ
	エリア設定
	日付 / 時刻
	日本語入力設定
言語	
🔑 3	電子音
	操作音 ^{*1}
	機能ガイド
	撮影モード選択画面
	タッチ操作
	タッチロック設定
センサークリーニング	

🔑 4	Wi-Fi 接続
	無線通信の設定
	GPS の設定
	認証マーク表示
	著作権情報
	カメラの初期化
ファームウェア  Ver.*** ^{*2}	

* 1  モード以外の撮影モードで選択可* 2       モードでのみ選択可

無線機能

アクセサリー

注意やヒント

本体に関する注意やヒント

撮影に関する注意やヒント

再生に関する注意やヒント

設定に関する注意やヒント

故障かな?と思ったら

メッセージ一覧

お役立ち情報

索引

再生タブメニュー 一覧

タブ	項目
▶ 1	保護
	回転
	消去
	レーティング
	スライドショー
▶ 2	ダイジェスト動画の一覧 / 再生
	画像の検索
	クリエイティブフィルター
▶ 3	リサイズ
	トリミング
	赤目補正
	RAW 現像
	印刷設定
	フォトブック指定
▶ 4	画像切り換え効果
	一覧表示の効果
	スクロール再生
	縦横自動回転
▶ 5	再生開始位置
	再生情報表示設定

再生モードのクイック設定画面設定項目一覧

項目
保護
回転
レーティング
画像の検索
動画再生
ダイジェスト動画のリンク再生
印刷
リサイズ
トリミング
クリエイティブフィルター
RAW 現像
設定を反映して撮影*

* 撮影モードが [📷] 以外になっているときは [設定を🔗] に反映]



主な仕様

型式

カテゴリー デジタル一眼ノンレフレックス
AF・AE カメラ

撮像素子

イメージサイズ
画寸法 (記録画素サイズのこと) 約 22.3 x 14.9mm

画素数
カメラ部有効画素数 (画像処理
により画素が減少することがある) 約 2420 万画素
総画素数 約 2580 万画素

アスペクト比 3 : 2

ダスト除去機能 (自動 / 手動) あり

フォーカス制御

AF 方式 顔 + 追尾優先 AF、スムーズゾーン AF、1 点 AF

測距点 (最大) 49 点

測距輝度範囲 (常温 23°C・ISO 100、
EF-M22mm F2 STM 使用時)

EV 値 -1 ~ 18

フォーカス動作

TTL オートフォーカス ワンショット AF、サーボ AF

AF 補助光 内蔵 LED ランプ

露出制御

測光方式

静止画 撮像素子によるリアルタイム測光
評価測光、部分測光、中央部重点
平均測光、スポット測光

動画 撮像素子によるリアルタイム測光
評価測光

測光輝度範囲 (常温 23°C・ISO 100)

静止画 EV 値 1 ~ 20

動画 EV 値 2 ~ 20

露出制御方式

静止画 プログラム AE、シャッター優先
AE、絞り優先 AE、マニュアル
露出

露出制御

静止画

露出補正 1/3 段ステップ / ± 3 段

プログラムシフト 可能

AE ロック 手動 / 自動

動画

露出補正 1/3 段ステップ / ± 3 段

AE ロック 手動 / 自動

無線機能

アクセサリー

注意やヒント

本体に関する注意やヒント

撮影に関する注意やヒント

再生に関する注意やヒント

設定に関する注意やヒント

故障かな?と思ったら

メッセージ一覧

お役立ち情報

索引



無線機能

アクセサリー

注意やヒント

本体に関する注意やヒント

撮影に関する注意やヒント

再生に関する注意やヒント

設定に関する注意やヒント

故障かな?と思ったら

メッセージ一覧

お役立ち情報

索引

ISO 感度 (推奨露光指数)

静止画

ISO オート設定範囲

最低感度

(撮影モード: AUTO 時).....ISO 100

最高感度

(撮影モード: AUTO 時).....ISO 6400

ISO オート時の上限設定.....P モード、Tv モード、Av モード、
M モード、動画マニュアル露出選
択時

設定できる感度 (撮影モード: P 時)

最低感度.....ISO 100

最高感度.....ISO 25600

設定可能段数.....1/3 段

動画

フル HD (1920 x 1080)

自動設定

最低感度.....ISO 100

最高感度.....ISO 6400

手動設定

最低感度.....ISO 100

最高感度.....ISO 6400

拡張時.....ISO 12800

HD (1280 x 720)

自動設定

最低感度.....ISO 100

最高感度.....ISO 6400

手動設定

最低感度.....ISO 100

最高感度.....ISO 6400

拡張時.....ISO 12800

VGA (640 x 480)

自動設定

最低感度.....ISO 100

最高感度.....ISO 6400

手動設定

最低感度.....ISO 100

最高感度.....ISO 6400

拡張時.....ISO 12800

ホワイトバランス

WB 設定.....オート、太陽光、日陰、くもり、
白熱電球、白色蛍光灯、ストロボ、
色温度、マニュアル

ホワイトバランス補正.....可能

シャッター

電子制御式、フォーカルプレーンシャッター、タッチシャッター

シャッター速度

全撮影モードをあわせた範囲

最長 Tv30 秒

最短 Tv1/4000 秒

ストロボ同調最高

シャッター速度.....1/200 秒



無線機能

アクセサリ

注意やヒント

本体に関する注意やヒント

撮影に関する注意やヒント

再生に関する注意やヒント

設定に関する注意やヒント

故障かな?と思ったら

メッセージ一覧

お役立ち情報

索引

ストロボ

内蔵ストロボ

- 方式.....手動ポップアップストロボ
- ストロボ仕様
- ガイドナンバー (ISO 100・m) ...約 5
- ストロボ制御.....E-TTL II 調光方式、赤目緩和機能
- FE ロック.....可能

モニター

- 形式.....TFT カラー液晶
- 画面サイズ.....3.0 型
- 有効画素数.....約 104 万ドット
- 被写界深度確認.....可能

撮影関係

画像処理

- ノイズ低減
- 長秒時露光時.....1 秒以上、およびバルブ露光時に作動
- 高感度撮影時.....すべての ISO 感度で作動

画像補正

- オートライティング
- オプティマイザ.....可能
- 高輝度側・階調優先.....可能

レンズ補正 (EF-M レンズは

- レンズ内に補正データをもつ).....周辺光量補正、色収差補正、回折補正

- ピクチャースタイル.....オート、スタンダード、ポートレート、風景、ディテール重視、ニュートラル、忠実設定、モノクロ、ユーザー設定 1、ユーザー設定 2、ユーザー設定 3

連続撮影

- ドライブ.....1 枚撮影、連続撮影 (最高:約 6.1 コマ/秒)

連続撮影可能枚数

	約 89 枚
	約 92 枚
	約 67 枚
	約 69 枚
	約 62 枚
	約 62 枚
	約 70 枚
	約 21 枚
RAW+JPEG (📷)	約 19 枚

記録関係

- ファイルフォーマット.....DCF 準拠、DPOF 対応 (Version 1.1)

データタイプ

静止画

- 記録形式.....Exif 2.3 (DCF 2.0)
- 画像 (連続撮影時の RAW 画像は 12bitAD 変換が施されています).....JPEG/RAW (CR2 キヤノン独自: 14bit)

動画

- 記録形式.....MP4
- 映像.....MPEG-4 AVC/H.264 可変 (平均) ビットレート方式



音声 MPEG-4 AAC-LC (stereo)
 内蔵マイク ステレオ
 録音レベル調整 可能
 ウィンドカット機能
 (内蔵マイク使用時) あり
 アッテネーター機能 あり

撮影可能枚数

静止画

16GB (UHS-I) のカード使用時

記録画質	撮影可能枚数 (約)
 L	1833 枚
 L	2760 枚
 M	3114 枚
 M	4671 枚
 S1	4717 枚
 S1	6656 枚
 S2	8098 枚
 RAW	450 枚
RAW+JPEG (📷)	361 枚

動画

16GB (UHS-I) のカード使用時

画質	記録ファイル サイズ (約)	カードに記録できる 総記録時間 (約)	1 回の撮影可能 時間 (約)
 FHD 59.94P  FHD 50.00P	4288 KB/ 秒	59 分 30 秒	9 分 59 秒
 FHD 29.97P  FHD 25.00P	2945 KB/ 秒	1 時間 26 分 5 秒	29 分 59 秒
 FHD 23.98P	2945 KB/ 秒	1 時間 26 分 5 秒	29 分 59 秒
 FHD 59.94P  FHD 50.00P	1969 KB/ 秒	2 時間 8 分 27 秒	9 分 59 秒
 VGA 29.97P  VGA 25.00P	382 KB/ 秒	10 時間 22 分 35 秒	29 分 59 秒

* 1 回の撮影可能時間、またはメモリーカードの容量がいっぱいのいずれかになると記録を停止します。

カードによっては、撮影可能時間に満たなくても、撮影が終了することがあります。

記録媒体 SD、SDHC、
SDXC メモリーカード

フォルダ作成 毎月 / 毎日

画像番号 通し番号 / オートリセット

無線機能

アクセサリ

注意やヒント

本体に関する注意やヒント

撮影に関する注意やヒント

再生に関する注意やヒント

設定に関する注意やヒント

故障かな?と思ったら

メッセージ一覧

お役立ち情報

索引



再生関係

拡大ズーム表示	
拡大ズーム倍率	Min : 約 2.0 倍 Max : 約 10.0 倍
動画再生	スピーカー内蔵
レーティング	可能
画像プロテクト	可能
画像送り	1 枚、10 枚、100 枚、画像の検索 (レーティング、日付、人物、静止画、動画、ダイジェスト動画)、スクロール再生
スライドショー	全画像、検索での画像絞り込み後のスライドショー

撮影後の画像処理

(同一機種で撮影した画像のみ可能)	クリエイティブフィルター (ラフモノクロ、ソフトフォーカス、魚眼風、油彩風、水彩風、トイカメラ風、ジオラマ風)、リサイズ、赤目補正
-------------------	---

カスタマイズ関係

カスタムファンクション機能登録	シャッターボタン、動画ボタン
著作権情報	可能

電源

バッテリーパック	LP-E12
静止画撮影枚数 (CIPA 準拠: 常温 23°C)	
モニター表示時	約 295 枚
静止画撮影枚数 (エコモード時)	
モニター表示時	約 410 枚
動画撮影時間 (CIPA 準拠: 常温 23°C)	
モニター表示時	約 80 分
動画撮影時間 (連続撮影時) *	
モニター表示時	約 125 分
* 以下の条件にて繰り返し撮影したときの合計時間 AUTO モードの初期状態、ズームなどの操作はなし、一度に撮影できる時間 が容量に達して自動停止 / 再開	

インターフェース

有線

デジタル端子 (Hi-Speed USB 準拠)	Mini-B
HDMI 出力端子	Type D
記録時の HDMI 出力 (撮影画面・音声なし)	

無線

NFC	NFC Forum Type3/4 Tag 準拠 (ダイナミック)
Bluetooth 準拠規格	Bluetooth Ver.4.1 (Bluetooth low energy technology)
伝送方式	GFSK 変調方式

無線機能

アクセサリ

注意やヒント

本体に関する注意やヒント

撮影に関する注意やヒント

再生に関する注意やヒント

設定に関する注意やヒント

故障かな?と思ったら

メッセージ一覧

お役立ち情報

索引



無線機能

アクセサリ

注意やヒント

本体に関する注意やヒント

撮影に関する注意やヒント

再生に関する注意やヒント

設定に関する注意やヒント

故障かな?と思ったら

メッセージ一覧

お役立ち情報

索引



Wi-Fi	
準拠規格	IEEE 802.11b (DS-SS 変調方式)、IEEE 802.11g (OFDM 変調方式)、IEEE 802.11n (OFDM 変調方式)
送信周波数	
周波数帯	2412 ~ 2462 MHz
チャンネル	1-11ch
セキュリティ	
インフラストラクチャー	
モード	WPA2-PSK (AES/TKIP)、WPA-PSK (AES/TKIP)、WEP * Wi-Fi Protected Setup 準拠
カメラアクセスポイント	
モード	WPA2-PSK (AES)
アドホックモード	WPA2-PSK (AES)

動作環境

温度	最低：0℃、最高：40℃
湿度	使用可能湿度：85% 以下

大きさ (CIPA 準拠)

W	約 108.2 mm
H	約 67.1 mm
D	約 35.1 mm

質量 (CIPA 準拠)

バッテリーパック・メモリーカード 含む	約 302 g
本体のみ	約 266 g

バッテリーパック LP-E12

形式	充電式リチウムイオン電池
公称電圧	DC7.2 V
容量	875 mAh
使用可能温度	充電時：+5℃ ~ +40℃ 撮影時：0℃ ~ +40℃

バッテリーチャージャー LC-E12

充電可能電池	バッテリーパック LP-E12
充電時間	約 2 時間 (常温時)
定格入力	AC100 ~ 240 V (50/60 Hz)
定格出力	DC8.4 V/540 mA
使用可能温度	+ 5℃ ~ + 40℃

- 記載データはすべて当社試験基準、または CIPA 試験基準 / ガイドラインによります。
- 大きさ、最大径、長さ、質量は CIPA ガイドラインによります (カメラ本体のみの質量を除く)。
- 製品の仕様および外観の一部を予告なく変更することがあります。
- 他社製のレンズを使用して不具合が生じた場合は、そのレンズメーカーへお問い合わせください。

索引

数字

1点 (AF フレームモード) 65
1枚表示 77

アルファベット

A

AEロック 61
AF フレーム 65
Av (撮影モード) 69

B

B/W (モノクロ撮影) 63

C

Camera Connect 10
CANON iMAGE GATEWAY 16

D

DC カプラー 36, 38
DLNA 20
DPOF 45

F

FEロック 67

H

HDMI ケーブル 38

I

ISO 感度 61

M

M (撮影モード) 70
MF (手動ピント合わせ) 64
MF ピーキング 64
MWB 62

P

PictBridge (ピクトブリッジ) 37,
41

R

RAW 75
RAW 現像 83

T

Tv (撮影モード) 69

W

Web サービスへの送信 19

かな

あ

赤目補正 82
アクセサリ 36
圧縮率 74

い

色あい (ホワイトバランス) 62
色温度 62
色収差補正 68
色の濃さ 63
印刷 41
インストール 40
インデックス表示 79

え

エコモード 86
エラー表示 93

お

オートモード (撮影モード) 53
オートライティングオブティマイザ
61
お気に入り設定 81

か

海外で使う 87
階調優先 62
回転 81
顔 + 追尾優先 AF 65
拡大表示 78
画質 → 圧縮率 (画質)
画像

消す 81
再生 → 見る
表示時間 85
保護 80

画像番号 85
画像を送る 16
画像をパソコンに取り込む 40
家庭用電源 38
カメラ
設定初期化 88
カメラアクセスポイントモード 16
カメラへの送信 22
画面
表示一覧 96, 97
表示言語 50

き

魚眼風 (撮影モード) 60
記録画素数 (画像の大きさ) 74
近接撮影 58

く

クイック設定画面
一覧 102
基本操作 52
クラウドシンクロ 26
クリーニング (撮像素子) 87
クリエイティブアシスト (撮影モード)
56
クリエイティブフィルター (撮影モード)
59
クローズアップ (撮影モード) 58

け

消す 81
検索 79

こ

故障 89
ゴミの写り込み防止 87
コントラスト 63
コンパクトパワーアダプター 36,
38

さ

サーボ AF 65
再生 → 見る
撮影
撮影情報 96
残量表示 97

無線機能

アクセサリ

注意やヒント

本体に関する注意やヒント

撮影に関する注意やヒント

再生に関する注意やヒント

設定に関する注意やヒント

故障かな?と思ったら

メッセージ一覧

お役立ち情報

索引



無線機能

アクセサリー

注意やヒント

本体に関する注意やヒント

撮影に関する注意やヒント

再生に関する注意やヒント

設定に関する注意やヒント

故障かな?と思ったら

メッセージ一覧

お役立ち情報

索引



し

ジオラマ風 (撮影モード) 59
 自分撮り (撮影モード) 58
 シャープネス 63
 ジャンプ表示 80
 充電 49
 周辺光量補正 68
 消去 → 消す
 常時発光 66
 初期状態 → 設定初期化

す

ストロボ
 常時発光 66
 スローシンクロ 67
 調光補正 67
 発光禁止 67
 スポーツ (撮影モード) 58
 スマートフォンへの送信 8
 スライドショー 78
 スローシンクロ 67

せ

世界時計 87
 接続情報の編集 / 消去 30
 設定初期化 88
 節電 51
 セルフタイマー 73
 タイマー時間と撮影枚数を変える 73
 センサークリーニング 87

そ

測光方式 61
 ソフトウェア
 インストール 40
 パソコンへの取り込み 40
 ソフトフォーカス (撮影モード) 60

た

タイムラプス動画 (撮影モード) 73
 タッチ AF 66
 タッチシャッター 74
 縦位置画像回転表示 82
 縦横比を変える 75
 端子 38, 39, 41

ち

忠実設定 63
 調光補正 67
 長時間露光 70
 調色 64
 長秒時露光のノイズ低減 69

て

手ブレ補正 67
 手持ち夜景 (撮影モード) 58
 テレビで見る 38
 電源 36 → コンパクトパワーアダプター、→ バッテリー、→ バッテリーチャージャー (充電器)
 電池 → 日付/時刻 (日付/時刻用電池)
 節電 51

と

動画
 画質 (記録画素数 / フレーム数) 76
 編集 83
 トリミング (画像の切り抜き) 43, 82

に

日時 → 日付/時刻
 ニュートラル 63

ね

ネックストラップ → ストラップ

の

ノイズ低減
 長秒時 69

は

ハイダイナミックレンジ (撮影モード) 59
 パソコンへの取り込み 40
 発光禁止 67
 バッテリー
 エコモード 86
 残量表示 97
 充電 49
 節電 51
 バッテリーチャージャー (充電器) 36
 パルプ撮影 70

ひ

ピクチャースタイル 63
 ピクトブリッジ (PictBridge) 37, 41
 日付/時刻
 世界時計 87
 設定 49
 日付/時刻用電池 49, 50
 表示一覧 96, 97
 表示言語 50
 表示時間 85
 ピント合わせ
 AF フレーム 65
 MF ピーキング 64
 サーボ AF 65
 タッチ AF 66
 ピント位置拡大 64

ふ

ファームウェア 88
 フィルター効果 64
 風景 63
 フォーカスゾーン
 マニュアルフォーカス 64
 フォーカスロック 65
 フォトブック指定 46
 プラスムービーオート (撮影モード) 54
 プリント → 印刷

へ

編集
 赤目補正 82
 トリミング (画像の切り抜き) 82
 リサイズ (画像を小さくする) 82

ほ

保護 80
 ホワイトバランス (色あい) 62

ま

マクロ撮影 58
 マニュアルフォーカス 64
 マニュアルホワイトバランス 62
 マルチショットノイズ低減機能 69

無線機能

アクセサリー

注意やヒント

本体に関する注意やヒント

撮影に関する注意やヒント

再生に関する注意やヒント

設定に関する注意やヒント

故障かな?と思ったら

メッセージ一覧

お役立ち情報

索引

み

見る 77

1枚表示 77

インデックス表示 79

拡大表示 78

画像の検索 79

ジャンプ表示 80

スライドショー 78

テレビで見る 38

む

無線機能 7

め

メニュー

一覧 100

基本操作 52

ら

ランプ 52

り

リサイズ（画像を小さくする） 82

リモートライブビュー撮影 29

料理（撮影モード） 59

れ

レーティング 81

レンズ 50

ろ

露出

AEロック 61

FEロック 67



無線機能

アクセサリー

注意やヒント

本体に関する注意やヒント

撮影に関する注意やヒント

再生に関する注意やヒント

設定に関する注意やヒント

故障かな?と思ったら

メッセージ一覧

お役立ち情報

索引

セキュリティについて

Wi-Fi は電波を使って通信するため、LAN ケーブルを使う有線 LAN よりもセキュリティに注意する必要があります。

Wi-Fi をお使いになるときは、次の点に注意してください。

- 使用権限があるネットワークだけを使う
本製品は、周辺の Wi-Fi ネットワークを検索して画面に表示します。そのため、使用する権限がない（知らない）ネットワーク名も表示されることがあります。しかし、それらのネットワークに接続しようとしたり接続して利用したりすると、不正アクセスと見なされる恐れがあります。使用する権限があるネットワークだけを利用し、それ以外のネットワークには接続しないように注意してください。

また、セキュリティに関する設定が適切に行われていないときは、次のような問題が発生する恐れがありますので注意してください。

- 通信の傍受
悪意ある第三者によって Wi-Fi の電波を傍受され、通信内容を盗み見られる恐れがあります。
- ネットワークへの不正アクセス
悪意ある第三者によって、お使いのネットワークに不正に侵入され、情報の盗難・改ざん・破壊をされるといった被害に遭う恐れがあります。また、別の人物を装ってネットワークに不正な情報を流す「なりすまし」通信がされたり、「踏み台」と呼ばれる別の不正アクセスへの中継地点にされたりする恐れもあります。

こうした問題が発生する可能性を少なくするため、Wi-Fi のセキュリティを確保するための仕組みや機能を必ず使ってください。

Wi-Fi のセキュリティについて理解し、利便性とリスクのバランスをよく考えたセキュリティに関する設定を行った上で、本製品の Wi-Fi 機能をお使いいただくことをおすすめします。

第三者のソフトウェア

- expat.h

Copyright (c) 1998, 1999, 2000 Thai Open Source Software Center Ltd

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.



- AES-128 Library

Copyright (c) 1998-2008, Brian Gladman, Worcester, UK.
All rights reserved.

LICENSE TERMS

The redistribution and use of this software (with or without changes) is allowed without the payment of fees or royalties provided that:

1. source code distributions include the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer;
2. binary distributions include the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in their documentation;
3. the name of the copyright holder is not used to endorse products built using this software without specific written permission.

DISCLAIMER

This software is provided 'as is' with no explicit or implied warranties in respect of its properties, including, but not limited to, correctness and/or fitness for purpose.

カメラを貸出・修理依頼・譲渡・廃棄するときのご注意

カメラに個人情報に登録したり Wi-Fi のパスワードなどのセキュリティ情報を設定したときは、それらの情報がカメラ内に残っている可能性があります。

カメラを貸したり修理などで一時的に手放すときや、譲渡または廃棄するときは、情報の漏洩を避けるため、以下の作業を行ってください。

- 設定したセキュリティ情報は、無線通信の設定にある [設定の初期化] を使って消してください。

